

令和 5 年度  
就労困難者訓練支援モデル事業  
報告書

令和 6 年 3 月

福岡県就労支援協同組合



# 目次

## 1. 就労困難者訓練支援モデル事業について

---

(1)	はじめに	P4
(2)	事業の概要	P4
①	目的	P4
②	対象者	P4
③	対象地域	P4
④	訓練等実施機関	P5
(3)	実施体制	P6
①	支援体制図	P6
②	支援役割分担	P6
ア	福岡県就労支援協同組合	P6
イ	県内4地区WD事業実施就労移行支援事業所	P7
③	組合実施体制図	P7
④	組合役割分担	P7
ア	業務責任者	P7
イ	コーディネーター	P8

## 2. 令和5年度の取組結果

---

- (1) 周知・広報に対する取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
  - ① 周知・広報実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
  - ② 周知・広報媒体・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
- (2) 事業利用者に対する取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
  - ① 支援の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
  - ② 事業利用者詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
- (3) 訓練等実施機関との連携に対する取組・・・・・・・・・・ P16
  - ① 協力関係構築に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

## 3. 令和5年度の成果、課題、今後の対応策

---

- (1) 成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17
- (2) 課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19
  - ① 令和4年度事業の課題への対応・・・・・・・・・・ P19
  - ② 令和5年度事業の課題とその要因・・・・・・・・ P20
- (3) 今後の対応策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P21

## 参考資料

---

- (1) 実行委員会、有識者会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23
- (2) 県内4地区訓練等実施機関支援内容一覧・・・・・・・・・・ P26
- (3) 周知広報を行った支援機関等・・・・・・・・・・・・・・・・ P48

## 事例集

---

令和5年度の利用者別事例「事例1～事例50」

## 1. 就労困難者訓練支援モデル事業について

### (1) はじめに

2018年の日本財団の調査によると、就労していない障がいのある人をはじめ、ニート、ひきこもり、難病患者など、働きづらさを抱える人が全国の8人に1人、延べ1,500万人いると推計される。福岡県にあてはめると、おおよそ60万人を超えると見込まれ、働きづらさを抱える人の社会からの孤立、分断、貧困と格差拡大は大きな課題となっている。

今年度、日本財団及び福岡県からの補助を受けて、福岡県就労支援協同組合（以下「当協同組合」と略す）が、就労困難者の働く場の創出のため、様々な働きづらさを抱える方に対し、障がいのある人の就労移行を支援する事業所を活用した訓練等を行うことで、その支援の有効性を実証・確認するモデル事業を実施した。

### (2) 事業の概要

#### ① 目的

働きづらさを抱えた方（本事業においては、原則として、現行の障がい者就労支援事業所利用に際して受給者証が取得できない者）に対し、障がい者の就労支援制度を活用した就労支援を行い、その有効性を実証するモデル事業を実施することで、必要な支援とスキルアップができる機会を創出することを目的とする。

#### ② 対象者

本事業の支援対象者は、長期無業者（ニート含む）、ひきこもり、難病患者、がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行等の問題を抱える少年など様々な働きづらさを抱える方で、原則として、障がいのある人の就労移行を支援する事業所利用に際して障がい福祉サービス受給者証が取得できない者とする。

福岡県での実施に際しては、下記3点に該当する方を全て事業対象者とした。

- ・福岡県にお住まいの方
- ・働きづらさを抱えており、働く前に支援を受けたい方
- ・障害者手帳、福祉サービス受給者証をお持ちでない方

#### ③ 対象地域

福岡県内全域

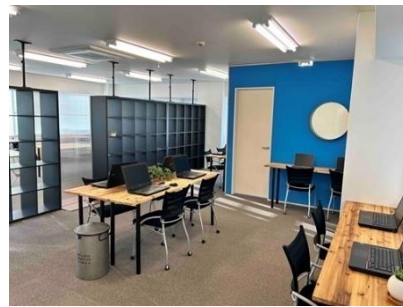
#### ④ 訓練等実施機関

令和4年度事業に参加した10カ所の訓練等実施機関が、継続して事業に参加  
令和5年度は、12カ所の訓練等実施機関を追加  
訓練等実施機関の選定基準を下記の通りとした。

- ・健全な支援、運営を行う
- ・各地区の支援プログラムのバリエーション増加に適した事業所
- ・定員数に余力があり、受け入れ可能

#### 福岡地区

キャリアサポート福岡  
キャリアサポート天神  
ACE  
たいよう  
かがやき  
てとて（写真）  
ウイング粕屋



#### 北九州地区

インクルとばた  
インクル春ヶ丘  
ファインズ チャレンジド  
ウイング中間  
スプラライフ黒崎センター（写真）



#### 筑豊地区

ジョブサポートみろく  
ウイング（写真）  
ウイング川津、  
ウイング直方  
ウイング飯塚  
たいよう



#### 筑後地区

たんぼぼ  
わ～よか  
わ～よか筑後  
ティオ大牟田築町（写真）



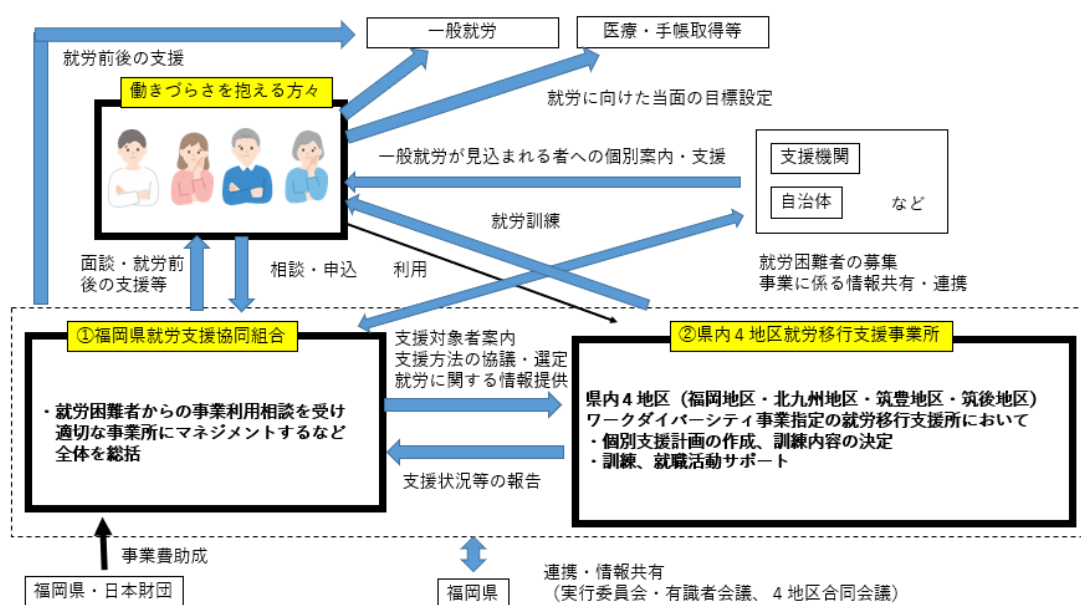
※令和4年度から継続して事業に参加した訓練等実施機関は黒で表記  
 令和5年度に追加した事業所はオレンジで記載

各訓練等実施機関は、「就職訓練プログラム」「相談」「職場実習」「就職活動サポート」をそれぞれ行う。

※訓練等実施機関毎の支援内容は、参考資料(2)県内4地区訓練等実施機関支援内容一覧に記載

### (3) 実施体制

#### ① 支援体制図



#### ② 支援役割分担

##### ア 福岡県就労支援協同組合(WORK!DIVERSITY マネジメントセンター)

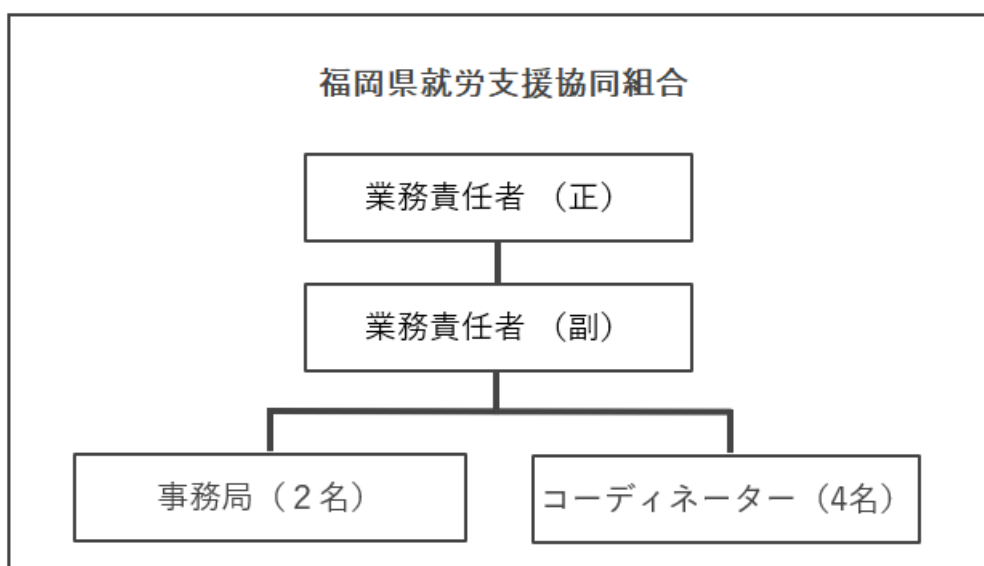
- ・ サービス利用相談の受付
- ・ 訓練等実施機関の選定
- ・ サービス開始までの調整
- ・ 支援対象者受け入れの促進に向けた取組
- ・ 定期的な支援対象者ヒアリング

- ・ 支援終了時の利用者等との支援振り返り
- ・ 就労体験終了時の就労体験先からの評価聴取
- ・ 実行委員会・有識者会議の運営支援

#### イ 県内4地区WD事業実施就労移行支援事業所

- ・ 一般就労又は福祉就労実現に必要な支援提供  
(日常生活・社会生活・就労自立に関する支援他)
- ・ 支援過程での組合とのカンファレンス実施
- ・ 個別支援計画の作成と評価
- ・ 地域企業を活用した就労体験の実施
- ・ 訓練の効果の確認(アンケート実施・集計、支援記録入力)
- ・ 利用者の事故、怪我時の対応説明(補償内容提示)

### ③ 組合実施体制図



### ④ 組合役割分担

#### ア 業務責任者

- ・ 事業の統括を行い、円滑な運営及び業務の質の向上に努め、効果的な事業運営を行う。
- ・ 事業実施中、福岡県・日本財団と連絡を取れる体制を構築する。
- ・ その他、事業の実施にあたって必要な措置を行う。



## イ コーディネーター

### (ア) 会議

4 地区合同会議、事業アドバイザー会議、有識者・実行委員会、組合内会議  
各種会議に関するスケジュール調整・資料作成・議事録作成

### (イ) 報告書作成

日本財団への月次報告、中間報告、年度末報告  
評価ツールデータ管理

### (ウ) 説明会

支援機関向け説明会、周知活動  
説明会用資料作成

### (エ) 利用希望者対応

事業説明、事業申込時の聞き取り、受け入れ面談、施設見学  
必要書類記入依頼（契約書・個人情報同意書・QOL）  
スケジュール調整、訓練等実施機関見学同行、事業所とのデータ共有  
利用者・組合間資料管理

### (オ) 訓練者面談

月末面談（対面）、訓練終了時面談（対面）、就職後面談（対面・電話・Web）  
利用者情報更新（利用者・事業所からの連絡・面談で情報を得た際に随時記録）

### (カ) 広報・周知活動

関連機関への広報活動（メール・電話・訪問等）、スケジュール調整  
広報媒体の管理・変更（チラシ、ホームページ）、広報先リスト作成  
広報履歴・訪問先情報データ入力、訪問スケジュール管理、広報用資料作成・変更

## 2. 令和5年度の取組結果

### (1) 周知・広報に対する取組

#### ① 周知・広報実績

【訪問】 62件

※件数・回数は、延べ件数

就労困難者に対して、既に就労または生活等の支援を行っている支援機関、市の相談窓口や民間団体など様々な機関や団体に周知を行った

#### 【5月26日「働きづらさを抱える方への雇用創出事業」オンライン説明会開催】

事業の知名度・認知度向上のため、オンラインで支援機関向けに事業説明会を実施

- ・視聴者数 74名（WD事業他地域実施団体なども含む）
- ・アンケート回答数 48件（75%が回答）

「ご所属機関の支援対象者や相談者にWD事業利用対象者となりそうな方はいますか？」という質問に対して、27件が「いる」と回答



#### 【10月26日「福岡県 WORK! DIVERSITY 事業シンポジウム」開催】

事業周知・事業理解度の向上のため、事業概要や実施報告、支援事例紹介、事例検討などを行い、支援機関との連携強化、継続的な利用者確保と県内就労困難者支援体制の構築を目的とした「福岡県 WORK! DIVERSITY 事業シンポジウム」を開催

- ・参加者：214人
- ・アンケート回答：143人

主なアンケート結果

「WORK!DIVERSITY 事業の内容を理解できましたか？」

- ・理解できた 46%
- ・概ね理解できた 49%
- ・どちらともいえない 4%

- ・あまり理解できなかつた1%
  - ・理解できなかつた0%
- 全体の95%が理解できたと回答

「WORK!DIVERSITY 事業の継続は必要ですか？」

- ・必要 94%
  - ・分からない 6%
  - ・不要 0%
- 全体の94%が必要と回答



(参考) 福岡県からの事業周知

- ・WD 事業利用者募集
  - 5/31 関係機関※に周知依頼 (チラシ送付)
  - 7/3 県 Twitter
  - 7/3 県 LINE
  - 県だより 9月号
  - 7/3 保護・援護課 (チラシ配布)

- ・10/26WD シンポジウム
  - 関係機関※に周知依頼 (チラシ送付)

※県庁各課、市町村、働く希望の道実行委員会委員・オブザーバー、労働者支援事務所、社会福祉協議会から管轄する事業所等

事業利用に繋がった周知先または周知手段 (把握しているもの)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ・筑後若者サポートステーション      | ・障がい者基幹相談支援センター (複数地区) |
| ・北九州障害者しごとサポートセンター   | ・NPOホームレス支援団体おにぎりの会    |
| ・障がい者グループホーム アトリエ花畑  | ・福岡県庁 公式 LINE          |
| ・福岡県だより              |                        |
| ・ハローワーク              | ・ハローワーク設置チラシ           |
| ・福岡県自立相談支援事業所 (複数地区) | ・宗像・遠賀保健福祉環境事業所        |
| ・古賀市保健福祉部福祉課         | ・田川保健福祉事務所             |

- ・飯塚市福祉部生活支援課
- ・春日市社会福祉協議会
- ・八女地区障害者地域生活支援拠点センター
- ・福岡市若者総合相談センターユースサポート hub
- ・飯塚少年サポートセンター
- ・大牟田市役所福祉課
- ・粕屋保健福祉事務所
- ・WD 事業ホームページ

※全ての周知先は、参考資料（3）事業の周知広報を行った機関等に記載

## ② 周知・広報媒体

チラシ、ホームページなど様々な媒体で広報活動を行った。

幅広い方に興味を持って頂けるよう、広報媒体の文言やレイアウト等の改良を行った。また、必要に応じて適宜改良を重ねた。

### 令和5年度事業チラシ

### ホームページ

<https://fesc.jp/workdiver/index.html>



「この事業は、公益財団法人日本財団及び福岡県からの助成を受け実施しています」

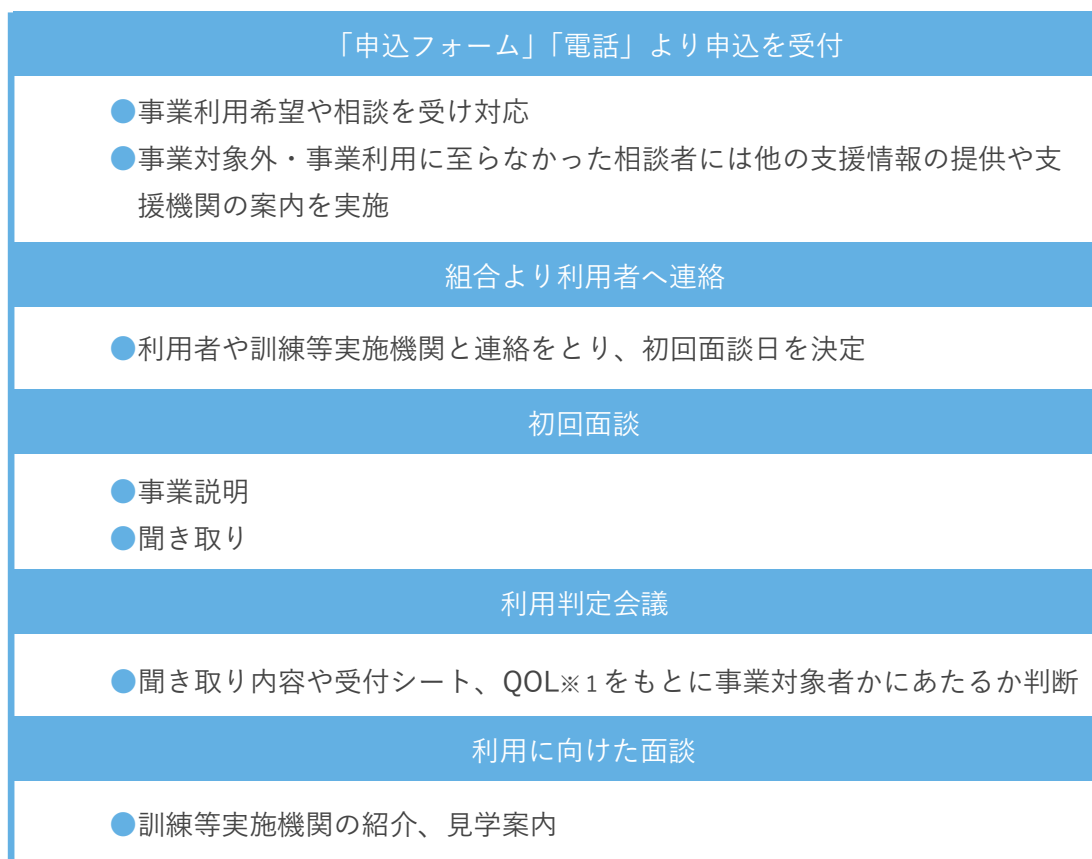
福岡県在住の方  
日本財団「WORK! DIVERSITY実証化モデル事業」  
働きづらさの解消をサポートします！

### 福岡県 WORK! DIVERSITY 事業とは？

福岡県在住の働きづらさを抱える方を対象とした、新しい就労支援モデルをつくるプロジェクトです。

## (2) 事業利用者に対する取組

### ① 支援の流れ



- 訓練内容の説明
- 最終意思確認
- 利用契約書の説明、契約

#### 事業利用決定時支援

- 訓練等実施機関と訓練開始日の調整
- 訓練等実施機関に書類の依頼（利用契約書、個別支援計画書）
- 訓練初日同行希望の有無確認

#### 個別支援計画作成

- 訓練等実施機関に依頼、データで内容を共有

#### 訓練開始時支援

- 利用者が希望した場合は、初日同行
- 訓練等実施機関と随時連絡を取り利用者の情報を共有

#### 訓練実施

- 訓練等実施機関が個別支援計画に基づき訓練を実施

#### 月次面談

- KPS ビジューライズツール※2を活用した、利用者自己評価及び支援者評価を行い、訓練開始前後の変化を確認
- 月末に事業利用者と対面で面談を実施  
訓練状況・健康状態・不安・心配なこと・要望・今後の目標を聞き取り
- 面談内容をテキストデータで保存

#### 訓練終了時支援

- 利用者と対面で訓練就労時面談を実施  
就職活動の方法・就職先の情報・訓練の感想、満足度
- 職場見学が可能な企業への訪問

#### 定着支援

- 就職後1ヵ月、3ヵ月、6ヵ月、1年経過時に電話またはメールにて状況を確認
- 職場見学が可能な企業への訪問

※1 QOLとは

「Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、アンケートをもとに「生活の質」を判定 本事業ではQOL 評価法 WHO QOL-26 を実施

※2 KPS ビジュアルライズツールとは

一般社団法人京都自立就労サポートセンターが公開している、就労準備支援事業利用者の日常生活、社会的能力、就労意欲の変化を捉えることができる個人評価ツール

本事業共通のアセスメントツールであり、利用者・支援者のアンケート結果をもとに訓練効果の可視化を行う

<https://www.kyoto-ps.com/vt/>

② 事業利用者詳細

2024年3月31日時点

【問 合 せ】 150名

【面 談】 79名

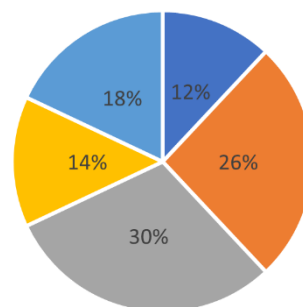
【事業利用者】 50名 (令和4年度 9名 令和5年度 41名)

【就 職 者】 10名 (令和4年度 1名 令和5年度 9名)

【そ の 他】 福祉サービス移行 9名  
自己都合による終了 8名

【年代別】

10代 6名  
20代 13名  
30代 15名  
40代 7名  
50代 9名

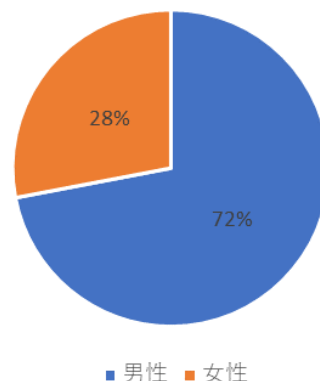


若年層 (10～30代) が全体の68%

■10代 ■20代 ■30代 ■40代 ■50代

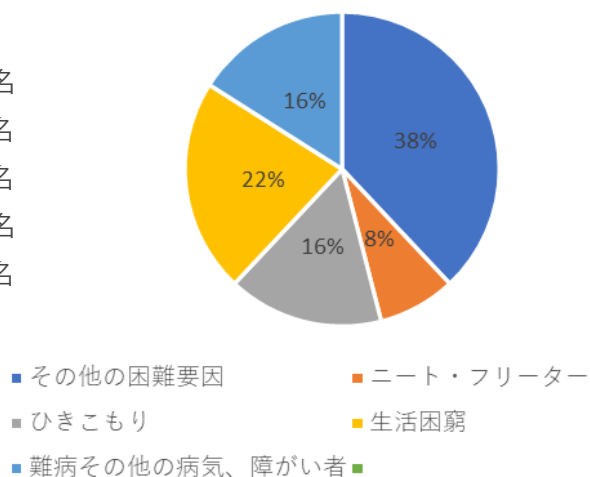
### 【男女比】

男性 36名  
女性 14名



### 【区分別】

その他の困難要因 19名  
ニート・フリーター 4名  
ひきこもり 8名  
生活困窮 11名  
難病その他の病気、障がい者 8名



利用者 50名中 19名を占める「その他の困難要因」とは

「その他の就労困難要因」とは、ニート、フリーター、ひきこもり、生活困窮者、難病その他の病気、障がい者に該当しない利用者、対象者はどこかの枠に当てはまりにくい方が多い。また、区分で分けてはいるが、様々な要素が重なって就労が困難である場合も多い。

例) 生活困窮であり、ひきこもりでもある 等

「その他の就労困難要因」の利用者は3つのパターンに分類できる。

#### ① 職歴があり、無業期間が長い

- ・ 結婚、出産、家庭の事情による長期無業者  
仕事に向けた準備を整えたいという希望を持っている  
ブランクに加え精神的不調を患っている、又は精神的不調の経験がある

#### ② 職歴があり、無業期間が6ヵ月未満

- ・ 何らかのきっかけで心身の不調を抱えている環境の変化や人間関係の変化が原因なケース



・不調や辛さはあるが理由が分からない働きづらさを自覚しているが、無理や我慢をして働いているケース

・必要な支援が届いていない障がい傾向のある方が、医療や支援と繋がっていないケース

③ 職歴が無い又は6ヵ月未満、無業期間が6ヵ月未満

・若年層で学校卒業後に就学・就労をしていない進路が決まらないまま卒業、仕事をしたが短時間で辞めた、学校を中途退学など

(3) 訓練等実施機関との連携に対する取組

① 協力関係構築に向けて

事業を行う上で、マネジメントセンターと訓練等実施機関との連携が重要となるため ZOOM 会議開催、訓練等実施機関訪問、情報共有ツール（Chatwork・Google ドライブ）を活用

・ ZOOM 会議開催（月1回）

情報共有や連携強化のために月1回、ZOOM での会議を実施  
組合、福岡県、4 地区訓練等実施機関が参加

事業運営に関する情報に加えて、支援事例・就職事例の共有などを行う。

・ 訓練等実施機関訪問（随時）

コーディネーターの訓練等実施機関の視察・見学、利用者面談時の訪問を行い事業に関する説明、要望の聞き取り、支援の進捗確認等を行った。

毎月1回の月末面談時に、担当者と支援に関する情報共有を行う。

また、必要に応じて、随時、訓練等実施機関を訪問しての担当者との面談を行った。

・ 情報共有ツール（Chatwork・Google ドライブ）活用（随時）

円滑な事業実施のため、スピード感を持って訓練等実施機関とマネジメントセンターの情報共有を行う事が重要であるため Chatwork・Google ドライブを使用した。

### 3. 令和5年度の成果、課題、今後の対応策

#### (1) 成果

##### 【成果】事業認知度の向上

- ・事業利用問合せ件数が大幅に増加

令和4年度事業 9月～3月 問合せ総数 26名 月平均 3.7件の利用問合せ

令和5年度事業 4月～3月 問合せ総数 124名 月平均 10.3件の利用問合せ

##### 【要因】効果的な事業周知が行えた

- ・5月 オンライン説明会による支援機関への周知 視聴者数 74名
- ・8月 広報誌「福岡県だより」による一般向けの事業周知 問合せ総数 18件
- ・10月 シンポジウムでの支援機関、一般向けへの周知 参加者 214人

##### 【成果】年間目標20名を上回る49名の事業利用者の確保

- ・利用者49名に加え、利用待機者が10名となるなど、事業ニーズの高さが窺えた。

##### 【要因①】訓練等実施事業所の追加

- ・受け入れ体制を整えたことで、多数の受け入れが可能になった。
- ・訓練等実施事業所と繋がりのある支援機関経由での利用者があった。

##### 【要因②】効果的な事業周知による事業認知度の向上

- ・支援機関、個人、訓練等実施事業所など様々なルートでの利用相談が可能になった。

### 【成果】就職者 9 名の実現

- ・年間目標 10 名に対して 9 名の就職者
- ・2 名が就職によって生活保護受給が終了

### 【要因①】訓練等実施事業所におけるきめ細やかな就労支援

- ・多種多様な支援プログラム（自己分析、自己啓発、コミュニケーション、体力向上、ビジネスマナー、パソコン講座等）の提供
- ・利用者の適正に合わせた就職先の提案、ハローワーク同行、履歴書添削、応募書類添削、面接練習、企業（職場）見学同行、面接同行などの就労支援
- ・企業実習により就労体験が可能になった。

### 【要因②】支援による就労準備性の向上

- ・生活リズムの改善、対人スキルの向上、就労意欲の向上といった就労準備性の向上が就労に繋がった。（就職者の支援事例 07, 16, 17, 22, 24-27, 31 参照）

### 【成果】事業利用者の状況に合わせた支援の提供

- ・支援内容、通所頻度、通所時間などを利用者毎に調整  
例) ひきこもりの利用者に対して 週 2 日通所 3 日リモート支援を行い  
段階的に通所を増やす

### 【要因】各事業所において様々な区分の利用者への対応が可能であった

- ・就労支援専門の職業指導員によって円滑な支援のためのバリエーションが増えた。
- ・KPS ビジュアルライズツール、QOL、面談等によって利用者ニーズの把握に繋がった。

## (2) 課題

### ① 令和4年度事業の課題への対応

#### 課題1 「利用者の受け入れ体制の構築」への対応

##### 【課題】

- ・各地区5名、合計20名の受け入れができない。
- ・利用者の希望する訓練プログラムの提供ができない場合があった。

##### 【対応】

- ・訓練等実施事業所の追加  
令和4年度10事業所 ⇒ 令和5年度22事業所  
事業所を大幅に増やしたことにより、受け入れ可能人数が増え、  
提供可能な訓練プログラムのバリエーションが大幅に増えた。

##### 【成果】

- ・20名以上の受け入れが可能になり、令和4年度の利用継続者8名を含む、  
49名の受け入れを行った。

#### 課題2 「事業利用者の確保」への対応

##### 【課題】

- ・事業利用者が9名で年間目標20名を達成できなかった。

##### 【対応】

- ・5月にオンライン説明会による支援機関への周知 視聴者数74名
- ・8月に広報誌「福岡県だより」による一般向けの事業周知 問合せ総数18件
- ・10月にシンポジウムでの支援機関、一般向けへの周知 参加者214人
- ・62件の訪問による事業周知

##### 【成果】

- ・年間目標20名を大幅に上回る49名の利用者

## ② 令和5年度事業の課題とその要因

### 【課題】 サービス利用期間の長期化

- サービス利用終了者における平均利用期間

	利用月数（月）	利用日数（週）
就職者（9名）	6.33	4.10
福祉サービス移行者（9名）	7.56	3.51
自己都合による終了者（8名）	6.88	2.70
利用終了者全体（26名）	6.92	3.46

- 既存利用者のうち8名は既に利用期間が8ヵ月を超えており、そのうち3名は利用期間が1年を超えている。

### 【要因】 利用者本人のニーズを踏まえた上での進路決定には時間を要する

- 利用者の困りごとは本人の心理的な課題（対人恐怖・対人関係・緊張するとパニックになる、集団が苦手、自信がない等）によることが多く、解決・改善に時間を要する。

### 【課題】 現在支援していない区分の事業利用者の受け入れ

- 支援対象区分である「ニート・フリーター、ひきこもり、難病その他の病気・障害者、生活困窮者、ホームレス、母子・父子家庭、その他の困難要因、LGBTQ、刑務所・少年院出所者」のうち、「LGBTQ、刑務所・少年院出所者」の利用者がいない。

### 【要因】 事業利用のメリットが対象者に周知できていない

- 支援機関を通じた周知を行ったが、対象者まで事業利用メリットが周知できていない。

### 【課題】 訓練等実施事業所における就労移行者数の偏り

- マネジメントセンターによる訓練等実施事業所への適切なサポートが不足していた。
- 利用者によって状態（自己理解、環境への適応力、就労意欲等）に差はあるものの、訓練等実施事業所毎の就職者数に偏りが生じた。
- 就職者数3名以上：1事業所、就職者数1～2名：3事業所、就職者数0名：15事業所（22事業所中、利用者の受け入れ実績がある事業所を対象に算出。）

### 【要因】 利用者の就労能力や適性の客観的な評価が難しかった

- マネジメントセンターとして、利用者の就労能力や適性を客観的に評価することが難しく、就労に向けての判断が訓練等実施事業所主導になってしまった。
- 訓練等実施事業所毎に支援可能な要件が一律ではなく、その特性（地域性）や課題が異なるといった背景があった。

### (3) 今後の対応策

#### 【課題】「サービス利用期間の長期化」への対応策

##### 利用者本人のニーズを踏まえた心理的課題へのアプローチ

- ・利用者の多くに見られる心理的な課題（対人恐怖・対人関係・緊張するとパニックになる、集団が苦手、自信がない等）への効果的な働きかけについて、訓練等実施事業所並びにコーディネーターの学ぶ機会を設ける。

##### 体調や通所が安定している利用者に対する就労への意識付け

- ・訓練等実施事業所と相談の上、現時点で「できること・できないこと」を整理し、概ね6ヵ月を目安に就職に向けた具体的な支援プランを提示し、就労への意識付けを行う。

##### 長期間にわたる利用者に対する面談の実施

- ・事業の継続的利用または他の支援への移行等、利用者が納得して進路を決められるよう、利用者への聞き取りや情報提供、訓練等実施事業所との協議を定期的実施する。

##### 支援継続の有無や効果判定の定期的な見直し

- ・利用者毎に事業利用判定を3ヵ月おきに行い、就労に向けた支援プランの見直しを行う。

#### 【課題】「現在支援していない区分の事業利用者の受け入れ」への対応策

##### 幅広い相談が寄せられる窓口へのアプローチ

- ・専門の機関に加えて相談が寄せられる窓口に対して、LGBTQ、刑務所・少年院出所者に起因する心身のコンディション不調に困っている方の紹介を個別に依頼する。

#### 【課題】「訓練等実施事業所における就労移行者数の偏り」への対応策

##### 利用者の就労能力や適性への客観的評価

- ・訓練状況に応じて、訓練等実施事業所とともにカンファレンスを行い、個別支援計画の変更を行う。

##### 効果的な就労支援のためのネットワーク促進

- ・訓練等実施事業所間の情報交換や連携強化のため、4地区の合同会議を開催する。
- ・支援機関との地域レベルでの連携強化のため、地域別合同会議を開催する。

## 參考資料

## (1) 実行委員会、有識者会議

・モデル事業の実施にあたっては、実効性を高めるため、県が設置した実行委員会及び有識者会議にて意見を求め事業を行うための参考とした。会議では資料に掲載する情報の提供、会議議事録の作成を行った。

### 〈実行委員会〉

#### ○ 目的

ニート、ひきこもり、難病・がん患者、生活困窮者、刑を終えて出所した人、犯罪被害者、非行少年、障がいのある人、高齢者、ひとり親等で働きづらさを抱える人の働く場を創出し、社会からの孤立や貧困等の課題解決を図る

#### ○ 所掌事項

目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行うものとする。

- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の推進に関すること。
- ・働きづらさを抱える人の働く場の創出事業の啓発、事業の周知及び参加促進に関すること。
- ・その他、実行委員会の目的を達成するために必要なこと。

#### ○ 構成員

区分	所属及び役職名
会長	福岡県福祉労働部労働局長
委員	福岡県就労支援協同組合理事長
	大牟田市保健福祉部福祉支援室長
	飯塚市経済部経済政策推進室雇用促進担当主幹
	福岡県人づくり・県民生活部生活安全課長
	福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課長
	福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室長
	福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
	福岡県福祉労働部福祉総務課長
	福岡県福祉労働部児童家庭課長
	福岡県福祉労働部障がい福祉課長



	福岡県福祉労働部保護・援護課長
	福岡県福祉労働部労働局労働政策課長
	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課長
	福岡県商工部中小企業振興課長
	福岡県商工部新事業支援課長
オブザーバー	日本財団公益事業部国内事業開発チーム
	厚生労働省福岡労働局職業安定部
事務局	福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課

○ 開催実績

- ・ 第 6 回実行委員会  
開催日：2023 年 5 月 16 日
- ・ 第 7 回実行委員会  
開催日：2023 年 8 月 29 日
- ・ 第 8 回実行委員会  
開催日：2023 年 11 月 21 日
- ・ 第 9 回実行委員会  
開催日：2024 年 1 月 25 日
- ・ 第 10 回実行委員会  
開催日：2024 年 3 月（書面開催）

（※実行委員会の様子）



〈有識者会議〉

○ 目的

「多様性を認め合う雇用創出事業（働きづらさを抱える人の働く場の創出事業）」に係るモデル事業の実効性を高めるため、専門的見地から意見等を聴取する

○ 構成員

特定非営利活動法人抱樸 理事長

公立大学法人福岡県立大学 名誉教授

社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会 理事長

国立大学法人東京大学 教授

IN THE STORY 株式会社 代表取締役

公立大学法人福岡女子大学 教授

○ 開催実績

- ・ 第 6 回有識者会議  
開催日：2023 年 6 月 1 日
- ・ 第 7 回有識者会議  
開催日：2023 年 9 月 1 日
- ・ 第 8 回有識者会議  
開催日：2023 年 11 月 30 日
- ・ 第 9 回有識者会議  
開催日：2024 年 2 月 1 日
- ・ 第 10 回有識者会議  
開催日：2024 年 3 月（書面開催）

(2) 県内4地区訓練等実施機関支援内容一覧

・福岡地区7か所 ・筑後地区4か所 ・北九州地区5か所 ・筑豊地区6か所

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	キャリアサポート福岡
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン講座 (Word基礎・エクセル基礎)</li> <li>・座学 (ビジネスマナーやコミュニケーションなど)</li> <li>・SST (ソーシャルスキルトレーニング) やロールプレイ</li> <li>・職業場面を想定した事務訓練</li> </ul>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円～450円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している。</li> <li>・定着支援事業、ジョブコーチを活用した定着支援を実施</li> </ul>

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	キャリアサポート天神
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン講座 (Word基礎・エクセル基礎)</li> <li>・座学 (ビジネスマナーやコミュニケーションなど)</li> <li>・SST (ソーシャルスキルトレーニング) やロールプレイ</li> <li>・職業場면을想定した事務訓練</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円～450円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している。</li> <li>・定着支援事業、ジョブコーチを活用した定着支援を実施</li> </ul>

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	ハートフルACE
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (メビジネスマナー、就職活動、生活訓練、PC基礎学習)</li> <li>・障がい特性を活かした書類作成のアドバイス、自己分析</li> <li>・軽作業訓練</li> <li>・データ入力</li> <li>・15日、25日はお楽しみ座談会</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別性に合った就職先の提案</li> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>※当日キャンセルの場合は400円 (月末締め翌月10日払い)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅近、3路線利用可能</li> <li>・天神駅から徒歩5分</li> <li>・医療従事者在籍</li> <li>・就職実績・定着率も100%</li> <li>・定着支援後 (就労後半年) も必要時サポートあり</li> <li>・土曜も面談実施</li> </ul>

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	ハートフルたいよう
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 (MOS Word、Excel等)</li> <li>・デザイン講座 (illustrator、Photoshopテキスト及び実践的な学習) ※現役グラフィックデザイナー・イラストレーターの指導員在籍</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーションの指導</li> <li>・自己理解支援</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は400円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年単位の長期就労を大目標として、特性や適性、希望条件に合った「働きやすい職場」を一緒に探していく。</li> <li>・定期的なアセスメントとモニタリング、本人の生活リズムの改善、自己理解を深めることを重要視。</li> <li>・デザイン講座を通じて、就労あるいは趣味の多様化を目指してやりがいを見出すことにも注力。定期的にデザインコンペを開催。</li> <li>・半年間の定着支援後も相互に連絡を続けることが多く、繋がりが消えにくい。</li> </ul>

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	ハートフルかがやき
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業訓練</li> <li>・軽作業訓練</li> <li>・自己分析、応募書類の作成</li> <li>・ビジネスマナー</li> <li>・個人学習のサポート(Excel・Word等)</li> <li>・かがやきA型での職業体験</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回 (学習進捗の確認・困りごと等のヒアリング面談)</li> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	あり 1食無料 当日キャンセルの場合は400円実費
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性や性格に応じた個別支援を行う事を大切にしている。</li> <li>・就労継続支援A型と就労移行支援の多機能型の事業所であるため、A型での職業体験が可能</li> </ul>

地区 (市町村)	福岡 (福岡市中央区)
施設名	てとて
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 (MOS Excel、Word、日本語検定、ビジネス実務マナー検定)</li> <li>・デザイン講座 (illustrator、Photoshopなどを使ったチラシ・ポスター制作)</li> <li>・動画編集講座 (動画編集 PremierePro、AfterEffects使用、アニメーション制作)</li> <li>・コミュニケーションプログラム (座学)</li> <li>・DtoCマーケティング研修</li> <li>・職場見学 (実際に企業に赴いて、見学を実施)</li> <li>・会社見学 (テレビ番組制作会社など)</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	相談に応じて実施
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	あり 1食無料 当日キャンセルの場合は400円実費
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の「やりたいこと」を最大限尊重し、本当にやりたいことを仕事として実現していくことを目指している。</li> <li>・一人一人の持つ潜在能力(できること)を発見し、育むことを大切にしている。</li> <li>・社会の一員として、経済的にも精神的にも自立できるスキル獲得をサポートしていく。</li> </ul>



地区 (市町村)	福岡 (糟屋郡粕屋町)
施設名	ウイング粕屋
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送 迎	あり
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は350円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑後 (大牟田市八本町)
施設名	たんぼぼ
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得講座 (MOS Excel、Word、日本語検定、ビジネス実務マナー検定)</li> <li>・デザイン講座 (illustrator、Photoshopなどを使ったチラシ・ポスター制作)</li> <li>・コミュニケーションプログラム (座学) Societyclub (余暇活動、ディスカッション、プレゼンテーション) 生産活動 (軽作業、DM封入作業、図書のデジタル化作業など) 外部講師による就労準備講座 (P S W、ナカポツ、ハローワークなど)</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業での職場体験実習</li> <li>・卒業生の働く職場への企業見学</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	原則なし
食事提供	1食450円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長く働き続ける事を最大の目標としている。</li> <li>・施設内での取り組みは自信獲得を最大の目標とし、体験実習を重ねる事で希望職種や必要な配慮を整理する。</li> <li>・定着支援事業、ジョブコーチを活用した定着支援を実施 上記支援が終了した後も、独自の定着支援 (在職者の交流会の実施 必要な場合には直接的な支援も実施する) を無期限で実施</li> </ul>

地区 (市町村)	筑後 (大牟田市築町)
施設名	ティオ大牟田築町
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日替わり開催のプログラム (ビジネススキル向上プログラム、コミュニケーションスキル向上プログラム、体力向上プログラム、リフレッシュプログラム、自己啓発プログラム、農業体験プログラム)、毎週土曜日はイベント開催</li> <li>・資格・検定プログラム(75種類以上は無料で学べる)</li> <li>・オンラインで充実した在宅サポート訓練(実際にテレワーク就労で行う業務を想定した実務作業訓練多数)</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の継続モニタリング</li> <li>・3ヵ月に1回(個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談に応じ企業等への見学・体験</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・履歴書・職務経歴書作成・添削</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接練習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送 迎	あり：無料(大牟田市、荒尾市、みやま市一部、柳川市一部) 公共交通機関を使って通所される方には交通費減免制度有り
食事提供	あり：無料 栄養バランスの取れた食事を取ることは、生活改善のために重要 ティオではプロのイタリアンシェフ監修によるバランスの取れたおいしい昼食を無料で提供
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はたらく自分をはっきり描けた。」のキャッチフレーズのもと、個々に合わせた支援を提供</li> <li>・スタッフ自身居心地がいいと思える空間・環境づくりを心がけています。環境が人を作る。利用者様が就職に向けた最適な訓練に取り組むためには、より良い環境があってこそだと考えています。ティオ大牟田築町では、利用者様にとってリラックスした落ち着いた最高の空間を提供したいと考えています。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑後 (久留米市国分町)
施設名	わ～よか
就職訓練 プログラム	<p>ビジネス&amp;コミュニケーショントレーニング（職業準備訓練）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座学、ロールプレイ（SST（ソーシャルスキルトレーニング））、余暇活動、フィットネストレーニング（体力づくり）、ワークトレーニング（作業訓練）</li> <li>・個別作業（個別目標にもとづく作業）</li> <li>・共同作業（周囲と協力して行う作業）</li> </ul> <p>&lt;事業所外&gt; 求職活動、職場見学、企業実習</p>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回以上</li> <li>・その方の状況や希望を考慮してこまめに行う場合もあり</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の状況やご希望を考慮して行う</li> <li>・これまでに各業種、のべ150社以上で実習を実施</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークへの求職登録と定期的な窓口相談への同行</li> <li>・履歴書など必要書類の作成</li> <li>・模擬面接（企業の面接官の協力を得てより実践的に行う場合あり）</li> <li>・職場実習の定期的実施と実習時のサポート</li> <li>・各種手続き関係のサポート</li> </ul>
送 迎	<p>原則なし</p> <p>※ただし、障害特性や経済的理由など諸事情により送迎を行った実績もあり</p>
食事提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・仕出し弁当の注文の注文は可能（420円、おかずのみ320円）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターは特別な知識や技術を教える場ではなく、皆さまが既にお持ちの力を引き出すための「土台作り」を行う場所です。</li> <li>・就職するための支援ではなく「ながく働き続ける」ための支援をテーマに、健康管理や社会人としての基礎習慣など持っている力を安定して発揮していくための訓練・支援を行っていきます。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑後 (筑後市山ノ井)
施設名	わ～よか筑後
就職訓練 プログラム	<p>ビジネス&amp;コミュニケーショントレーニング（職業準備訓練）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・座学、ロールプレイ（SST（ソーシャルスキルトレーニング））、余暇活動、フィットネストレーニング（体力づくり）、ワークトレーニング（作業訓練）</li> <li>・個別作業（個別目標にもとづく作業）</li> <li>・共同作業（周囲と協力して行う作業）</li> </ul> <p>&lt;事業所外&gt; 求職活動、職場見学、企業実習</p>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回以上</li> <li>・その方の状況や希望を考慮してこまめに行う場合もあり</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方の状況やご希望を考慮して行う</li> <li>・これまでに各業種、のべ150社以上で実習を実施</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークへの求職登録と定期的な窓口相談への同行</li> <li>・履歴書など必要書類の作成</li> <li>・模擬面接（企業の面接官の協力を得てより実践的に行う場合あり）</li> <li>・職場実習の定期的実施と実習時のサポート</li> <li>・各種手続き関係のサポート</li> </ul>
送迎	<p>原則なし</p> <p>※ただし、障害特性や経済的理由など諸事情により送迎を行った実績もあり</p>
食事提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・仕出し弁当の注文の注文は可能（420円、おかずのみ320円）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターは特別な知識や技術を教える場ではなく、皆さまが既にお持ちの力を引き出すための「土台作り」を行う場所です。</li> <li>・就職するための支援ではなく「ながく働き続ける」ための支援をテーマに、健康管理や社会人としての基礎習慣など持っている力を安定して発揮していくための訓練・支援を行っていきます。</li> </ul>

地区 (市町村)	北九州 (北九州市戸畑区)
施設名	クラルス (インクル) とばた
就職訓練 プログラム	<p>①ワークサンプル幕張版 (MWS)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の疑似体験 (OA作業、事務作業、実務作業等)</li> <li>・職業上の課題を把握する評価</li> <li>・作業上必要となるスキルや補完手段の方法などを把握</li> </ul> <p>②幕張ストレス・疲労アセスメントシート (MSFAS)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス・疲労アセスメント</li> </ul> <p>③生産活動 (軽作業、データ入力作業等)</p>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業等への見学</li> <li>・地域企業での職場体験実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	あり 1食470円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) が開発した就労支援のツールを活用</li> <li>・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している。</li> <li>・アセスメントを通じて、就労面のみに捉われず、その人にある生きづらさを把握、理解し就労支援外の支援も同一事業所内の他事業と連携して、課題解決に努めている。</li> </ul>

地区 (市町村)	北九州 (北九州市小倉南区)
施設名	クラルス (インクル) 春ヶ丘
就職訓練 プログラム	<p>①ワークサンプル幕張版 (MWS)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の疑似体験 (OA作業、事務作業、実務作業等)</li> <li>・職業上の課題を把握する評価</li> <li>・作業上必要となるスキルや補完手段の方法などを把握</li> </ul> <p>②幕張ストレス・疲労アセスメントシート (MSFAS)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレス・疲労アセスメント</li> </ul> <p>③生産活動 (軽作業、データ入力作業等)</p>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回 (月間モニタリング)</li> <li>・3ヵ月に1回 (個別支援計画モニタリング)</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施。</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業等への見学</li> <li>・地域企業での職場体験実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	あり 1食470円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) が開発した就労支援のツールを活用</li> <li>・アセスメント、活動を通じた自己理解を重要視している。</li> <li>・アセスメントを通じて、就労面のみならず、その人にある生きづらさを把握、理解し就労支援外の支援も同一事業所内の他事業と連携して、課題解決に努めている。</li> </ul>

地区 (市町村)	北九州 (北九州市小倉南区)
施設名	ファインズチャレンジド
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルスキルズトレーニング</li> <li>・ 社会適応訓練 ストレッチ (体力作り)</li> <li>・ パソコン基礎訓練 (Excel・Word 3級程度まで) 軽作業</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月に1回以上、活動時間内に実施</li> <li>・ 3ヵ月に1回 (個別支援計画、 モニタリング)</li> </ul> <p>※必要時は随時</p>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT企業、高齢者デイサービス (清掃・介護補助)、製菓工場、工務店</li> <li>・ その他必要に応じて実施 (牧場等実績あり)</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接練習</li> <li>・ 履歴書作成補助</li> <li>・ ハローワーク同行</li> <li>・ 面接同行</li> <li>・ 雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	あり：委託業者よりお弁当注文 1食200円
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アセスメント、活動を通じて自己分析 自己理解を重視している。</li> <li>・ 定着支援事業</li> </ul>



地区 (市町村)	北九州 (北九州市八幡西区)
施設名	スプライフ黒崎センター
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー</li> <li>・軽作業訓練</li> <li>・パソコン訓練</li> <li>・生活基礎訓練</li> <li>・コミュニケーション訓練</li> <li>・仕事リサーチ訓練</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2回 (月曜日・金曜日) 訓練の進捗確認、週間スケジュール確認</li> <li>・月1回 (モニタリング・アセスメント聞き取り)</li> <li>・その他、必要に応じて</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて実施</li> <li>・職場見学のみの実施</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・応募書類添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習同行</li> </ul>
送 迎	なし
食事提供	なし
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労を長く続けるための支援を心がけて訓練を提供しています。</li> </ul>

地区 (市町村)	北九州 (中間市通谷)
施設名	ウイング中間
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送 迎	あり
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は350円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑豊 (田川郡福智町)
施設名	ジョブサポートみろく
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学（ビジネスマナーやコミュニケーションなど）</li> <li>・生産活動（カレー工場での食品加工、精密機器の組立や加工及び検査、シール貼りや箱折り等の軽作業、クリーニング、物流センターでの検品や搬入作業、清掃作業など）</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回（月間モニタリング）</li> <li>・3ヵ月に1回（個別支援計画モニタリング）</li> <li>・その他必要に応じて随時面談を実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業等への見学</li> <li>・地域企業での職場体験実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・履歴書添削</li> <li>・ハローワーク同行</li> <li>・通勤訓練</li> <li>・企業見学同行</li> <li>・面接同行</li> <li>・雇用前実習の実施</li> </ul>
送 迎	あり 無料
食事提供	あり 1食500円 ※当日09：00まで注文可能
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で食品工場から精密機器の加工等、様々な作業を提供</li> <li>・地域の協力企業先での職場実習を組み合わせ、求職活動時における職種の設定や就労時間等、整理</li> </ul>

地区 (市町村)	筑豊 (飯塚市柏の森)
施設名	ウイング飯塚
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送迎	あり
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は350円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑豊 (飯塚市川津)
施設名	ウイング川津
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送 迎	あり
食事提供	あり 1食無料 当日キャンセルの場合は350円実費
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑豊 (直方市古町)
施設名	ウイング直方
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送迎	あり
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は350円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地区 (市町村)	筑豊 (田川市弓削田)
施設名	ウイング
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学 (外部講師によるビジネスマナーやコミュニケーション講座)</li> <li>・スポーツ (大会に向けた練習やジムでの体力向上)</li> <li>・創作活動・余暇含め地域に出での新たな体験への参加</li> <li>・生活訓練 (金銭管理・環境整備・調理・生活リズム)</li> <li>・高校卒業 (通信学科) のための学業支援</li> <li>・内職参加による生産活動</li> <li>・コンピュータサービス技能評価試験対策講座と福岡県職業能力開発協会認定施設として検定実施による資格取得</li> <li>・動物とのふれあいやトレーニング参加による意欲やメンタル面の安定</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回振り返り面談を実施</li> <li>・相談に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種の企業等への見学・体験</li> <li>・グループ実習</li> <li>・就職を見据えた個別実習</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワークでの検索補助</li> <li>・履歴書作成・添削支援</li> <li>・公共交通機関の利用など通勤方法獲得支援</li> <li>・企業見学・体験同行</li> <li>・面接前個別実習</li> <li>・面接同行</li> </ul>
送 迎	あり
食事提供	<p>あり</p> <p>1食無料</p> <p>当日キャンセルの場合は350円実費</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会や年に一度のキャンプ参加などを実施し、新たな体験を行える機会を提供</li> <li>・生活状況を把握し、生活面からの改善ができないかなどの訪問支援も組み合わせて行う。</li> </ul>

地 区 (市町村)	筑豊 (田川郡川崎町)
施設名	たいよう
就職訓練 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内作業 (自動車部品解体作業をグループで進めながら、困った時・分からない時など、他者とのコミュニケーションスキルアップを目指す訓練)</li> <li>・企業実習</li> <li>・S S T (ソーシャルスキルトレーニング) (対人関係や、日常生活で起こりうる困りごとをロールプレイなどで解決方法を見つけていく)</li> <li>・施設外活動 (体力作りや工場見学、公共施設(図書館など))</li> </ul>
相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適時状況に応じて実施</li> </ul>
職場実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーティーン実習(月～木 PM～)</li> <li>・就職を見据えた場合は、個別実習へ切り替え</li> </ul>
就職活動 サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履歴書、面接訓練</li> <li>・面接同行</li> <li>・就職後サポート、関係機関と連携</li> </ul>
送 迎	あり：無料 (田川圏域)
食事提供	あり
その他	



(3) 周知広報を行った支援機関等

支援対象者	周知先機関
全般	ハローワーク（14か所） ●県内4地区就労移行支援事業所 ●警察署相談窓口（36か所） ●訪問看護ステーション（一部） ●大学学生課（一部） ●社会福祉協議会（一部） ●福岡県若者就職支援センター ●保健福祉事務所（一部）
非行少年 等	福岡県若者自立相談窓口 非行少年等に対する就労支援事業 （NPO法人福岡県就労支援事業者機構） ●NPO法人青少年の自立を支える福岡の会 ●福岡市こども総合相談センター ●飯塚少年サポートセンター
起訴・執行猶予者	福岡県地域生活定着支援センター
ひきこもり	福岡県ひきこもり地域支援センター ●北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ ●福岡市ひきこもり成年地域支援センターよかよかルーム ●福岡県立大学不登校・ひきこもりサポートセンター ●福岡市思春期ひきこもり地域支援センター ワンド ●ひきこもり家族会 福岡「楠の会」
難病患者	福岡県難病相談支援センター ●北九州市難病相談支援センター ●福岡市難病相談支援センター ●就労支援ネットワークONE
ひとり親	福岡県ひとり親サポートセンター（3か所） ●北九州市立母子・父子福祉センター ●福岡市立ひとり親家庭支援センター

障がいのある人	<p>障害者就業・生活支援センター（13か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡障害者職業センター</li> <li>●障がい者基幹相談支援センター（一部）</li> </ul> <p>福岡市障がい者就労支援センター 福岡市精神保健福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡市身体障害者福祉協会</li> <li>●甘木地区障害者生活支援拠点センター</li> </ul>
刑余者	<p>福岡県地域生活定着支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保護司会（一部）</li> <li>●福岡県再犯防止推進会議委員</li> </ul> <p>福岡県就労支援事業者機構</p>
生活困窮者	<p>県所管自立相談支援事業所（5か所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市町村所管自立相談支援機関相談窓口（36か所）</li> <li>●福岡市福祉局保護課、各区保健福祉センター保護課</li> <li>●認定NPO法人ホームレス支援おにぎりの会</li> <li>●認定NPO法人抱樸 ホームレス自立支援センター北九州</li> <li>●保健福祉事務所（一部）</li> </ul>
長期無業者 (ニート等含む)	<p>若者サポートステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡市若者総合相談センターユースサポートhub</li> </ul> <p>子ども・若者応援センターYELL 福岡県若者自立相談窓口 若者ワークプラザ北九州</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新卒応援ハローワーク</li> </ul>
高齢者	<p>福岡県生涯現役チャレンジセンター (福岡・北九州・久留米・飯塚オフィス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本福祉人材育成支援機構 カイスタカイゴスクール</li> <li>●福岡県中高年就職支援センター</li> <li>●株式会社天使の鈴友の会</li> </ul>
●子育て親	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て女性就職支援センター (北九州・福岡・筑豊・筑後エリア)</li> </ul>
●依存症	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ジャパンマック福岡</li> <li>●福岡県精神保健福祉センター</li> </ul>
●LGBTQ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県内団体（4団体）</li> <li>●LGBTQ支援団体 OVER THE RAINBOW</li> <li>●株式会社マイソル</li> </ul>

●女性	●男女共同参画推進センター（福岡・北九州）
●その他	●自衛隊援護協会 福岡支部 ●大牟田文化会館

●・・・当初予定はしていなかったが、周知を行った機関

# 事例集

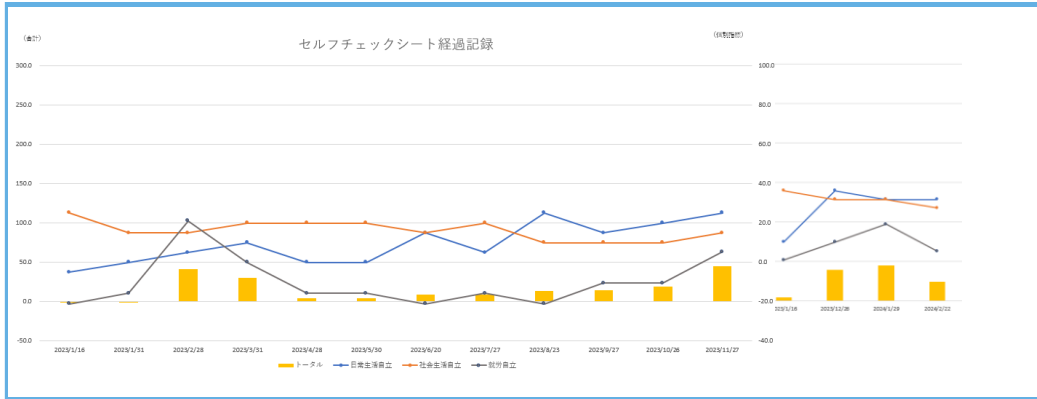
事例1 筑豊地区 2023年1月16日～通所中

ジョブサポートみろく 通所

年代・性別・区分	30代 男性 ひきこもり
紹介機関	田川地区障がい基幹相談支援センター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑豊若者サポートステーションで就職支援をうけ、鉄道作業員で3年就労 手のしびれがあり退職</li> <li>・自宅や近所の農作業を手伝うことがあるが、ひきこもり状態</li> <li>・田川地区障がい者基幹相談支援センターの支援者がWD事業のことを知っていたため、ジョブサポートみろく（訓練実施事業所）へ相談</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・疲れやすく、時季により体調が不安定</li> <li>・左手に痺れがあり、握力が弱い</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい環境作り（声掛け、必要に応じた面談の実施）</li> <li>・様々な作業の提供と振り返りによる得意・不得意を整理</li> <li>・企業実習</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練内容に合わせた準備をして、訓練に臨んでいる</li> <li>・通所日に合わせて体調を整えている</li> <li>・話をよくするようになった</li> <li>・得意な作業が分かってきた</li> <li>・就職について考えるようになった</li> </ul>

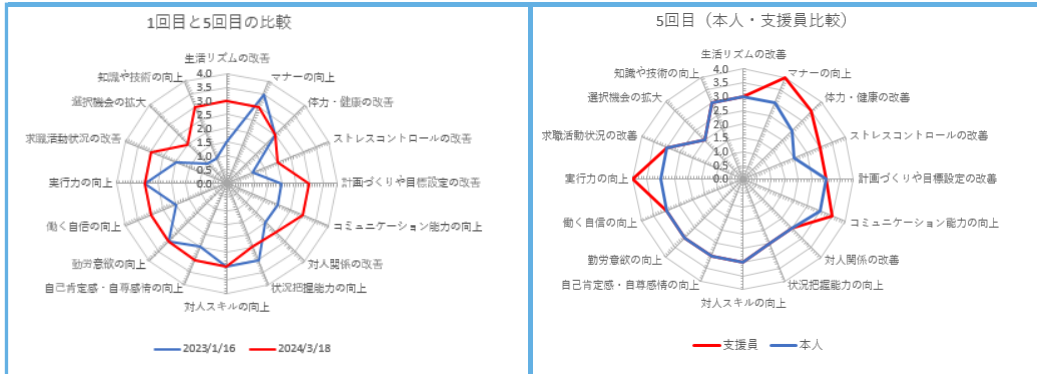
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

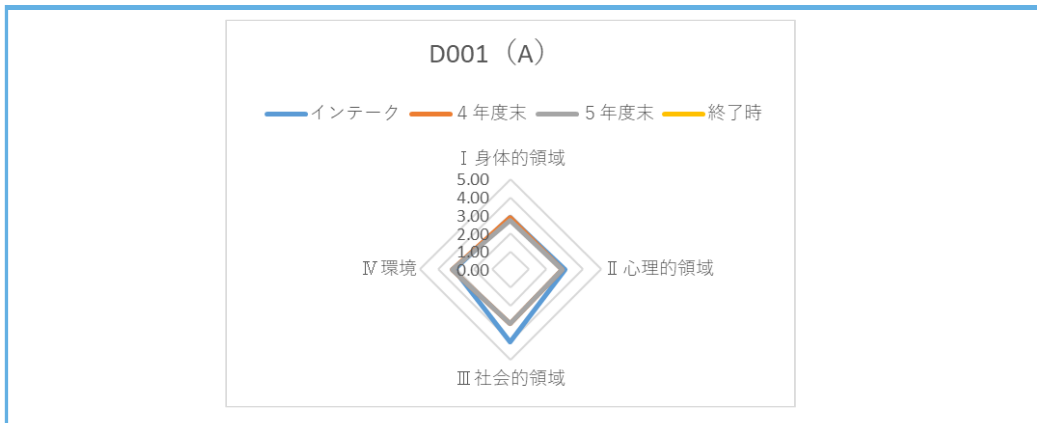


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

プログラムに参加したことにより、これまでよりも対人関係が広がったことが想定される。これまででは限られた人間関係の中での満足感を評価していたが、対人関係の広がりが影響を及ぼし、社会的関係領域の得点が低下したと考えられる。

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

全体として前年度からの結果を概ね維持しているが、心理的領域に低下が見られる。不安・緊張による影響があると思われ、手の痺れなども身体化によるものだと考えられる。睡眠状況を確認しつつ、負荷が過剰にならないように配慮する必要がある。

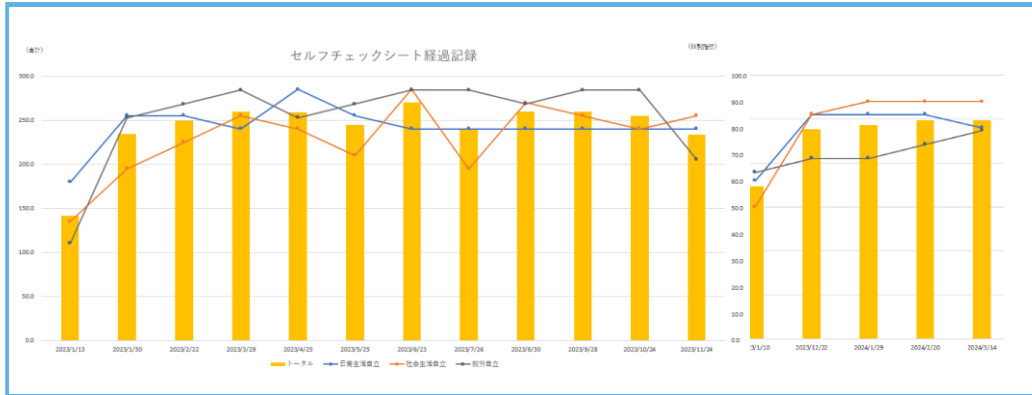
事例2 福岡地区 2023年1月13日～通所中

キャリアサポート福岡 通所

年代・性別・区分	20代 男性 ニート・フリーター
紹介機関	福岡県公式LINE
支援経緯	・福岡県公式LINEをみた家族の勧めで、本人から申込み
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係</li> <li>・緊張（緊張が伴う場面での会話継続）</li> <li>・数字が苦手</li> <li>・自信が無い</li> <li>・自己管理（時間を間違える、予定通り動けない）</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業・訓練を通して報告・連絡・相談を習慣化する</li> <li>・グループワークを行い、コミュニケーション方法を模索</li> <li>・様々な作業で得手不得手を確認</li> <li>・定期的な面談による不安事項等の確認</li> <li>・就職活動サポート</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に慣れ、コミュニケーション力が向上</li> <li>・作業内容の理解度が速い事を確認</li> <li>・ミスの原因を突き止められる事を確認</li> <li>・苦手な数字に関わる作業に自らの意思で挑戦し、問題なく行える事が判明</li> <li>・訓練日数が週2日から週4日に増加</li> <li>・報告・連絡・相談ができるようになった</li> <li>・自らの意思で若者サポートステーションに登録し、企業体験を実施</li> </ul>

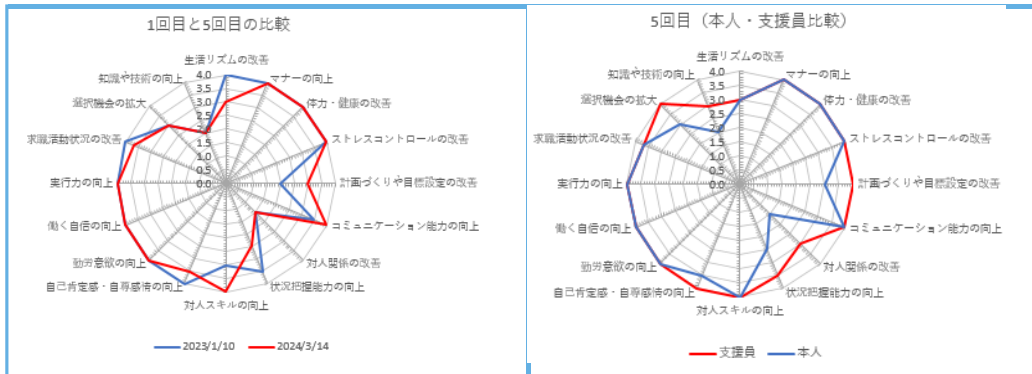
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

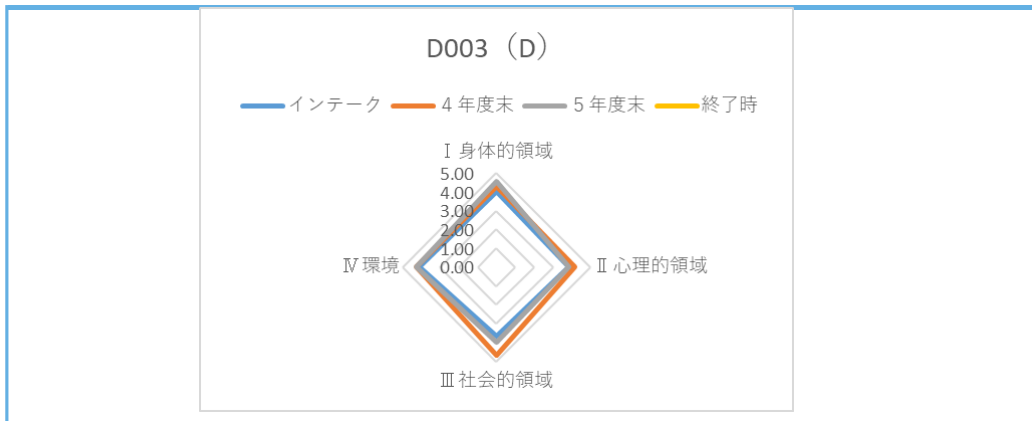


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

参加時より高いQOLであるが、年度末時点で社会的関係がさらに高まっている。プログラムに参加したことにより、対人交流が増えたこと、スタッフの支えにより安心して参加できたことが推察される。

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

全体として高い水準にあるが、周りからどのようにみられるのか気にしやすいタイプの方だと思われる。肯定的な声かけは必要であるが、的確に伝える必要がある。支援状況の報告より、支援員の対象者理解が深まっていることが窺える。

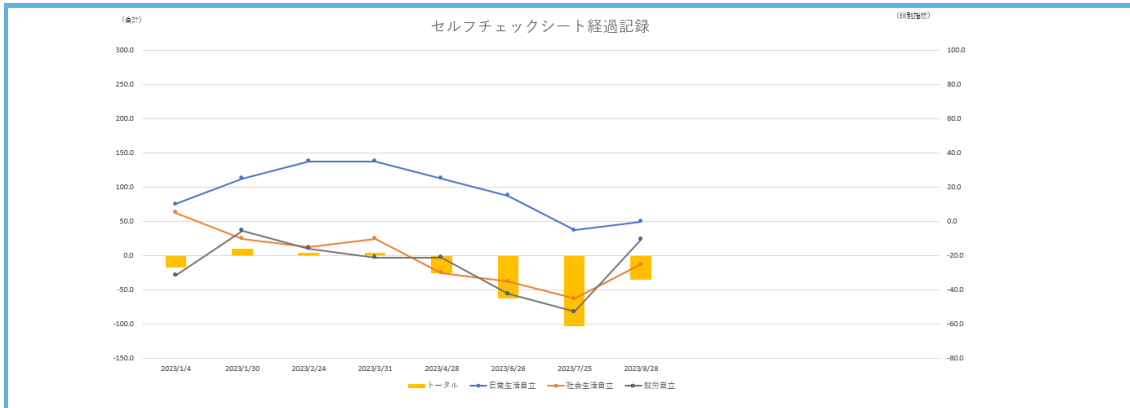


事例3 北九州地区 2023年1月4日～2023年8月28日  
 インクル春ヶ丘 通所

年代・性別・区分	30代 女性 その他の困難要因
紹介機関	北九州障害者しごとサポートセンター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後介護職として10年、工場等のバイトで約1年の職歴あり</li> <li>・介護職、工場でも対人関係がうまくいかず退職</li> <li>・うつ病で通院歴あり</li> <li>・仕事が続かず、北九州障害者しごとサポートセンターへ相談</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手、周囲の人が気になる</li> <li>・自分の気持ちを伝える事が苦手</li> <li>・自信が持てない</li> <li>・自分に合う仕事が見つからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OA・事務・実務など様々な訓練を行い、できる業務を確認</li> <li>・週課を決めて訓練を提供</li> <li>・毎週の面談、作業時に適宜声掛けを実施</li> <li>・毎月の作業習得状況、日々の変化の振り返り面談を実施</li> <li>・面談の結果を踏まえた適職の選定</li> </ul>
効果	<p>【2023年9月18日より福祉サービスへ移行（軽度知的障がい）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数行程、確認ポイントが多いものは苦手と判明</li> <li>・身体的不調に気づき、対処できるようになった</li> <li>・通院の再開、服薬による身体的不調（体の凝りなど）が改善</li> <li>・検査を受け軽度の知的障がいと診断（障害受容も少しずつ進む）</li> <li>・本人の困りごと（働き辛さ）の背景が判明</li> <li>・前向きな気持ちが出てきた（利用時間延長・介護福祉士の資格取得）</li> <li>・自身に合った就労継続支援B型事業所を見つける</li> </ul>

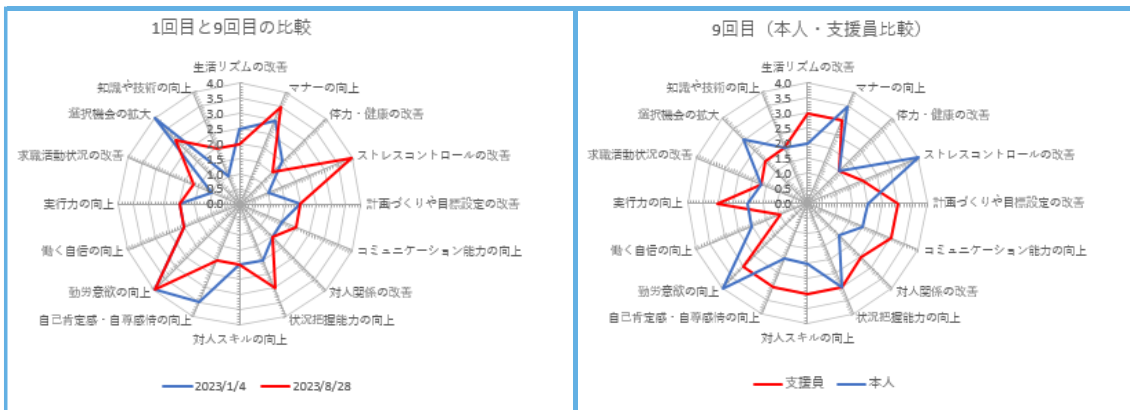
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

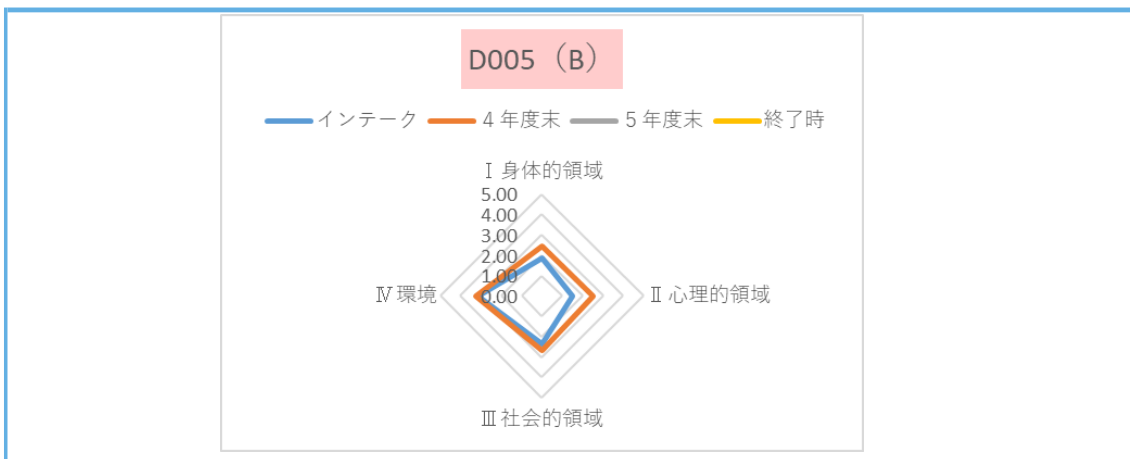


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### 〈事業アドバイザーのコメント〉

全体としてQOLが向上していることが窺える。心理的領域が高まっていることから、支援者からの関わりにより、自信を深めることができていると考えられる。

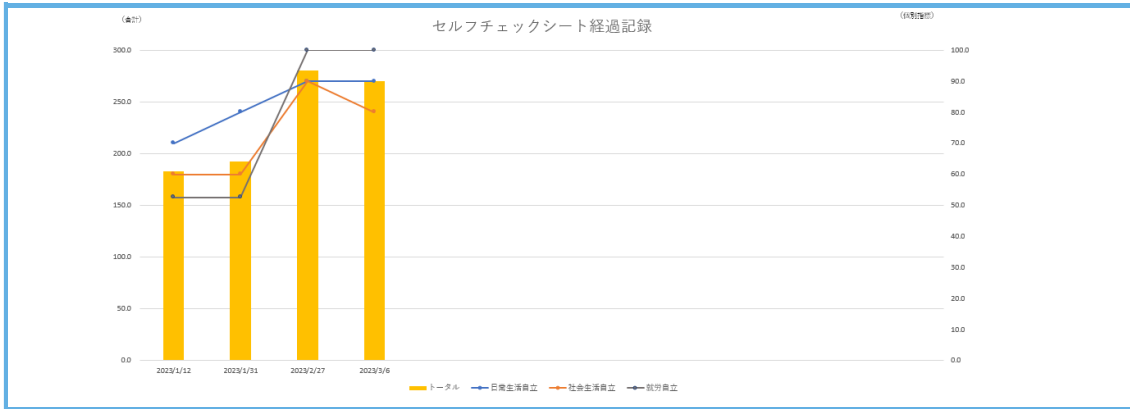
事例4 福岡地区 2023年1月12日～2023年3月6日

キャリアサポート福岡 通所

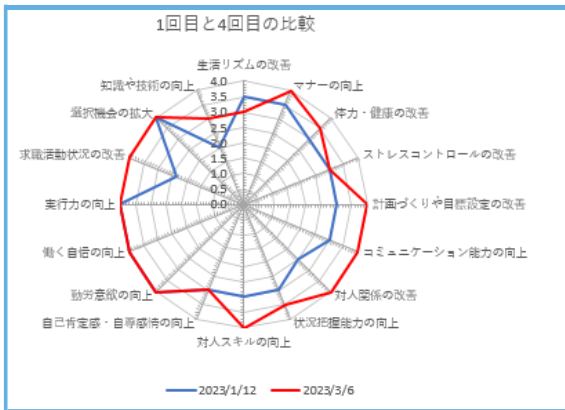
年代・性別・区分	30代 女性 その他の困難要因
紹介機関	子育て支援事業関係
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣、バイト等で10年の職歴あり</li> <li>・結婚、出産を機に離職し、10年弱のブランクあり</li> <li>・2021年の冬うつ病になり通院し、回復</li> <li>・就職を考えるが、支援が必要と子育て支援事業所に入入りしている支援員に相談</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人混み、大人数の音が苦手</li> <li>・働く勤を取り戻したい</li> <li>・対人スキルを身に着けたい</li> <li>・意思表示があまりなく、考えや希望が分かりにくい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日数を決め、通所リズムを整える</li> <li>・報告・連絡・相談の徹底</li> <li>・就職に向けて、面接練習を行う</li> <li>・定期的に面談を行い、不安や悩みの聞き取りを行う</li> </ul>
効果	<p>【2023年3月20日から給食センターで就労（自己開拓）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目を合わせて話せるようになり、笑顔が増えた</li> <li>・自分に合う働き方を見つけるという視点が出来た</li> <li>・就労意欲がわき、就職活動に力を注ぐ事ができた</li> <li>・面接練習で面接に慣れる事ができた</li> <li>・2年間働き、調理師免許取得を目指したいと目標を持つようになった</li> </ul>

## KPSツールを活用した評価結果

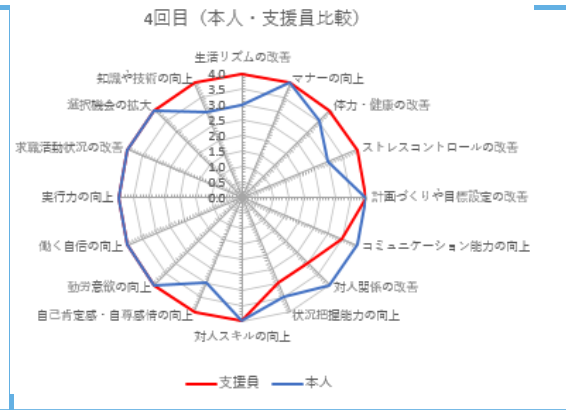
### 【TS59による自己評価の推移】



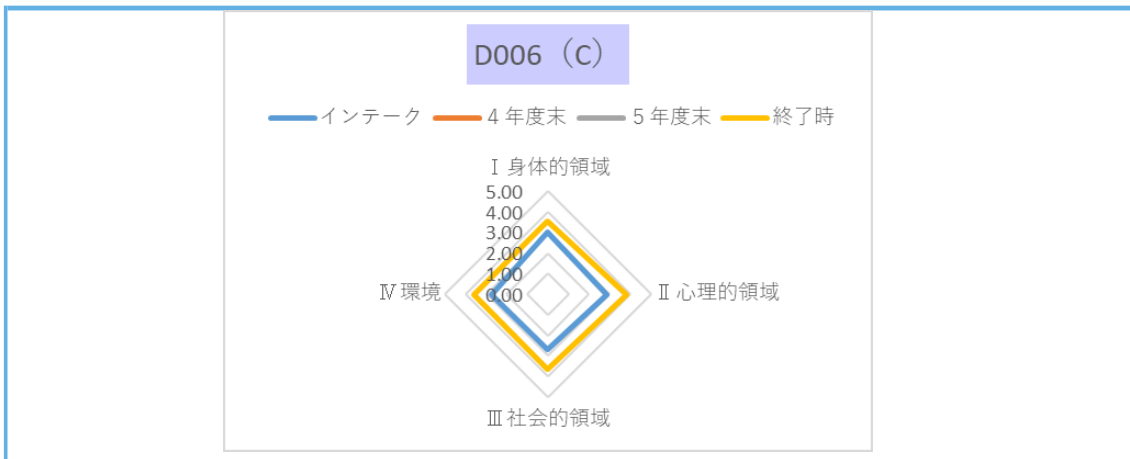
### 【GN25による自己評価の推移】



### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

〈事業アドバイザーのコメント〉  
 全体としてQOLが向上していることが窺える。心理、社会的関係、環境での高まりから、プログラムへの参加が就職に向けての自信を深めるきっかけになったと考えられる。

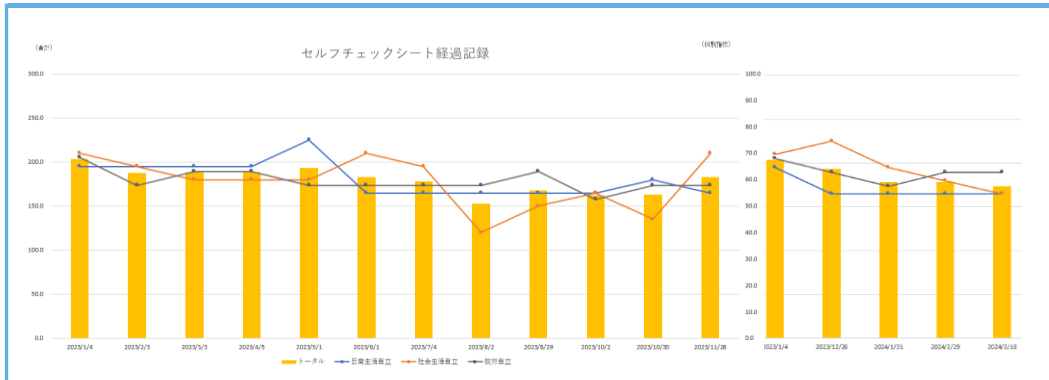
事例5 筑後地区 2023月1日4日～通所中

たんぼぼ 通所

年代・性別・区分	10代 女性 ニート・フリーター、その他の困難要因（場面緘黙）
紹介機関	筑後若者サポートステーション
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後就職先が決まらず、高等技術専門学校に進学するも中退</li> <li>・若者サポートステーションに登録し、たんぼぼ（訓練実施機関）を体験</li> <li>・たんぼぼの利用を希望するが、障がいの診断がないため、WD事業を利用</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面緘黙 （一言も喋ることが出来ず、筆談やチャットを使って面談）</li> <li>・自信が無い</li> <li>・自分に合う仕事が見つからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた場所・時間での挨拶をルール化</li> <li>・訓練時に報連相のタイミングを明確にし、報連相を促す</li> <li>・様々な作業を行い、利用者に合う職種を見つける （施設内での部品組み立て、DM発送作業、外部講師による学習プログラム）</li> <li>・振り返りを行い出来ることを確認</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日休むことなく通所</li> <li>・集中力、作業能力の高さ、就労に対する強い意志を確認</li> <li>・母親の場面緘黙や手帳取得に対する理解度が深まった</li> <li>・返事・挨拶・報告が少しできるようになった （初めは慣れた職員のみ、1カ月後は職員全員、2か月後は大勢の前で自己紹介を行うなど、話せる範囲が徐々に広がった）</li> <li>・自ら企業実習に行きたいとの意思表示をし参加</li> <li>・吃音を治療し就職したいという思いに変わり、障がい福祉サービス受給者証を取得を検討</li> </ul>

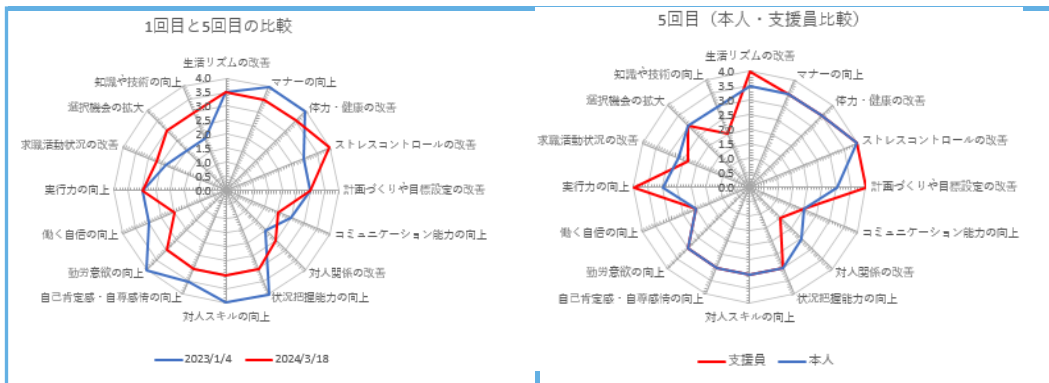
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

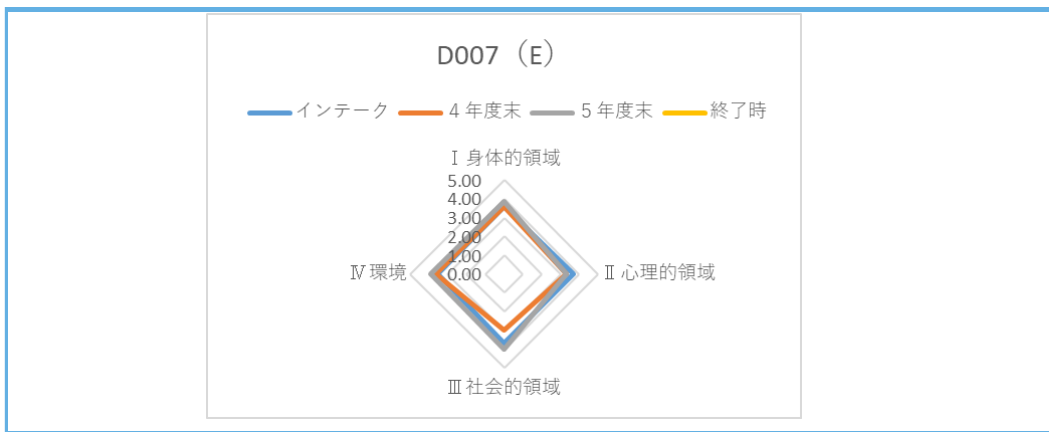


【GN25による自己評価の推移】

【GN25による本人・支援員評価の比較】



【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R4 〈事業アドバイザーのコメント〉

参加時より高いQOLであり、年度末時点でも維持することができている。社会的関係が低下しているように見えるが、同年代男性と同程度である。

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

支援員の記録にもあるように、本人の自己理解の深まりが窺える。QOLの社会的領域における低下は、訓練等で社会的交流を求められる場面が増えたことも一因ではないかと推察する。挨拶やスタッフへの声かけについては、緘黙症のある者に対してそれらを支援目標とすべきか、今一度検討が必要である。

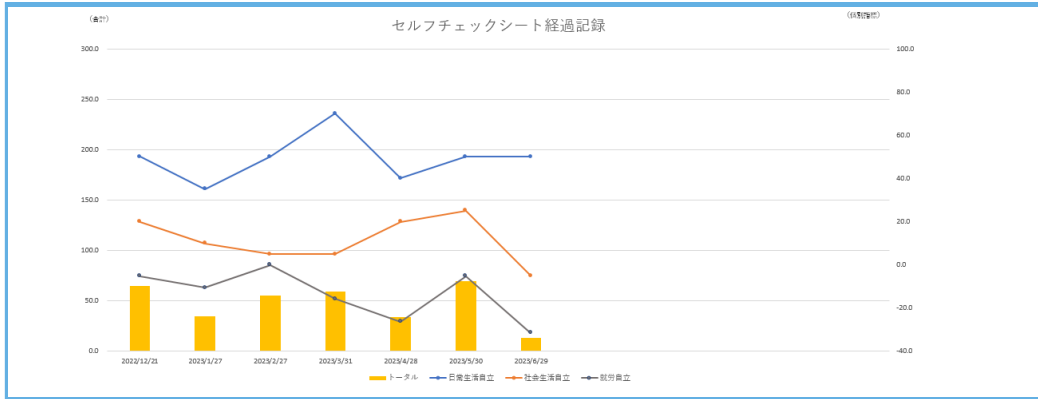
事例6 北九州地区 2023年1月6日～2023年7月31日

インクル春ヶ丘 通所

年代・性別・区分	40代 女性 その他の困難要因
紹介機関	北九州障害者しごとサポートセンター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業を主とし28年ほどの職歴あるも、1～2年で転職を繰り返す</li> <li>・若者サポートステーションに登録し、定期的に活用</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力がない</li> <li>・コミュニケーションに不安がある</li> <li>・出来ないことが多く、仕事が長続きしない</li> <li>・自分にできることや何を頑張ったらいいのかが分からない</li> <li>・ミスを気にして確認行動が多くなり、作業速度が向上しない</li> <li>・前回行なった作業を覚えていない事がたびたびある</li> <li>・心身の不調に対する自己受容が進んでいない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理のない範囲での通所の継続による体力の向上</li> <li>・作業時の適宜声掛け</li> <li>・面談による作業習得状況と、日々の変化に対する振返りの実施</li> <li>・OA、事務、実務を通し、できることを確認</li> </ul>
効果	<p>【体調悪化により2023年7月31日付けでWD事業利用を終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用当初は週3～4日の午前みの利用で、通所が安定</li> <li>・利用日数や時間を増やせるように努力している</li> <li>・自分に合った働き方を見つけるという視点ができた</li> <li>・自身の気力、体力の限界を理解できるようになった</li> <li>・就職に向けた積極的な行動（訓練日以外の若者サポートステーションでの講座受講）</li> </ul>

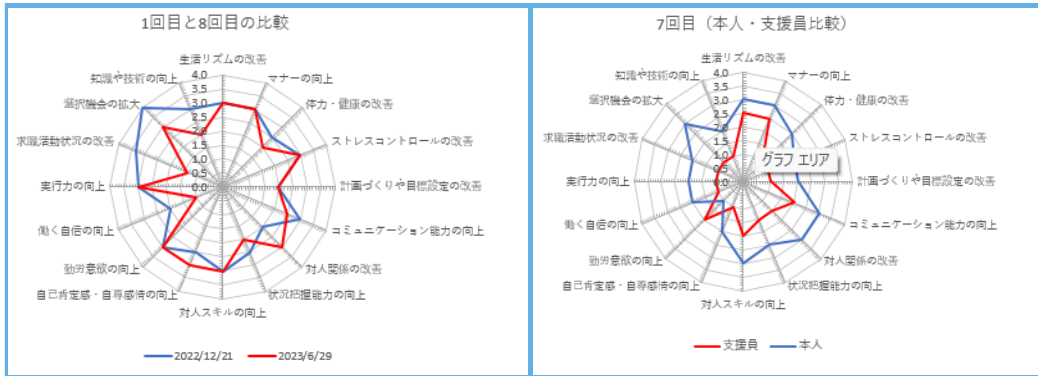
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

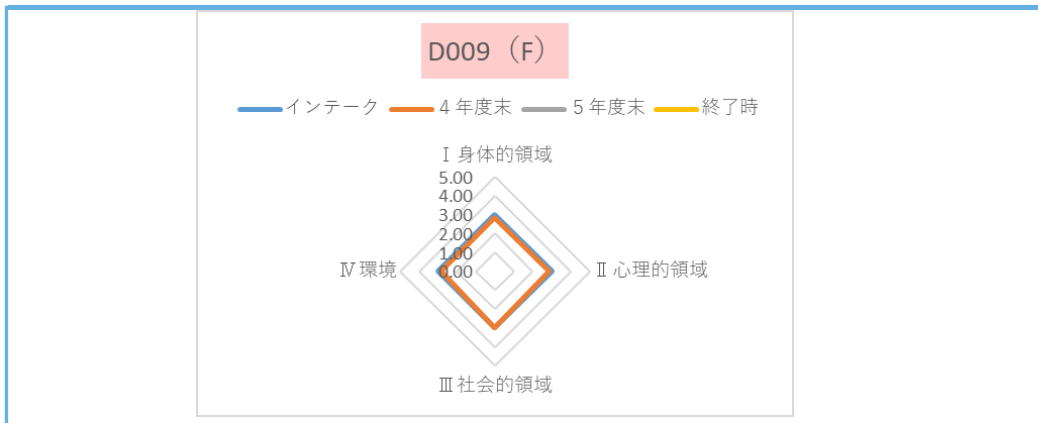


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

全体的に同年代女性のスコアよりも低い傾向にあるが、特に身体と心理の低さが目立つ。身体機能を考慮した働き方の模索、自信の回復が求められる。

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

身体、心理、環境の領域に加え、全体的なQOLも低下している。利用日数の設定が難しい事例であったと考える。中断は別の事例でも想定されることであり、このような場合にいかに再開まで支援するか知見の蓄積が求められる。そのような観点から、本事例の振り返りが肝要であると考えられる。



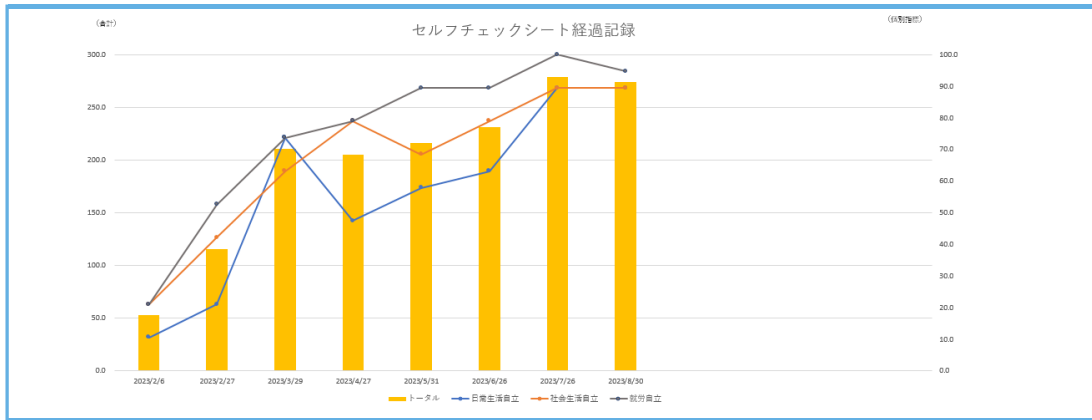
事例7 福岡地区 2023年2月6日～2023年8月30日

キャリアサポート福岡 通所

年代・性別・区分	30代 男性 生活困窮者・ひきこもり
紹介機関	ホームレス支援福岡おにぎりの会
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームレス生活（半年程度）</li> <li>・福岡おにぎりの会の支援を受ける</li> <li>・生活保護受給、居住支援</li> <li>・ひきこもり生活（1年程度）</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の乱れ（昼夜の逆転、夜間のみ外出）</li> <li>・対人恐怖（人混みや集団に対する圧迫感や体調の乱れ）</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所日数を調整しながら通所による負担を確認</li> <li>・生活習慣の乱れの改善</li> <li>・様々な作業に参加し、得意な事や苦手な事を探る</li> <li>・得意な事を増やし、自信が持てるように働きかける</li> <li>・必要に応じて訓練内容の提案や助言を行う</li> </ul>
効果	<p>【2023年9月1日から設備工事会社にて就労（自己開拓）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して作業を行える事が確認できた</li> <li>・ひきこもり状態から一歩踏み出せた</li> <li>・自信がつき、就労意欲が高まり、積極的に就職活動を行うようになった</li> <li>・人と話すこともない生活から、会話のある生活になって気分が軽くなった</li> <li>・前向きな気持ちが出てきて不安感がなくなり、意欲が出てきた</li> <li>・人と関わる事は苦手だったが、通所によって嫌じゃないと思えるようになった</li> <li>・他の利用者が頑張っている姿を見て自分も頑張ろうと思った</li> <li>・対人恐怖や生活習慣に対する自己認識が深まった</li> </ul>

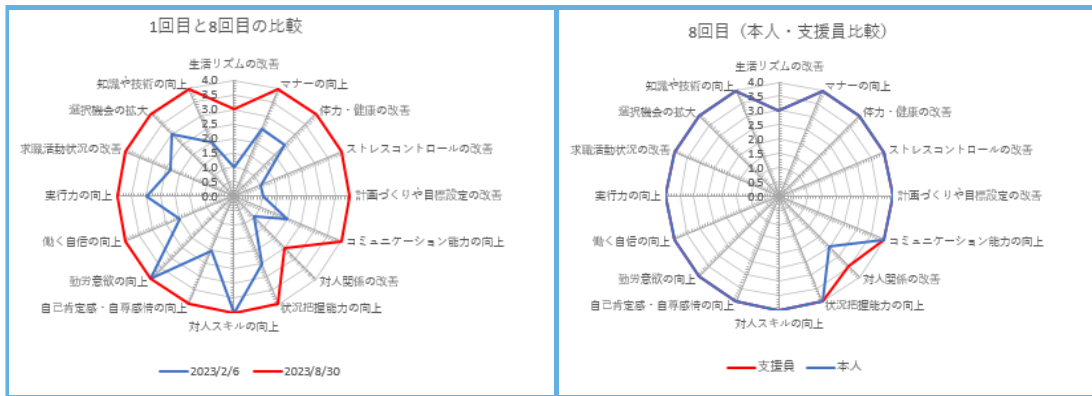
KPSツールを活用した評価結果

【TS59による自己評価の推移】

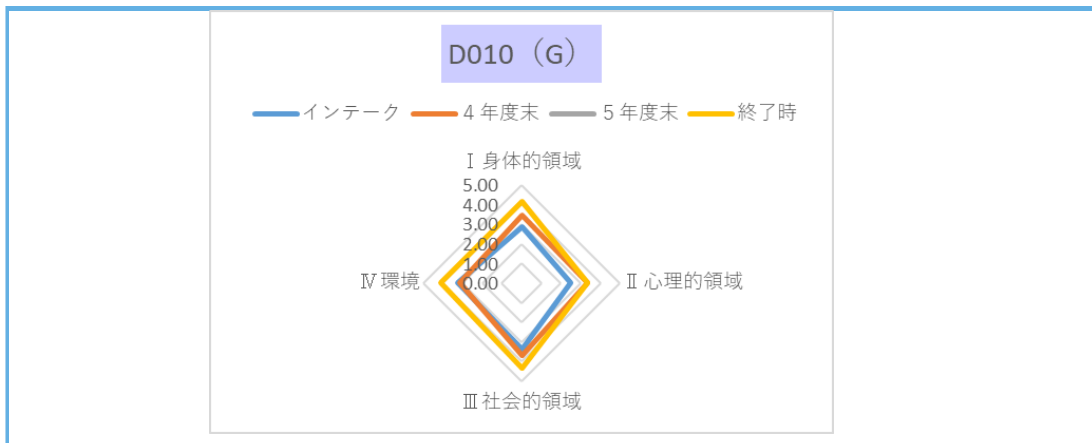


【GN25による自己評価の推移】

【GN25による本人・支援員評価の比較】



【QOLによる自己評価の推移】



事業アドバイザーのコメント

R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

年度末時点で、全体的にQOLが高まっているが、心理の高まりが目立つ。スタッフの関わりや、事業所での経験が自己評価を回復させる一助になっていると思われる。

R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

全体的なQOLの高まりが確認できる。今年度は社会的領域や環境といった部分の高まりが顕著であった。

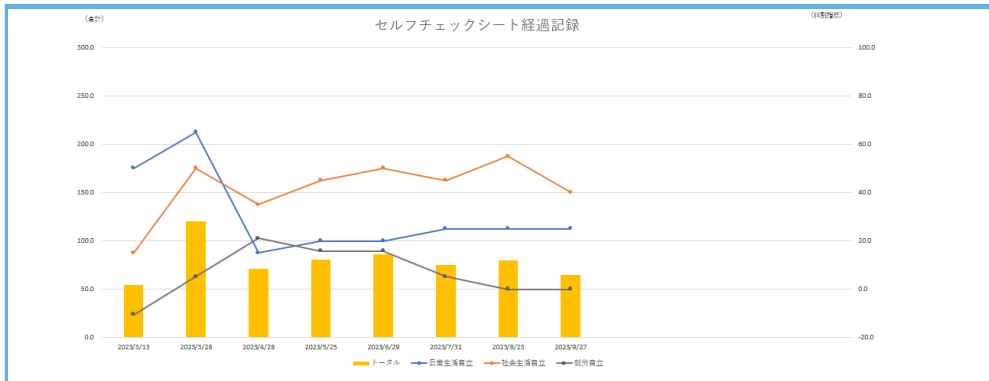
事例8 筑豊地区 2023年3月13日～2023年10月3日

ジョブサポートみろく 通所

年代・性別・区分	30代 男性 その他の困難要因
紹介機関	筑豊若者サポートステーション
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣、アルバイト等で21年の職歴あり</li> <li>・緊張するとパニックになり、仕事ができなくなる</li> <li>・ハローワークから筑豊若者サポートステーションへ繋がり、若者サポートステーションの検査でIQが低いことが判明</li> <li>・病院の通院歴はなし</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・緊張するとパニックになる</li> <li>・こだわりが強い</li> <li>・就労へのプレッシャーがある</li> <li>・パニック</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい環境作り</li> <li>・自身の思いを確認し整理</li> <li>・様々な作業を提供し、得意・不得意を整理</li> <li>・面談、助言</li> <li>・受診時のサポート</li> </ul>
効果	<p>【2023年10月4日から福祉サービスへ移行】（知的障がい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と繋がり緊張状態が改善</li> <li>・不安感が軽減された</li> <li>・プレッシャーが強かったが、ラクになった</li> <li>・支援員、利用者等相談できる人や話せる人が増えた</li> </ul>

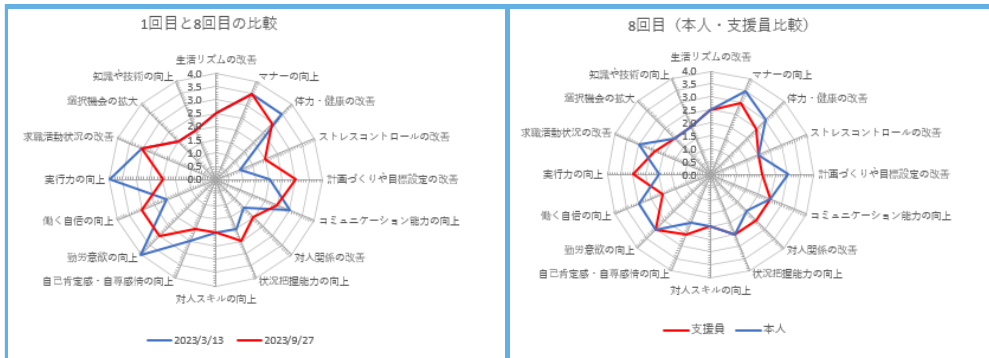
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

参加時に特に低かった社会的関係のQOLが少しずつ向上している。他者との比較の中で自信を失うことが想定されるため、自らの成長や変化に焦点化する関わりが効果的であると思われる。

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

父親が亡くなるなど、心理的に不安定になる出来事があった。周囲の支援者のサポートにより、心理的状態の安定につながったと推察される事例である。利用当初から中等度以上の知的障害が想定される中で、本事業につなぐ判断が妥当であったのか検討が必要である。一方で、本事業につながり、支援を受けていく過程で、支援者を信頼し、精神科への受診につながったとも考えられる。

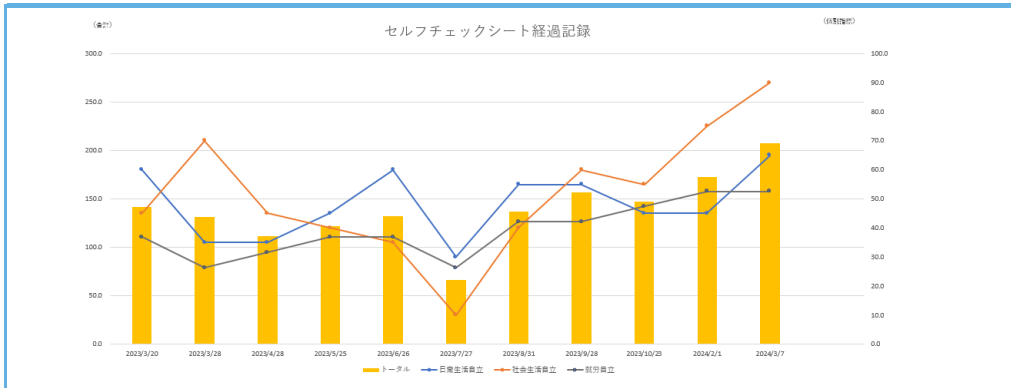
事例9 筑豊地区 2023年3月20日～2024年3月27日

ジョブサポートみろく 通所

年代・性別・区分	20代 男性 難病その他の病気、障がい者（障がい福祉サービス受給者証を持たない者）
紹介機関	福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年7月に自閉症スペクトラムの診断を受ける</li> <li>・福岡県発達障がい者支援センターに相談</li> <li>・手帳取得には抵抗があり、大学卒業後は一般就労を希望</li> <li>・知り合いの飲食店でバイト歴2年</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・忘れやすく、バイト先の仕事でミスが多い</li> <li>・自信が無い</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすい環境作り</li> <li>・様々な作業を提供し、得意・不得意を整理</li> <li>・振返りを行い、出来ることを確認</li> </ul>
効果	<p>【大学卒業延期のため、WD事業利用を終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい作業が出来ることが分かった</li> <li>・苦手だった、事業所への連絡を問題なく行えている</li> <li>・配慮のある環境で、共同作業を行える事を確認</li> <li>・相談できる人が増えた</li> </ul>

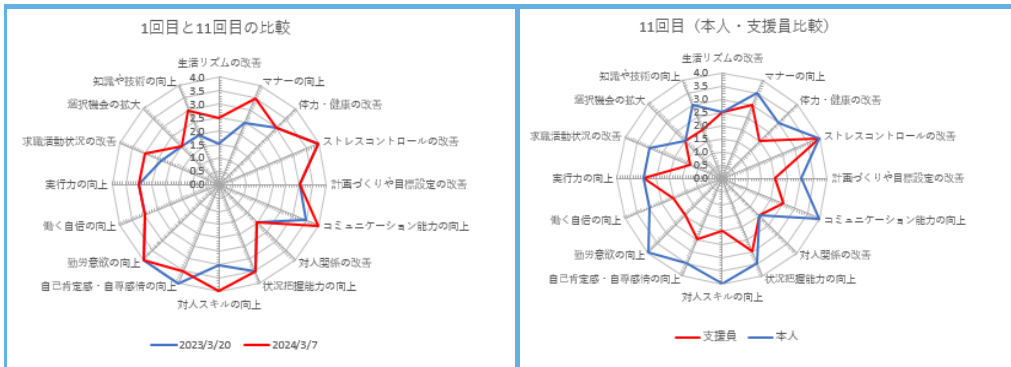
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 4 〈事業アドバイザーのコメント〉

身体において本人の満足が高まっている。作業を通じた得意や不得意の整理により、自分にできる作業が明確になったことが想定される。そのことにより、自信を深めることができたと考える。

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

診断があり、手帳の取得に至った事例である。就労系障害福祉サービスに繋いでいくことが必要であろう。

卒業に向けてエネルギーを修学に傾ける必要があるとの本人の判断であると思われる。卒後に福祉サービスにつなげる現在の方針に異論はない。

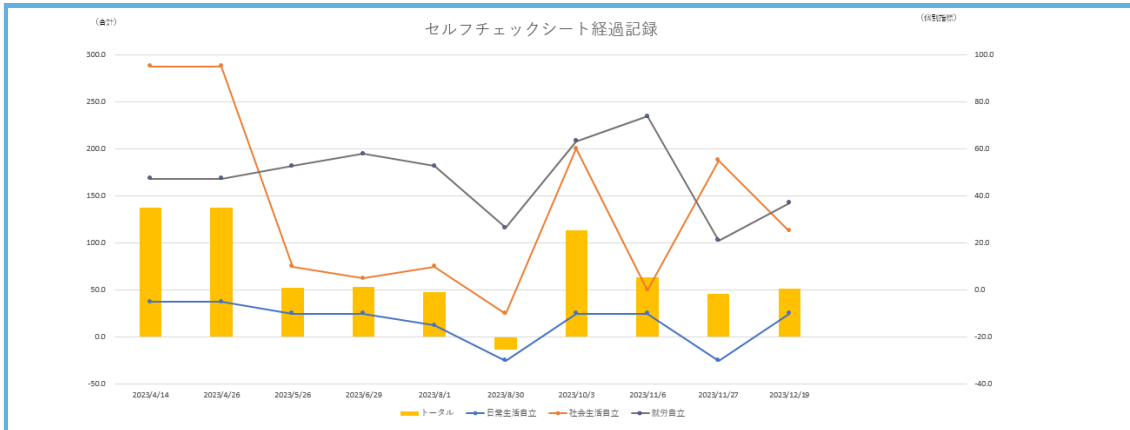
事例10 福岡地区 2023年4月14日～2023年12月27日

ハートフルACE→ハートフルたいよう 通所

年代・性別・区分	10代 男性 その他の困難要因
紹介機関	高校教諭
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の頃から不登校気味</li> <li>・高校卒業後、専門学校へ進学するも数カ月で中退</li> <li>・高校教諭がハートフルと繋がりがあり、数回体験を行い事業利用</li> <li>・知能テストを受けたところIQが「特に低い一境界域」であることが分かる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接がうまくいかない</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・コミュニケーションが苦手</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人マナーの習得</li> <li>・生活リズムを整え体力を作る</li> <li>・挨拶運動・個別面談・面接練習</li> <li>・エクセル学習</li> <li>・無理をしないように適宜、自身の思いを確認</li> </ul>
効果	<p>【福祉サービス利用準備ため12月27日終了】（軽度知的障がい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療との繋がりができた（通院、服薬を開始）</li> <li>・母親の障がい受容が進んだ</li> <li>・就労支援B型の支援を受ける方向で調整中</li> </ul>

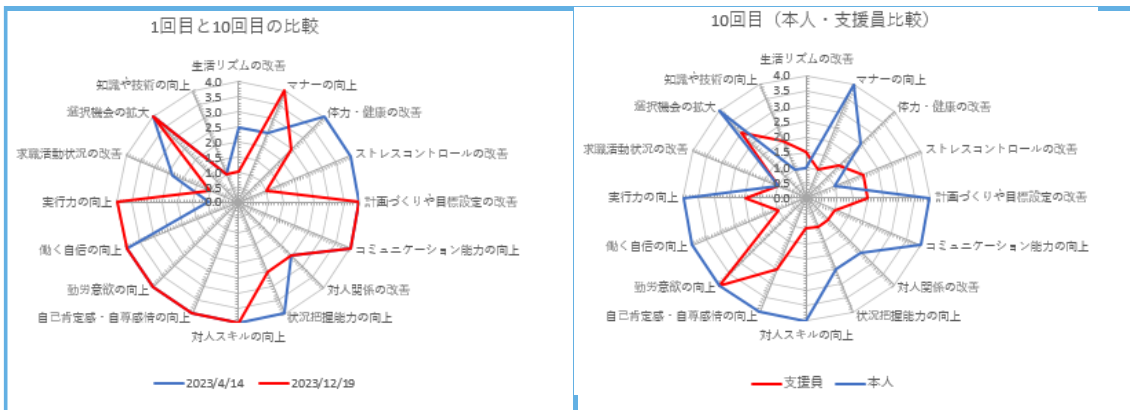
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

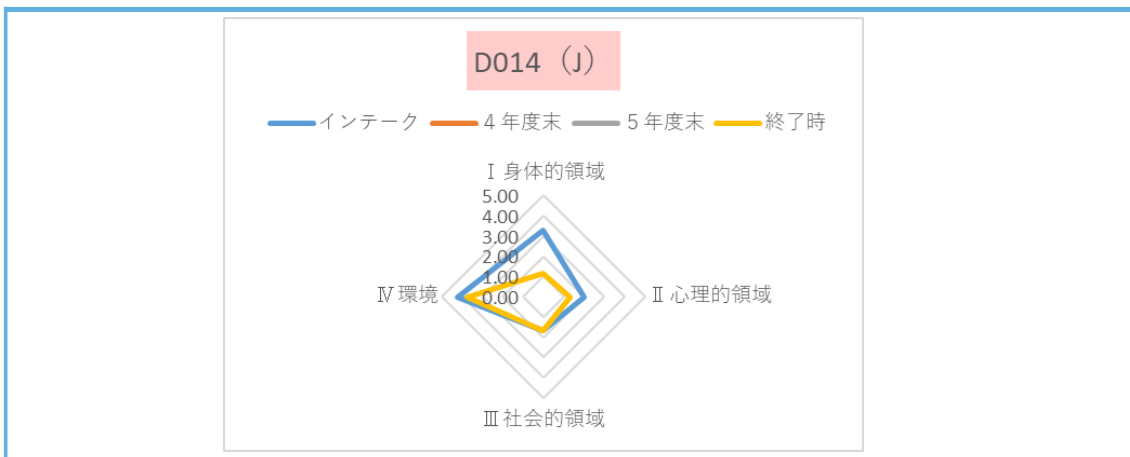


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

WD事業を入り口として、その後に適切な福祉サービスにつながった事例だと思われる。WD事業のマネジメントセンターの役割として、どこまで専門的な助言を行うのかについては、事業全体の課題であると考えている。



事例11 北九州地区 2023年4月21日～2023年5月31日  
 インクル春ヶ丘 通所

年代・性別・区分	20代 男性 難病その他の病気、障がい者（障がい福祉サービス受給者証を持たない者）
紹介機関	北九州障害者しごとサポートセンター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷会社で半年の職歴あり</li> <li>・業務量過多でミスが多く、気分の落ち込み、意欲低下、不眠が出現し休職</li> <li>・印刷会社の産業医の勧めで北九州障害者しごとサポートセンターへつながる</li> <li>・ADHD診断歴あり</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うっかりミスが多い（ADHD診断あり）</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・焦らずに落ち着いて作業に取り組む</li> <li>・継続して訓練に通う</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な訓練を提供し自分の得意・不得意を整理</li> <li>・困った時の対処方法を考える</li> <li>・自分にあった働き方、対人スキルの習得</li> </ul>
効果	<p>【2023年6月1日より福祉サービスに移行】（ADHDの診断）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間管理や金銭管理に乱れがあったため、障がい福祉サービス受給者証を取得して宿泊型自立訓練へ移行した</li> </ul>

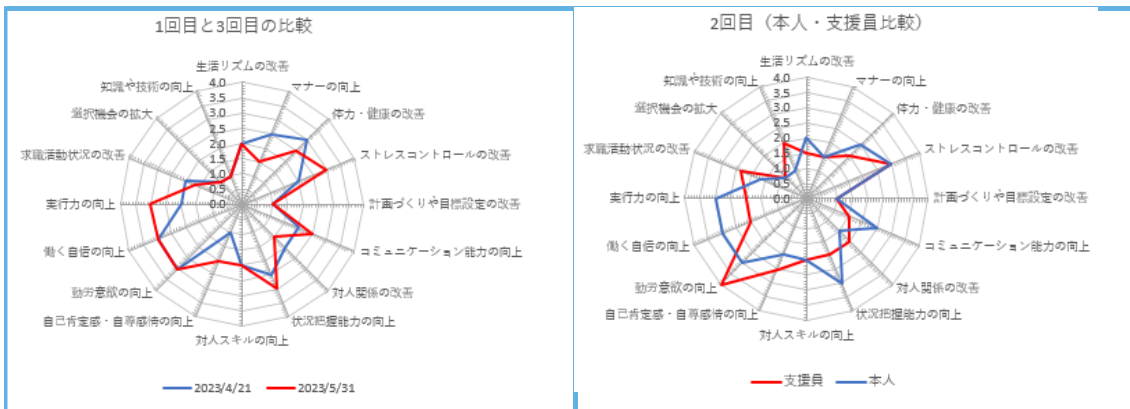
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

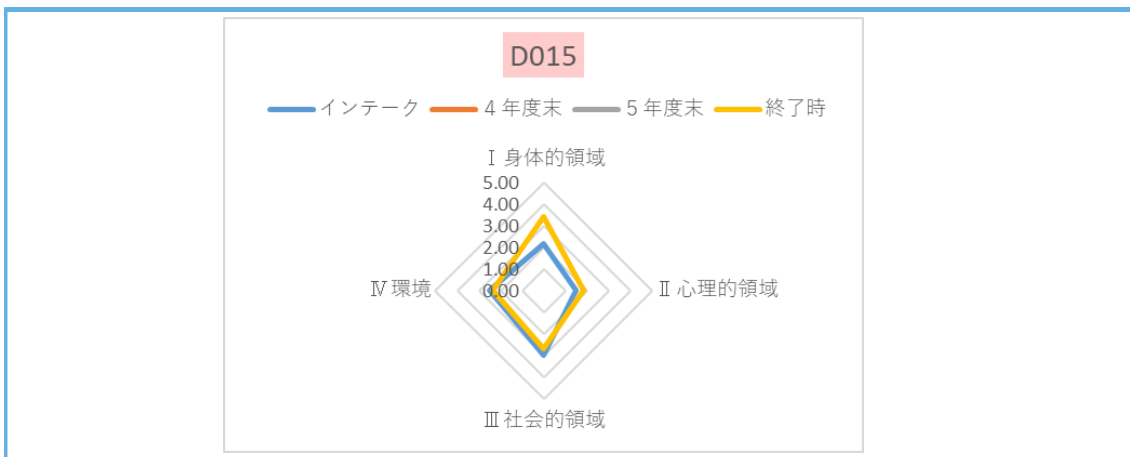


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉 支援開始後、早期に福祉サービスにつながった事例である。支援期間が限られているため、変化への言及は困難だが、適切な支援に早期につながることができた点が評価できる。

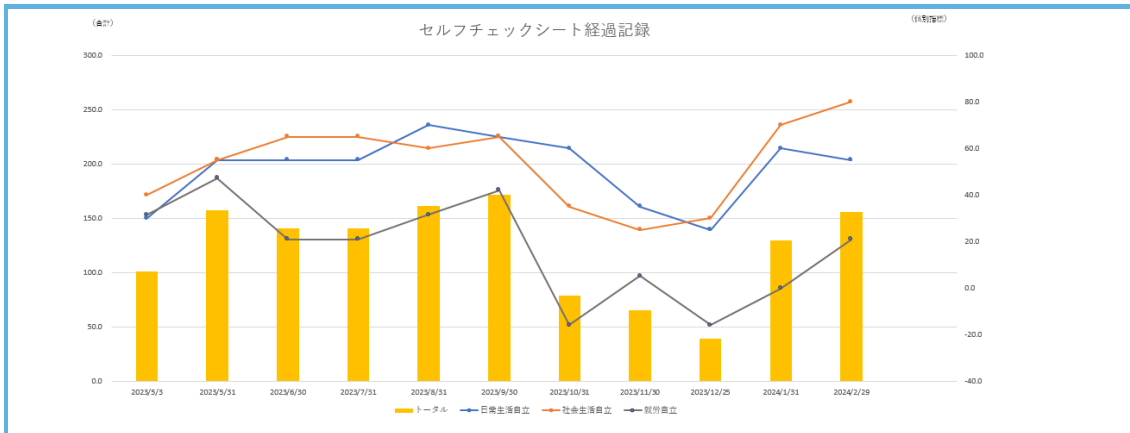
事例12 筑豊地区 2023年5月1日～2024年2月16日

ウィング直方 通所

年代・性別・区分	40代 女性 その他の困難要因
紹介機関	障がい者施設（相談支援）
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業大学校を卒業後、10年家族の介護をしたのち、いちご農園（週2～3日）6年勤務、経営不振により退職</li> <li>・就職活動やアルバイト等を行うが上手くいかない</li> <li>・20代から心療内科に通院してるが、診断名が告げられず、障がい福祉サービス利用のための意見書の発行を依頼するができなかった</li> <li>・福岡県子育て女性就職支援センターへ相談</li> <li>・相談支援事業所を通して事業利用</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と一緒に作業をすると緊張して、ミスが多くなる</li> <li>・2つ以上の工程や曖昧な指示に困惑する</li> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・自信がなく、不安感が強い</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安軽減のための行動の振り返り、面談</li> <li>・グループ実習への参加</li> <li>・企業見学、企業実習</li> </ul>
効果	<p>【2024年2月19日より福祉サービスへ移行】（軽度知的障がい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日休むことなく通所</li> <li>・緊張が和らぎ、職員、利用者とのコミュニケーションがとれるようになった</li> <li>・家族との関係がよくなった</li> <li>・本人の意思により病院を転院後に診断名が出る</li> <li>・手帳を取得して就労を目指す</li> </ul>

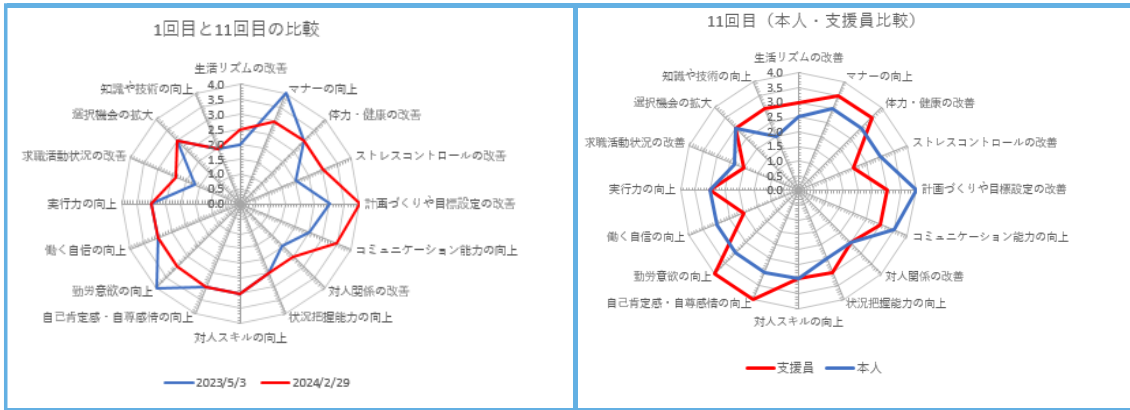
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

身体領域や環境領域におけるQOLは低下しているものの、社会的領域や心理的領域は上昇している。支援者の関わりが本人を支えていることが窺える。

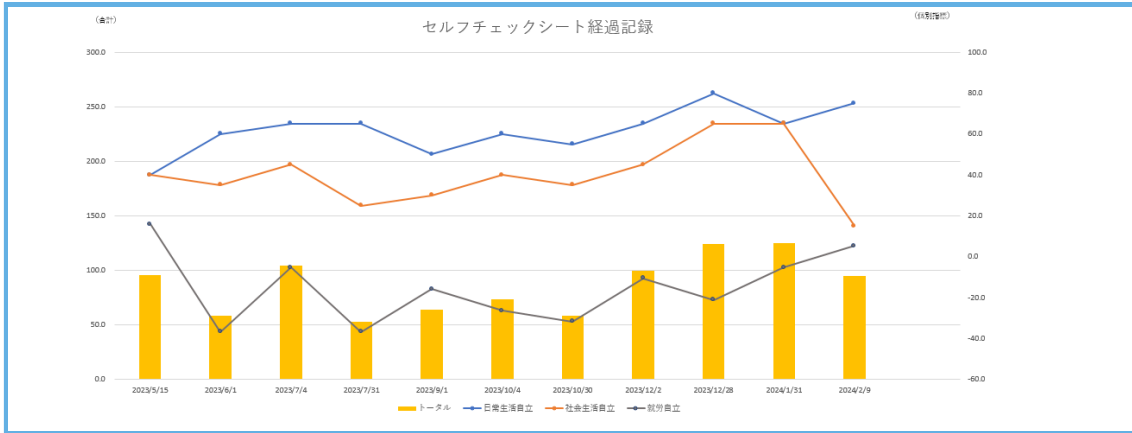
事例13 北九州地区 2023年5月15日～2024年2月9日

ファインズチャレンジド 通所

年代・性別・区分	20代 男性 難病その他の病気、障がい者（障がい福祉サービス受給者証を持たない者）
紹介機関	大学
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年3月に大学からファインズチャレンジド（訓練実施事業所）へ相談があり、面談</li> <li>・4月にメンタルクリニックを受診し、軽度知的障がいの診断</li> <li>・障がい受容に至らず、大学卒業後は就職を希望し、WD事業利用</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・バイトの面接に落ちるが、理由が分からない</li> <li>・自分に合う仕事が見つからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習、履歴書作成</li> <li>・コミュニケーション能力の強化</li> <li>・就職活動の相談、助言</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<p>【2024年2月13日より福祉サービス移行】（軽度知的障がい）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション練習により対話ができはじめた</li> <li>・ご本人、ご家族の理解を得て、手帳を取得し、福祉サービスへ移行</li> </ul>

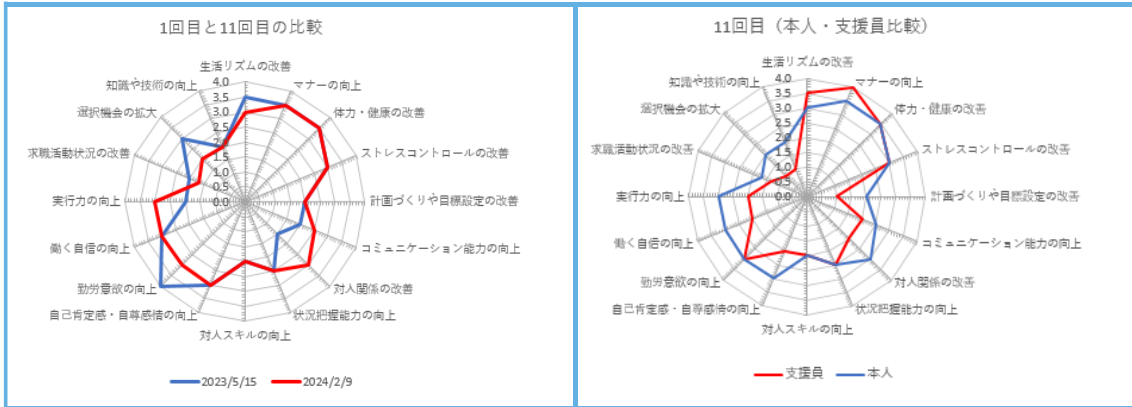
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

就労系障害福祉サービスへと移行した事例である。身体領域と環境領域のQOLが向上している。支援を利用することで就労準備性が高まっていることが窺える。

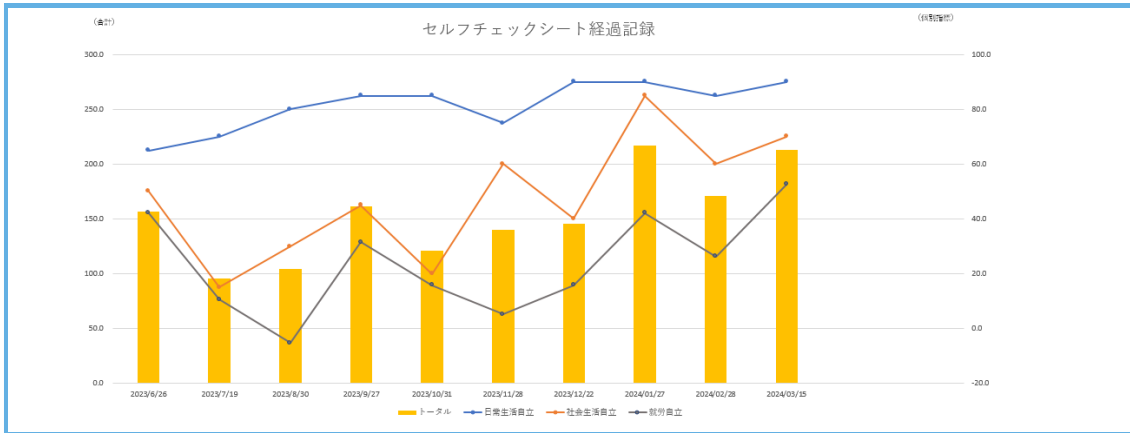
事例14 福岡地区 2023年6月19日～通所中

てとて 通所

年代・性別・区分	30代 男性 その他の困難要因〈不眠症〉
紹介機関	ハローワーク設置チラシ
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業職で13年の職歴あり</li> <li>・転職先で営業以外の業務を求められ、上司から叱責され続け、不眠となり退職</li> <li>・不眠症で心療内科に受診</li> <li>・ハローワークに置いてあったWD事業のチラシを見て応募</li> <li>・相談受付時、筑後地区にPC学習型の就労移行支援所に空きがなかったため、福岡地区のてとてを選択</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の乱れ（不眠）</li> <li>・自信がない（対人（上司などへの恐怖感）・業務スキル）</li> <li>・就職や将来の事を考えると気分が落ち込む</li> <li>・対人スキルを身につけたい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1日の通所と4日のテレワークによる対応</li> <li>・パソコンスキルの獲得（Excel、Word、FP、TOEIC、動画編集の学習）</li> <li>・企業見学</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠がとれるようになり、生活リズムが安定した</li> <li>・意欲的に学習に取り組み、複数の資格を短期間で取得</li> <li>・企業見学に参加し、積極的に質問を行うなど、業務内容をはじめ、就労環境や雰囲気の良い積極的な把握を実施</li> <li>・若者サポートステーションに登録し、セミナー、説明会に参加</li> </ul>

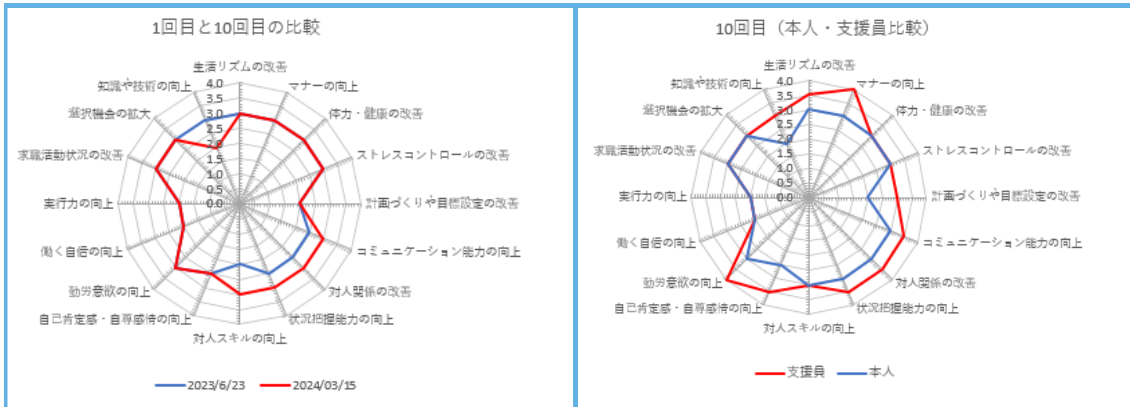
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

身体的領域のQOLが同年代と比べて低いが、すでに医療機関を受診しており治療の経過をフォローしていくことになると考える。KPS等他の指標からも徐々に就労準備性が高まりつつあるが、就労継続が困難な要因の同定が今後必要になると思われる。職場体験を利用する方向で良いと考える。



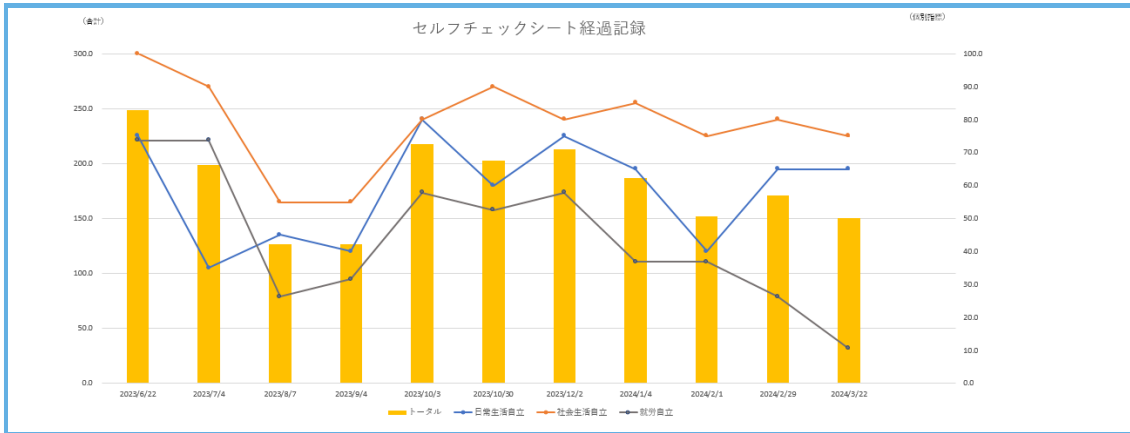
事例15 北九州地区 2023年6月22日～2024年3月15日

ファインズチャレンジド通所

年代・性別・区分	40代 女性 その他の困難要因
紹介機関	訓練等実施機関
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職として主に訪問介護の登録ヘルパーで20年の職歴あり</li> <li>・人手不足により連日連夜働き、精神的に疲れて辞めるというパターンを繰り返す（頼まれると断れない）</li> <li>・2023年3月に腱鞘炎、10年前に骨折した腕の不調により退職し、求職活動</li> <li>・生活苦で不安が強く、6月初旬に医療機関を勧められ受診、抗うつ薬が処方された</li> <li>・娘さんがファインズチャレンジドを利用しており、WD利用に繋がる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信がない</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・頼まれると断れない</li> <li>・自分ができる仕事、やりたいことがわからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の強化</li> <li>・自分にあった働き方、得意・不得意を整理</li> <li>・企業実習</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<p>【2024年3月18日より福祉サービス移行により終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の時間が自分のリラックスできる時間になった</li> <li>・実習により自分に合う仕事が見つかった</li> <li>・作業ができることが嬉しい</li> <li>・作業能力があり、一人でやる仕事は問題なく出来る</li> <li>・人との関わりに不安があるため、自ら障がい者雇用枠での就職、障がい者手帳の取得を検討</li> </ul>

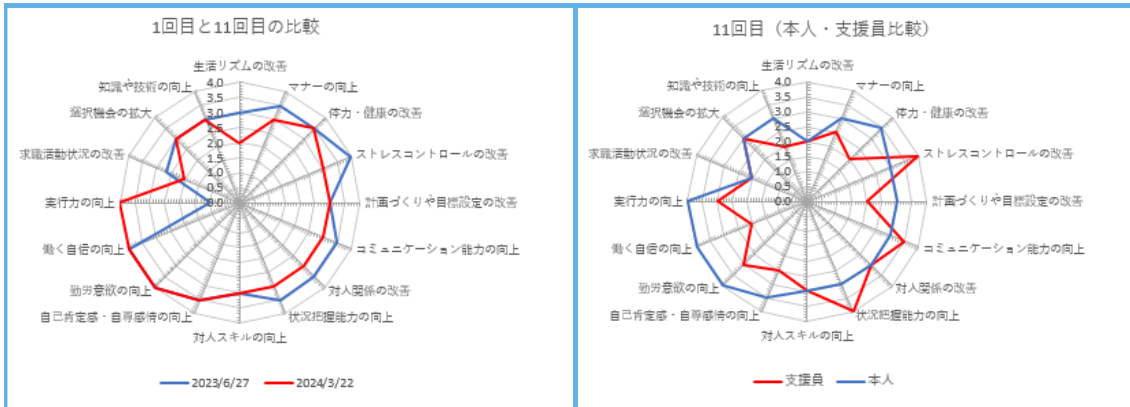
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

支援状況報告より、支援者の丁寧な関わりが、本人の障害受容を支えたことが窺える。QOL評価より、今後も心理領域の支援が必要であると言える。なお、近いうちに福祉サービスへの移行が想定される事例だと思われる。

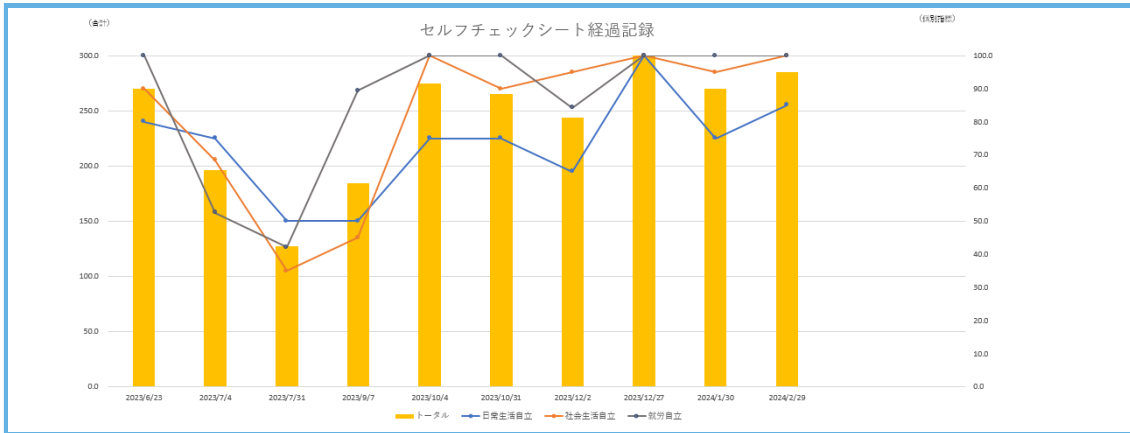
事例16 北九州地区 2023年6月23日～2024年2月29日

ファインズチャレンジド通所

年代・性別・区分	20代 男性 その他の困難要因
紹介機関	大学
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吃音が強く、面接でうまくいかなかった</li> <li>・通院歴は無し</li> <li>・飲食業（裏方）のバイト歴3年あり</li> <li>・大学の相談支援を受けて、訓練実施事業所を通してWD事業につながった</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・緊張</li> <li>・吃音</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習、履歴書作成</li> <li>・コミュニケーション能力の強化</li> <li>・就職活動の相談、助言</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<p>【2023年9月13日就職内定 入社に向けて通所継続し、2024年2月29日終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習により、吃音が少なくなった</li> <li>・9月に内定通知を受け、自信がついた</li> </ul>

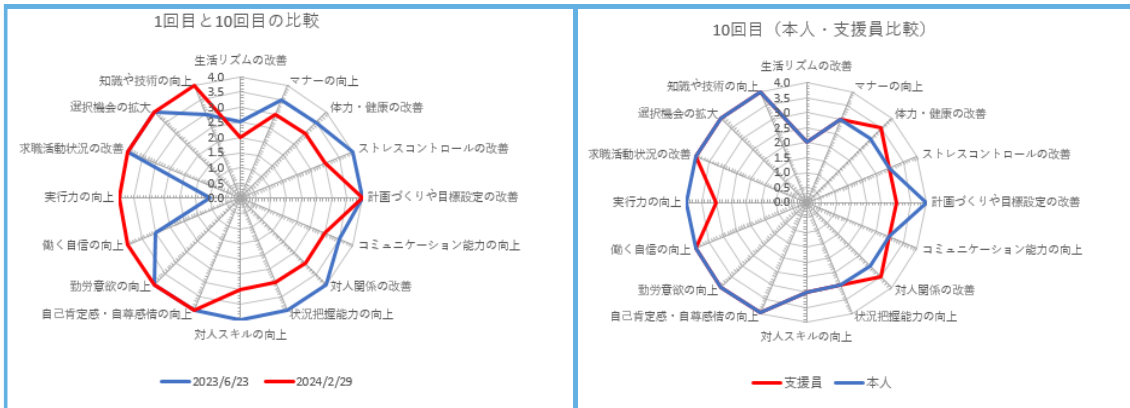
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

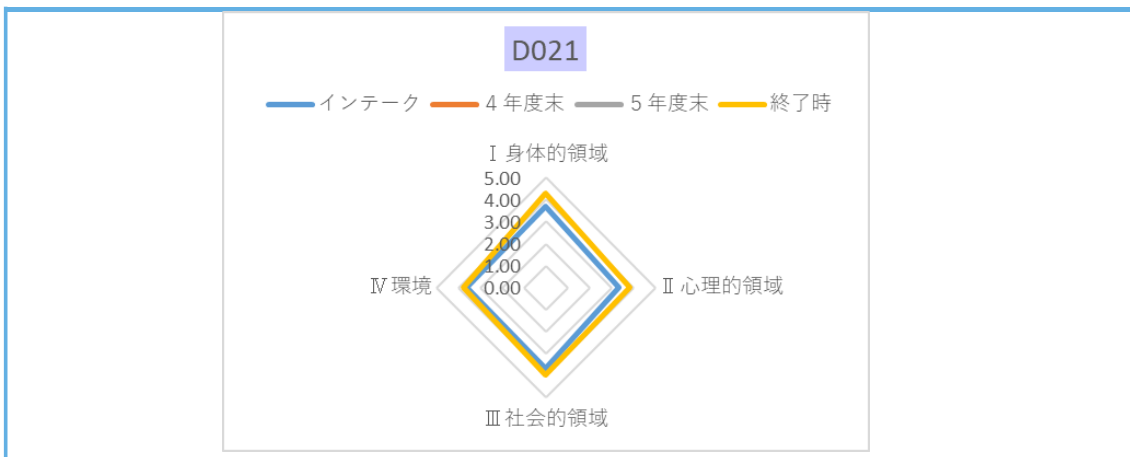


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

利用開始時より、全体としてQOLは高い水準にあったが、短期間の利用後にも維持されている。大学生であることから、学内のキャリア支援部署やハローワーク等の利用ではなく、WD事業の利用が妥当であると判断した理由を整理する必要がある。

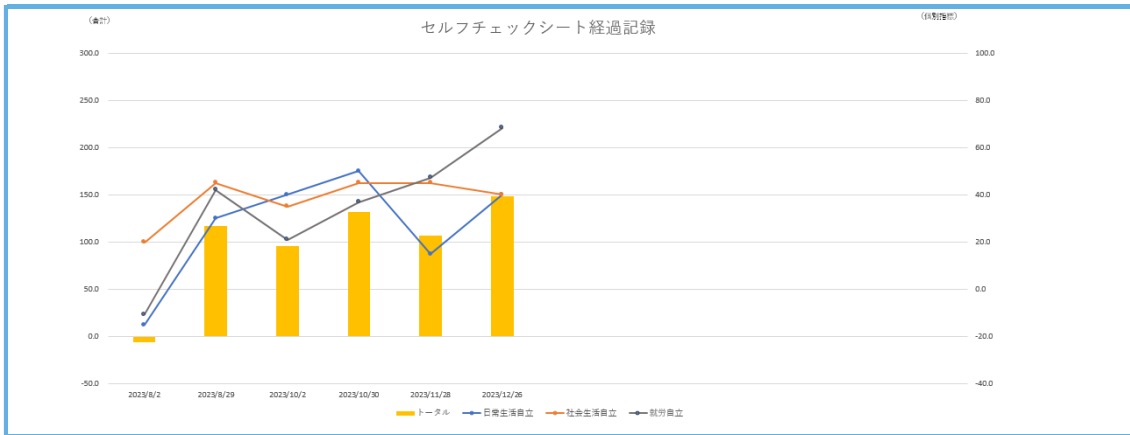
事例17 筑後地区 2023年7月10日～2023年12月29日

たんぼぼ 通所

年代・性別・区分	30代 男性 その他の困難要因
紹介機関	大牟田市役所福祉課
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞配達（朝夕）のアルバイト歴15年</li> <li>・幼少期からコミュニケーションが苦手</li> <li>・心療内科に3か月に1回受診。診断名はついていないが、発達障がいの特性があり</li> <li>・将来を思い、叔母が市役所福祉課に相談し、WD事業の紹介を受ける</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・自信がない</li> <li>・自分にあった仕事分からない</li> <li>・自己決定が苦手</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業中の報連相を通してコミュニケーションを練習</li> <li>・相談しやすい環境作り</li> <li>・相手に伝わりやすい言葉の選び方などを提示</li> </ul>
効果	<p>【2024年1月4日から医薬品卸売事業の企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所し、生活リズムが整ってきた</li> <li>・作業能力が高いことを確認できた</li> <li>・3ヶ月目で企業実習に行き、良い評価を受けた</li> <li>・就労への意欲、自信がついた</li> <li>・自分の思いを伝えることができるようになった</li> </ul>

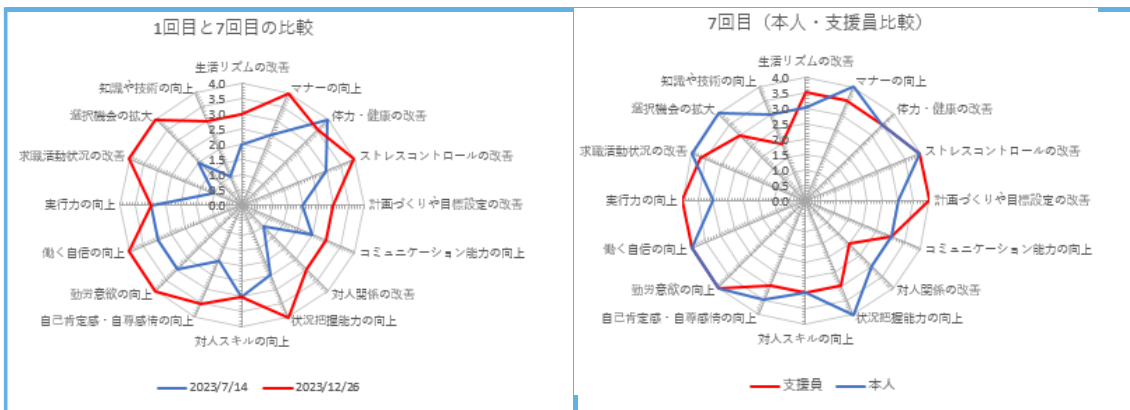
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価より、身体的領域の上昇が認められる。支援状況と合わせて考察すると、定期的な通所及び活動の場所ができたことが一因であると考えられる。

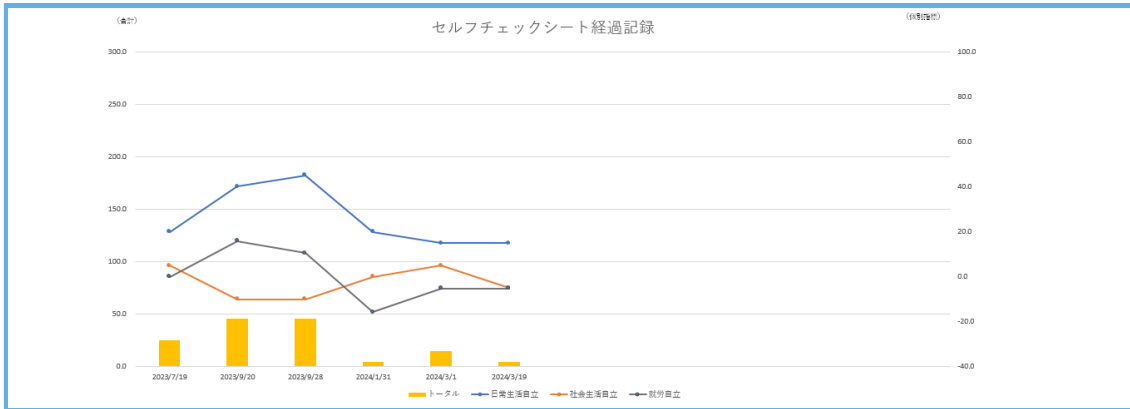
事例18 筑豊地区 2023年7月19日～通所中

たいよう 通所

年代・性別・区分	50代 女性 生活困窮、病気
紹介機関	田川保健福祉事務所
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年の職歴があるも、職を転々としており長く続かない</li> <li>・生活保護を受給しており、保健福祉事務所、困りごと相談室の面談、支援を受けWD事業につながった</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良（糖尿病・高血圧・膝痛）</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・自己肯定感が低い</li> <li>・対人関係が苦手（分からないことがあっても聞けない）</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所により規則正しい生活を身に着け体力をつける</li> <li>・相談、質問しやすい環境作り</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所により、外出する機会が増え気分転換になっている</li> <li>・作業能力はあることがわかった</li> </ul>

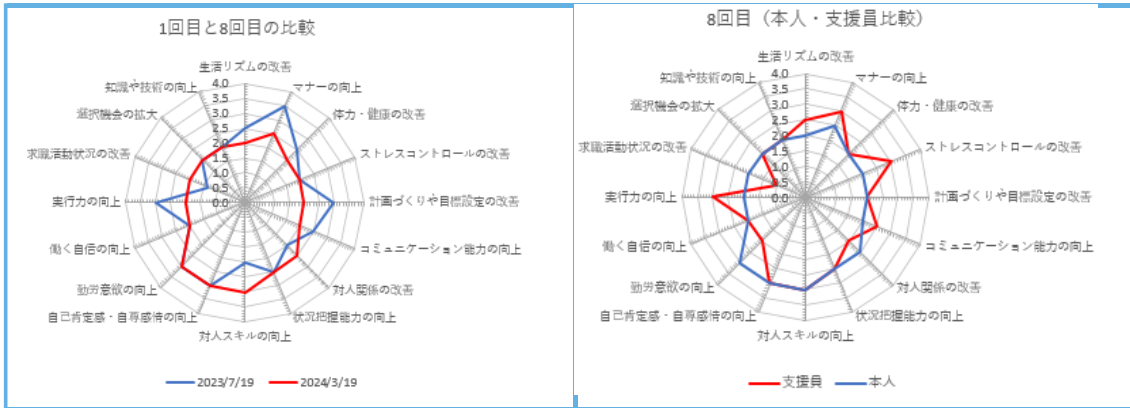
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

短期間の利用であり、WD事業の効果については判断が難しい。

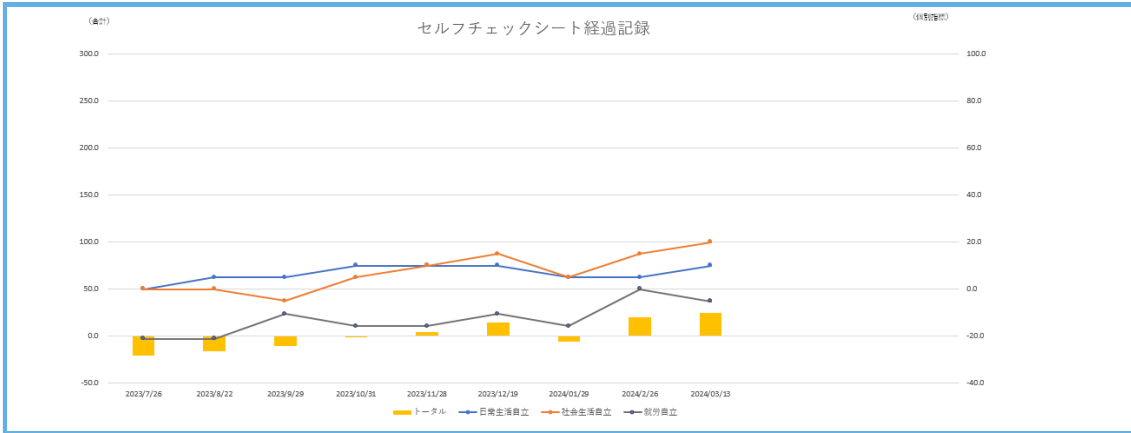


事例19 福岡地区 2023年7月26日～通所中  
てとて 通所

年代・性別・区分	30代 男性 ひきこもり
紹介機関	春日市社会福祉協議会 事業福祉課
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学、大学院卒業時就職が決まらず、ひきこもり状態になる（就労経験なし無業期間9年）</li> <li>・2022年に生活困窮者自立支援制度の就労準備支援を1年受けるが、就職までに至らず</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信がない</li> <li>・社会との接点がない</li> <li>・コミュニケーションが苦手</li> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・就労意欲をつける</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートを取り入れ、無理なく利用できるように支援</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション練習</li> <li>・パソコンスキルの習得</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話が増え、目が合うようになった</li> <li>・イラストレータ等PC操作スキルの習得が早く、高度なオリジナル作品を作成している</li> <li>・笑顔が増え、グループ活動にも参加</li> </ul>

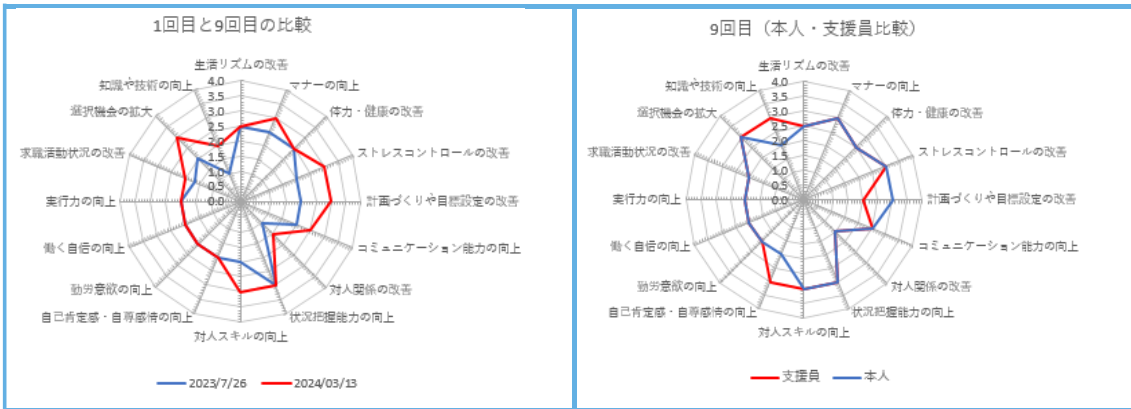
### KPSツールを活用した評価結果

#### 【T S 5 9による自己評価の推移】



#### 【G N 2 5による自己評価の推移】

#### 【G N 2 5による本人・支援員評価の比較】



#### 【Q O Lによる自己評価の推移】



#### 事業アドバイザーのコメント

##### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

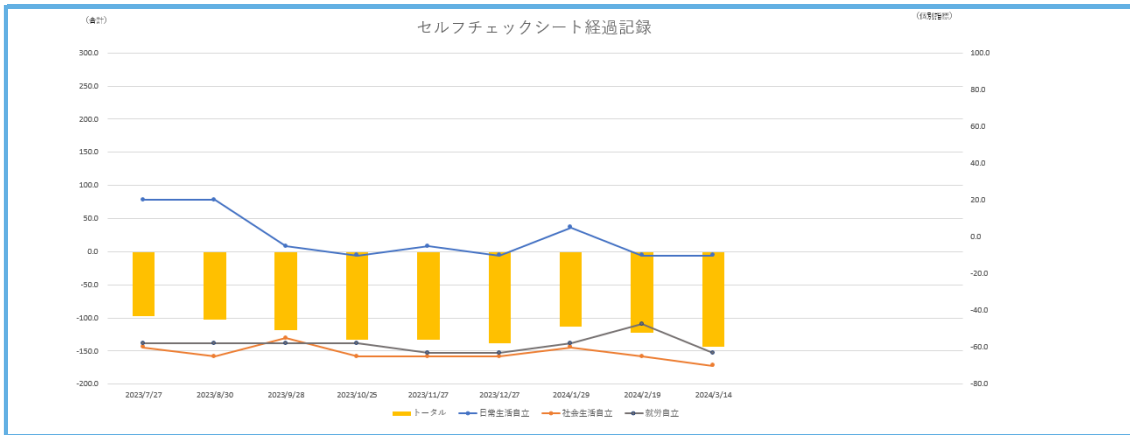
K P S及びQ O Lともに利用開始時と比べ、徐々に高まってきていることが窺える。支援状況報告にもあるように、具体的な目標の設定を進めていくことが課題である。

事例20 福岡地区 2023年7月27日～通所中  
 キャリアサポート福岡 通所

年代・性別・区分	10代 男性 ニート
紹介機関	ハローワーク福岡中央 福岡市若者総合相談センター ユースサポートhub
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後就職できず、本人がハローワーク福岡西に相談</li> <li>・ハローワークの障がい者雇用相談員より月2回面談を受ける</li> <li>・WD事業の訓練実施事業所を2ヵ所見学しWD事業利用につながった</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面緘黙</li> <li>・極度の緊張で動けなくなる</li> <li>・対人関係が苦手</li> <li>・就職をする自信がない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション練習</li> <li>・報連相、振り返りを行い、できていることを確認</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所を継続</li> <li>・筆談等により意思表示ができるようになった</li> <li>・横や後ろからの声掛けについては問題なく対応できることが分かった</li> <li>・作業内容についての理解が早いことが分かった</li> <li>・家族の協力が得られるようになった</li> <li>・医療機関に繋がり、緊張の症状が改善傾向にある</li> </ul>

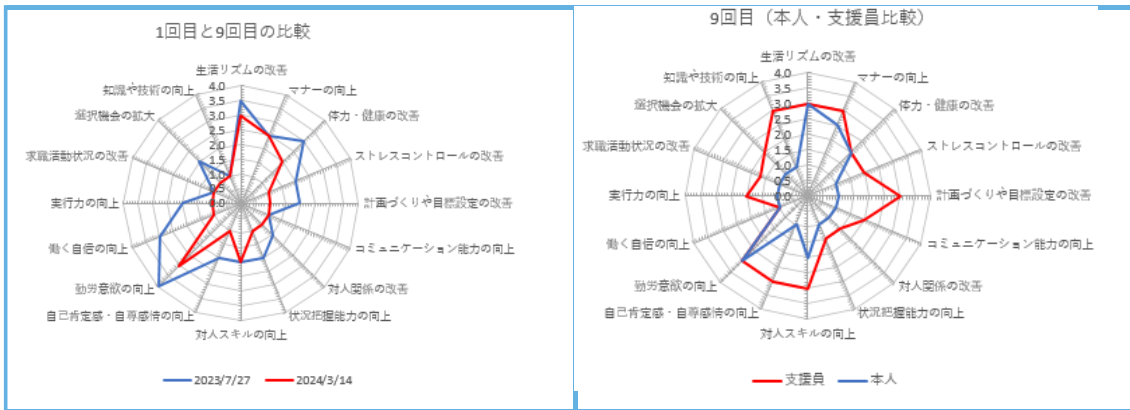
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

支援機関の利用が社会的領域のQOL向上に寄与していると思われる。ただし、WD事業ではなく福祉サービスの利用が適切であるとも考えられるので、医療機関との連携が肝要である。

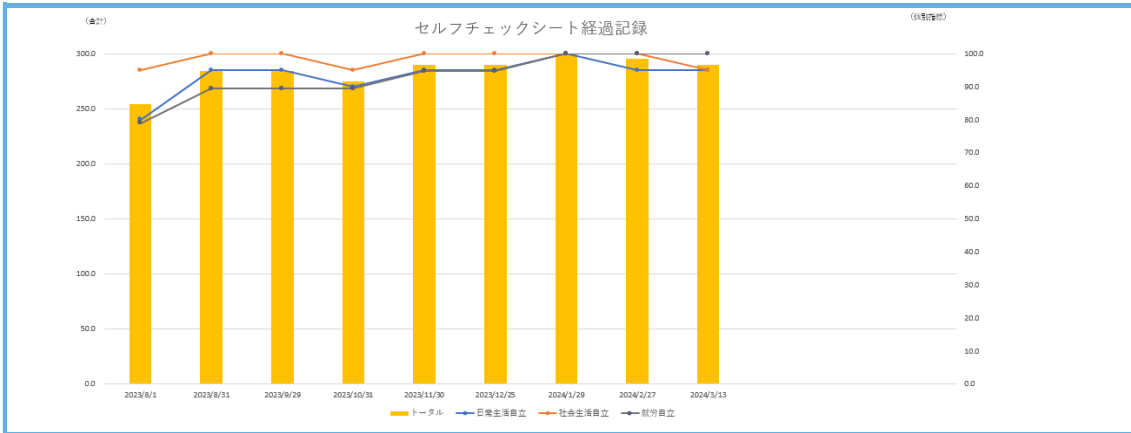
事例21 北九州地区 2023年8月1日～2024年3月27日

ウイング中間 通所

年代・性別・区分	30代 女性 その他の困難要因
紹介機関	福岡県自立相談支援事務所 (グリーンコープ水巻オフィス)
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職しても試用期間で契約を切られてしまうことが続いており、本人は働く意思があるにも関わらず、辞めさせられる理由がわからない様子</li> <li>・別件で家族が福岡県自立相談支援事務所に相談に行き、本人も支援を受けることになる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が続かない</li> <li>・何の仕事が合ってるのか、何をしたらいいのかわからず、自信がない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理、生活リズムを整える</li> <li>・報告、連絡、相談の練習</li> <li>・企業実習</li> <li>・面談によるストレス、不安解消</li> </ul>
効果	<p>【本人の意志により3月27日付けで終了】 ※個人で就職活動をしたいとの意向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業実習により自信がついた</li> <li>・職種へのこだわりがなくなり、色々な仕事にも目を向けていこうと思えるようになった</li> <li>・生活リズムが整い、両親との関係がよくなった</li> <li>・就職に向けて具体的に活動を開始</li> </ul>

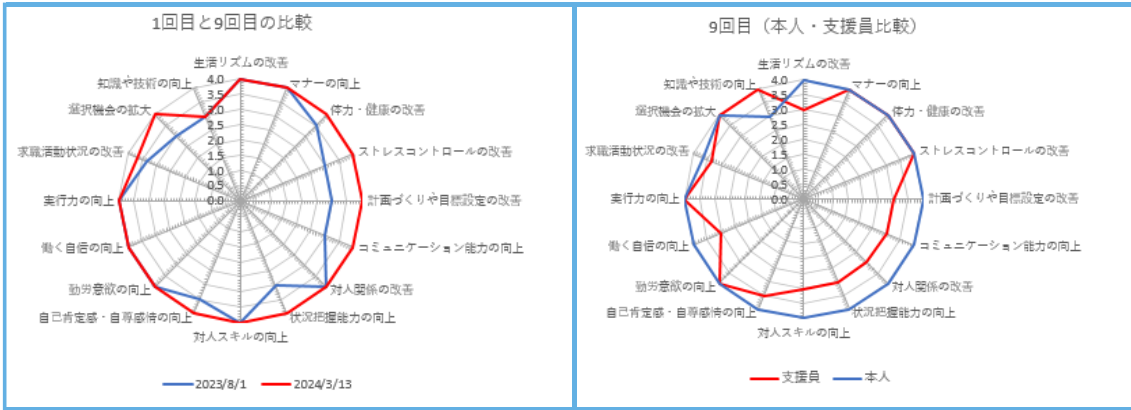
### KPSツールを活用した評価結果

#### 【TS59による自己評価の推移】



#### 【GN25による自己評価の推移】

#### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



#### 【QOLによる自己評価の推移】



#### 事業アドバイザーのコメント

##### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOLやKPSの自己評価は総じて高いが、不安感もあり、うまくいかないことがあると容易に崩れる可能性があると思われる。支援状況の報告より、支援員の提案する仕事と、本人の意向に隔たりがあるようである。これは大事な点で、今後本人の自己理解を深めるポイントであると考えている。

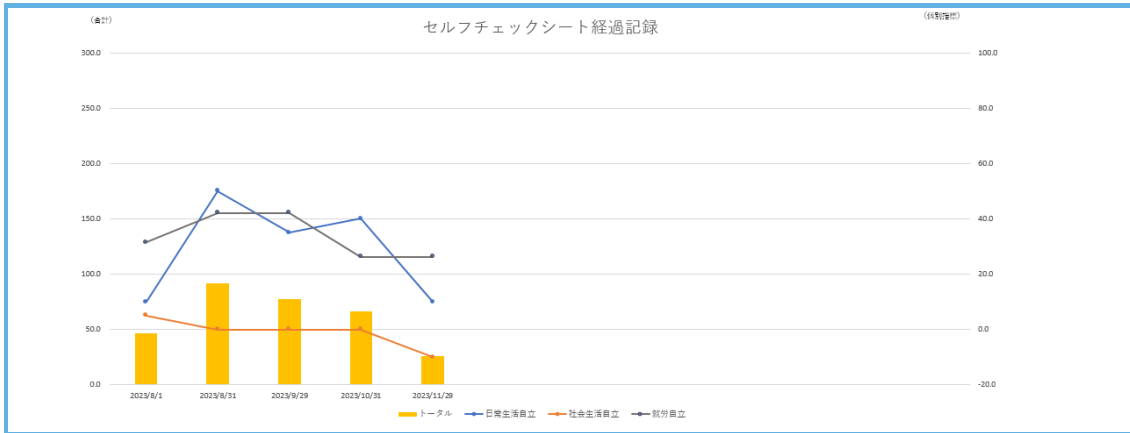
事例22 北九州地区 2023年8月1日～2023年11月30日

ウイング中間 通所

年代・性別・区分	20代 男性 生活困窮、ニート
紹介機関	宗像・遠賀保健福祉環境事務所
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後、就職するが糖尿病が悪化して1か月入院。行きづらくなり退職</li> <li>・バイト等で3年の職歴があるが、長続きしない</li> <li>・就労準備支援事業を受けたが、就職に結びつかなかった</li> <li>・生活保護を受給し、生活困窮者自立支援制度の就労準備支援を受けたが、就職に結びつかず</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の乱れ</li> <li>・持病（糖尿）の説明ができない</li> <li>・就職したいが、どうしていいかわからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理、生活リズムを整える</li> <li>・グループワークによるコミュニケーション練習</li> <li>・企業実習</li> <li>・面談</li> </ul>
効果	<p>【2023年12月1日から精密板金加工の企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行く場所ができ、生活リズムが整った</li> <li>・自然な会話ができるようになった</li> <li>・利用3か月で就職を見据えた企業実習に行けるようになった</li> <li>・自分にあった仕事があった</li> </ul>

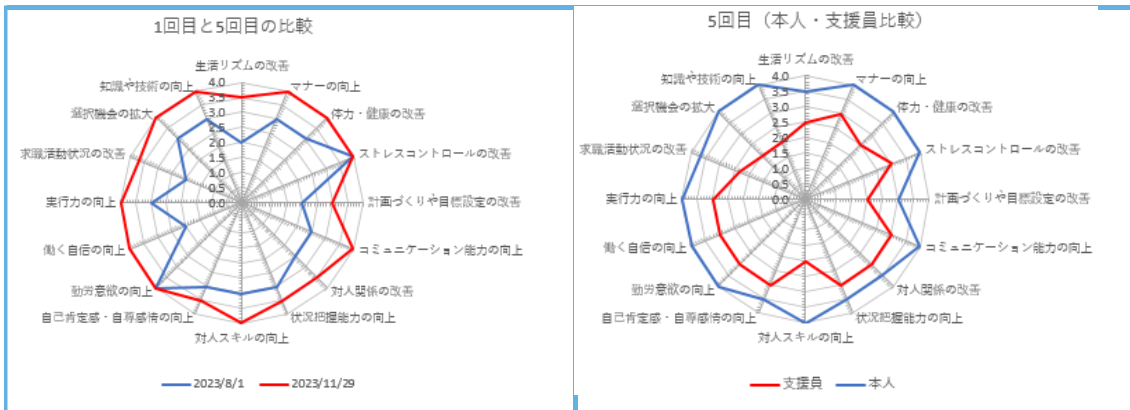
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

事業参加時と比べて、全体的にQOLの上昇が見られた。社会的領域の低さが懸念事項であり、本人の認識として社会的なつながりを維持することの苦手さがあることが推察される。福祉サービスを利用した継続した支援体制の構築が求められる。



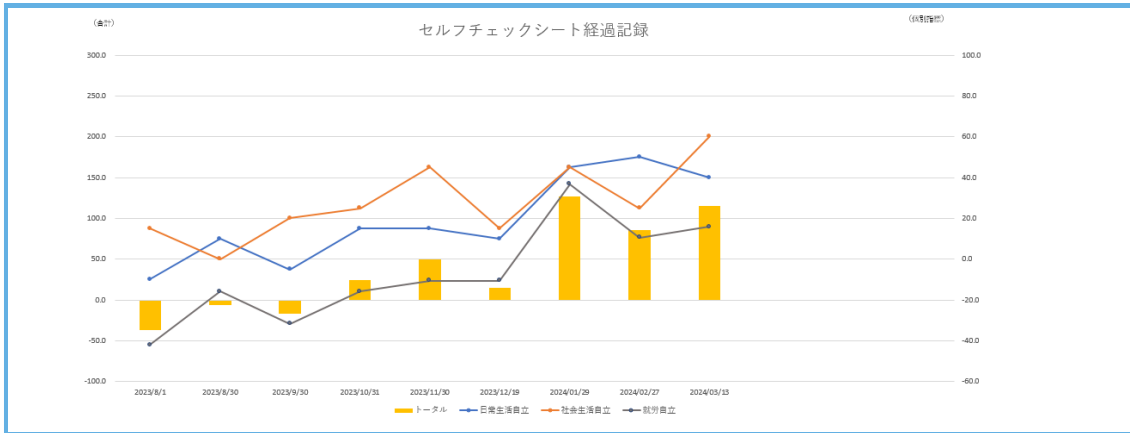
事例23 福岡地区 2023年8月1日～通所中

てとて 通所

年代・性別・区分	10代 男性 その他の困難要因
紹介機関	福岡市若者総合相談センター ユースサポート h u b
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校卒業後専門学校に通学するが半年未満で中退</li> <li>・中学ぐらいより話すのが苦手になり、高校・専門学校でも苦手だった</li> <li>・ユースサポート h u b にて面談をうける</li> <li>・清掃業のアルバイト2か月</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と話すのが苦手。特に自分の感想などあいまいなことに対する会話は苦手</li> <li>・決められた時間内で効率よくやることができない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション練習</li> <li>・パソコンスキルの習得</li> <li>・面談</li> <li>・会社見学</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションスキルは高く、本人の苦手意識を取り除く必要があると判明した</li> <li>・動画編集等PC操作スキルの習得が早く、高度なオリジナル作品を作成している</li> </ul>

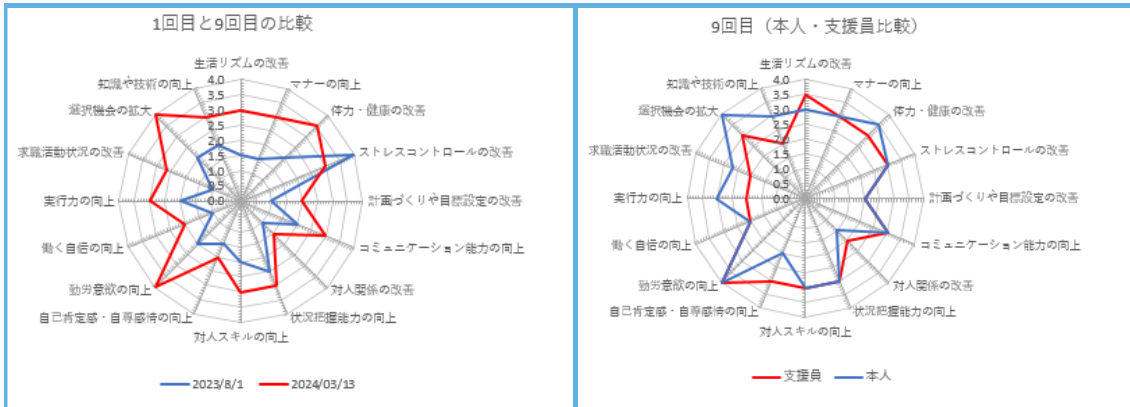
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

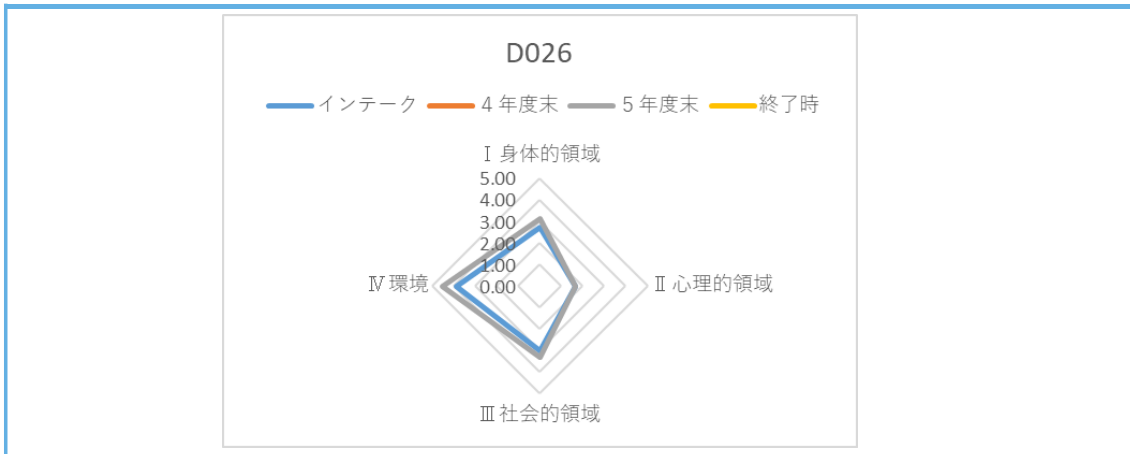


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価からも明らかなように、心理領域の支援が求められる。支援状況の報告より、IQに関する言及があり認知機能のアセスメントを行っていると推察される。本人の認知特性に応じた就職先選定の助言が肝要である。

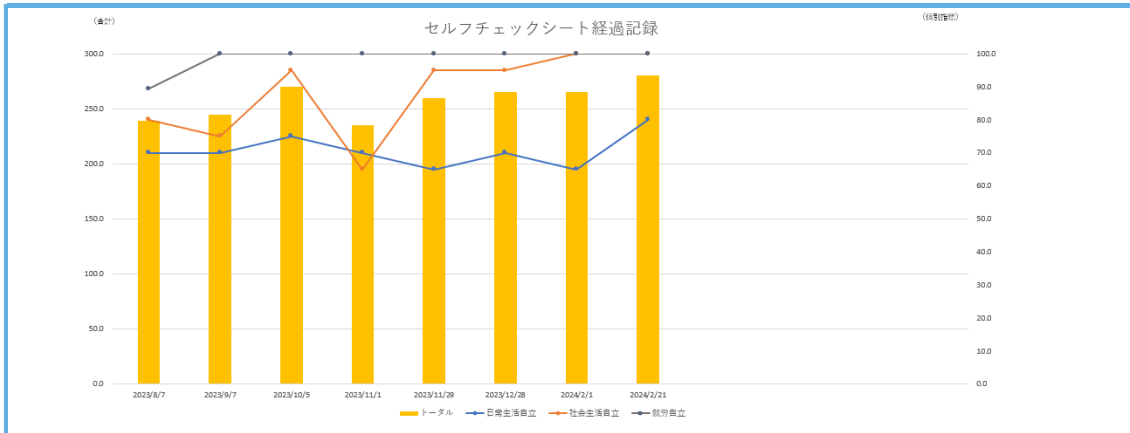
事例24 北九州地区 2023年8月7日～2024年2月29日

ファインズチャレンジド 通所

年代・性別・区分	20代 男性 その他の困難要因
紹介機関	大学
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年から中学校入学時期より吃音が気になるようになる</li> <li>・学生時代飲食店で2年間バイト経験があるが、接客対応が難しかった</li> <li>・大学の相談支援を受け、訓練実施事業所のファインズチャレンジドに相談がある</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人関係が苦手 (緊張が強くなると言葉が出ない、就職活動で面接試験が不安)</li> <li>・自信がない</li> <li>・吃音を緩和したい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接練習</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション練習</li> <li>・就職活動の相談、助言</li> </ul>
効果	<p>【11月28日就職内定、入社に向けて通所継続し、2024年2月29日終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション練習により能力向上</li> <li>・事業所経由で吃音治療の病院に繋がり受診。吃音に関する情報を得ることができた</li> </ul>

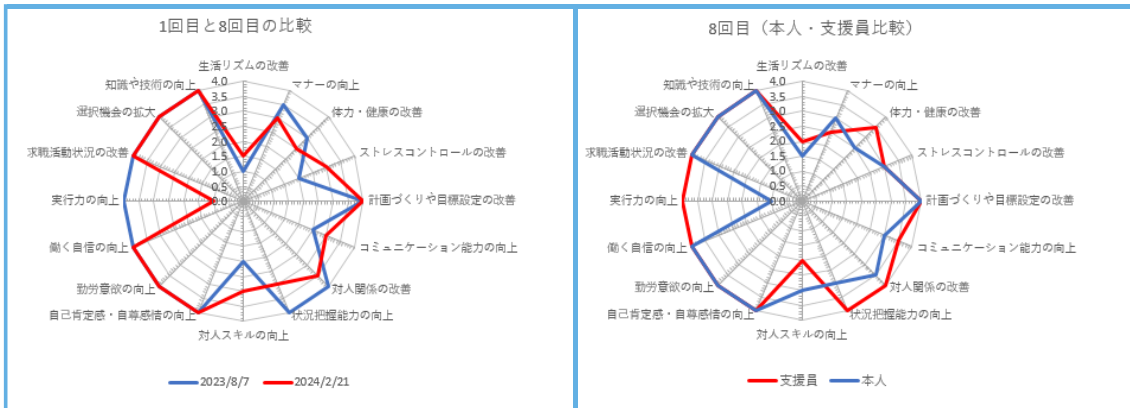
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

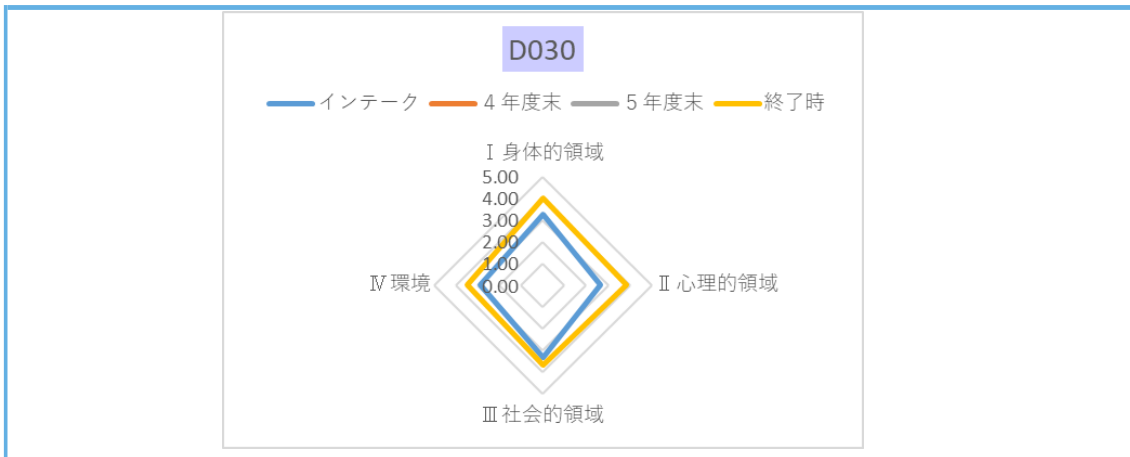


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

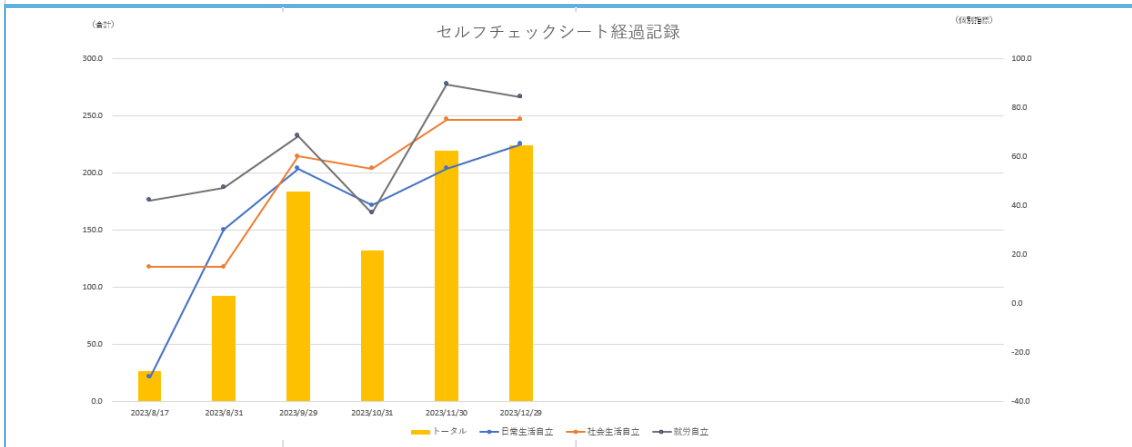
QOL評価について、事業参加時と比べて全体的に上昇した。特に心理的領域の上昇が顕著であり、支援機関での関わりが安心につながった推察される。

事例25 北九州地区 2023年8月17日～2023年12月20日  
 ウィング中間 通所

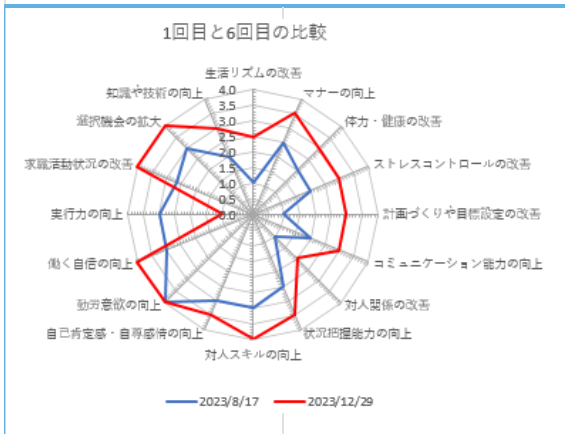
年代・性別・区分	20代 男性 ひきこもり
紹介機関	筑豊若者サポートステーション
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係がうまくいかず、中学卒業後からひきこもり（7年程度）</li> <li>・2022年にハローワークから筑豊若者サポートステーションに繋がる</li> <li>・若者サポートステーションで半年弱パソコン講座に参加</li> <li>・若者サポートステーション担当者がWD事業を紹介</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一歩踏み出したいが、どうしたらいいか分からない</li> <li>・生活習慣を整えたい</li> <li>・対人スキルを身につける</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の見直しを図る</li> <li>・会話しやすい環境を提供</li> <li>・得意なこと、苦手なことを把握し適性判断を行う</li> <li>・面談によるストレスの緩和</li> </ul>
効果	<p>【2023年12月21日から発電機・モーターの製造企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所し、生活リズムが整った</li> <li>・目を見て話ができるようになった</li> <li>・利用者の輪に抵抗なく入ることができている</li> <li>・人との関わりに自信がついてきた</li> </ul>

## K P S ツールを活用した評価結果

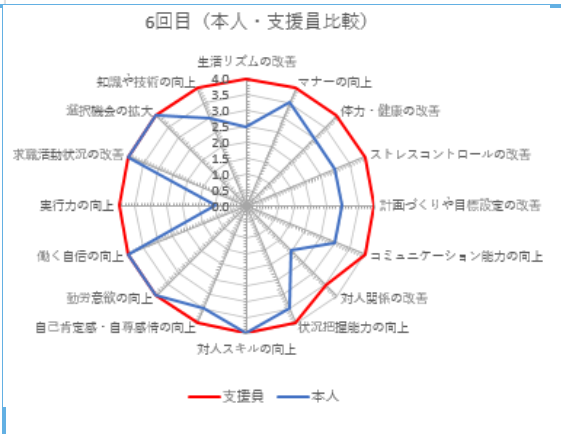
### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



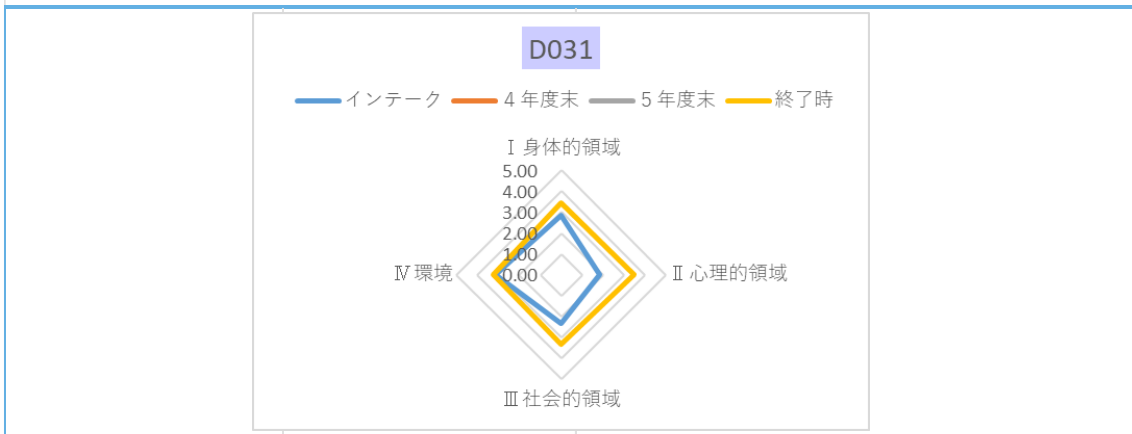
### 【GN 2 5 による自己評価の推移】



### 【GN 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

事業参加時と比べて、全体的にQ O Lの上昇が見られた。心理的領域と社会的領域の上昇が顕著であった。支援機関の関わりにより、自己評価が高まり、社会的な支えがあることを実感できるようになったと推察される。

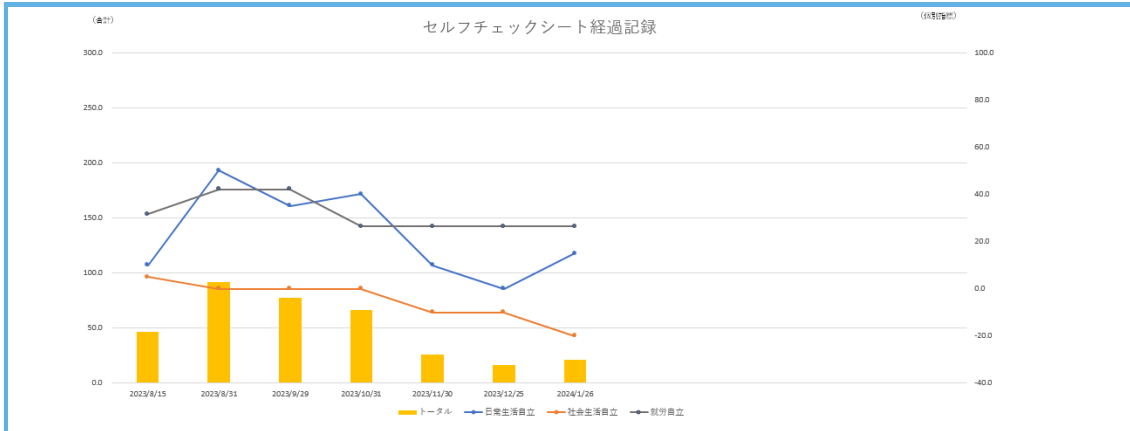
事例26 北九州地区 2023年8月15日～2024年1月5日

ウィング中間 通所

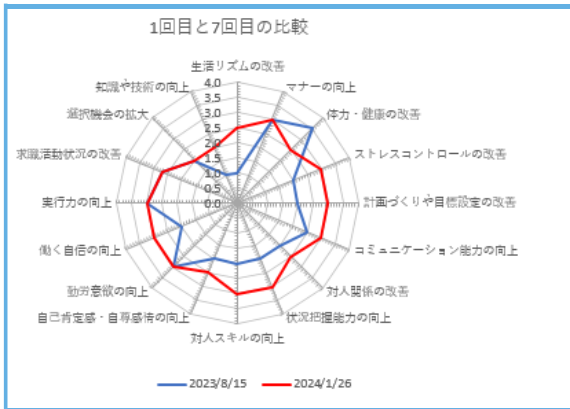
年代・性別・区分	50代 男性 生活困窮
紹介機関	宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店や総菜屋等のパートで10年の職歴あり</li> <li>・28歳からひきこもりに近い状態で、社会経験がない</li> <li>・2023年5月より生活保護受給</li> <li>・生活困窮者自立支援制度の就労準備支援を受けたが、就職に結びつかず</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力がなく、健康面、生活リズムが不安定</li> <li>・社会経験がなく、自分で何を探したらいいかわからない</li> <li>・目的を作り、居場所を見つける</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所により規則正しい生活を身に着ける</li> <li>・他者との関わりの中で適切な距離感を習得する</li> <li>・集団行動の中で、得意な事や体調の変化を把握</li> <li>・面談を行い不安や悩みを一人で抱えないようにする</li> </ul>
効果	<p>【2024年1月6日から病院給食の企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムが整ってきた</li> <li>・実習に行き、自分の癖やどこまで出来るかがわかった</li> <li>・精神的に楽になってきた</li> <li>・自分と違う考えを取り入れられるようになった</li> </ul>

## K P S ツールを活用した評価結果

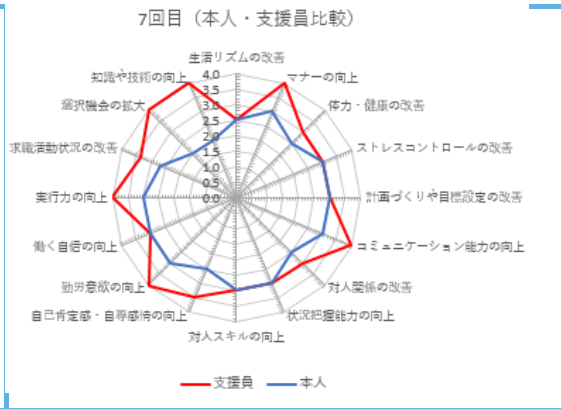
### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と概ね変わらないが、身体領域と環境領域での若干の低下が見られた。低下の要因について支援状況報告等を見ても明らかではない。



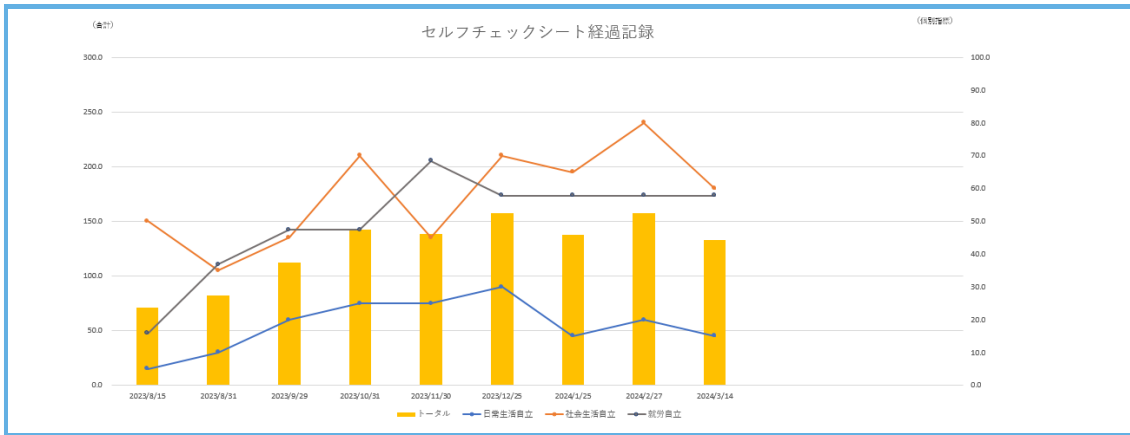
事例27 北九州地区 2023年8月15日～2024年3月27日

ウィング中間 通所

年代・性別・区分	20代 男性 ニート
紹介機関	福岡県自立相談支援事務所「困りごと相談室」
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学卒業後ひきこもり</li> <li>・ スーパーのレジ3年、工場1か月の職歴あり</li> <li>・ 人が触った物が触れない、体に触られるのが苦手等の症状があり、日常生活、仕事に支障がでる</li> <li>・ 祖母が困りごと相談室に相談に行く</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働きたいが、どうやって働いていいかわからない</li> <li>・ 他者との関わりが増えると緊張が強くなる</li> <li>・ 職種選別を通して自分にあった仕事を探したい</li> <li>・ 健康、体調の維持</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調の把握、健康維持のサポート</li> <li>・ 対人に慣れるよう、会話や交流を増やす機会を提供</li> <li>・ 実習を通して体力向上を図る</li> <li>・ 面談を通して環境変化によりストレスを緩和</li> </ul>
効果	<p>【2024年4月1日から総菜工場の企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体調の不安定さはあるもののアドバイスを受け入れながら、通所ができている</li> <li>・ いざという時に支援員から声をかけてもらい、気持ちが楽になった</li> </ul>

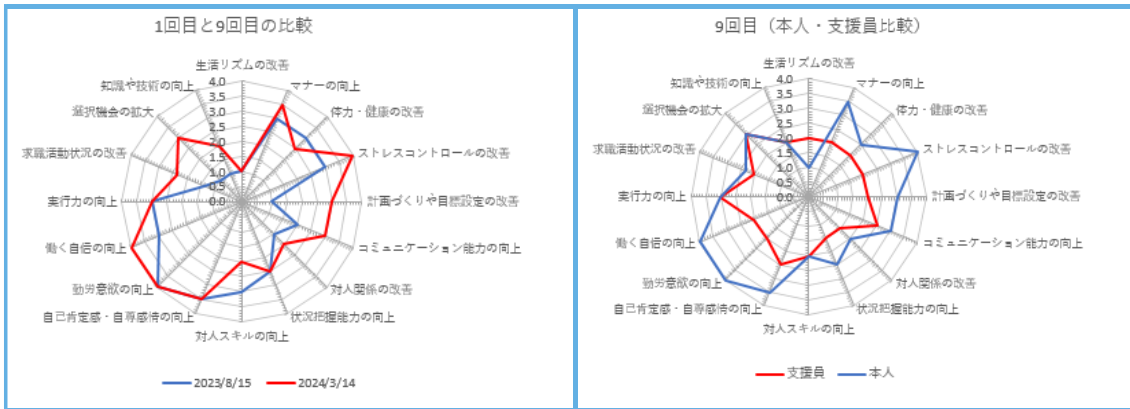
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、事業開始時とほぼ同じ水準で推移していた。症状のコントロールについて、医療機関との連携が必要であると思われる。

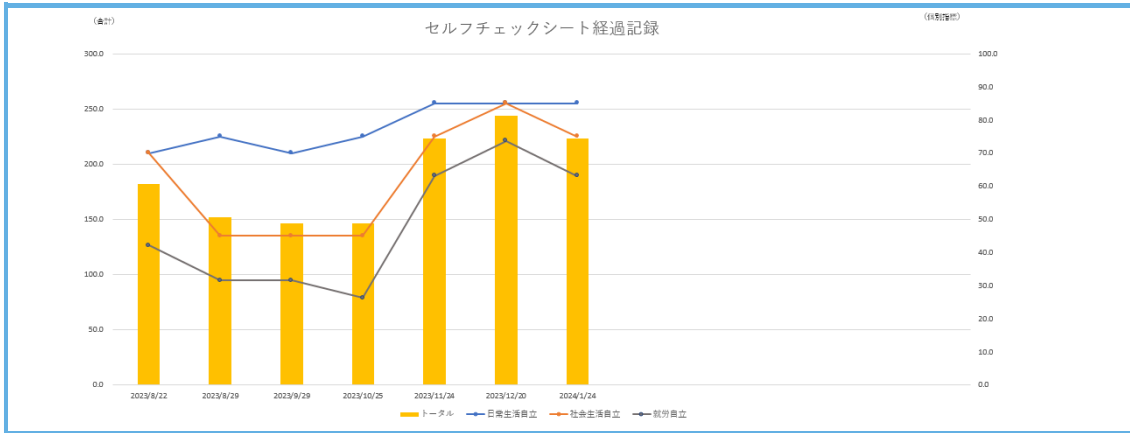
事例28 福岡地区 2023年8月22日～2024年1月10日

ハートフルACE 通所

年代・性別・区分	30代 女性 難病その他の病気、障がい者（線維筋痛症）
紹介機関	WD事業ホームページ
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年前に線維筋痛症の診断を受ける</li> <li>・介護職として15年の職歴あり。</li> <li>・痛みが強くなり、一時寝たきりの状態になるが、2年ほど前から徐々に症状が軽くなるも上半身の痛みは継続</li> <li>・症状が軽くなったことで、主治医からは難病指定の基準外で、障がい者手帳は持てないと言われる</li> <li>・3年前にハローワークの難病支援の相談窓口に行くが、難病ではないのでと断られる</li> <li>・2年前に福岡県子育て女性就職支援センターで紹介を受け介護パート職で働くが、痛みで休むことが増え退職</li> <li>・ネットで障害者以外の支援、手帳がなくても利用できるサービスを検索しWD事業に繋がる</li> </ul>
困りごと・課題	<p>診断名：線維筋痛症、自律神経失調症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線維筋痛症の痛みで、長時間労働ができない</li> <li>・痛みの辛さが判りづらく、理解してもらえない</li> <li>・痛みがあっても働ける仕事を見つけない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマナー、Excel講座受講、タイピング練習</li> <li>・医療機関と連携し、専門職員による健康管理</li> <li>・週1回の振り返り面談</li> </ul>
効果	<p>【2024年1月11日より福祉サービスに移行】（うつ病）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ病の診断で障害者手帳を取得</li> <li>・身体の痛みや不調を言える人ができた</li> <li>・相談する場所が増えてよかった</li> <li>・面接訓練で、自分の病気の伝え方を学べた</li> </ul>

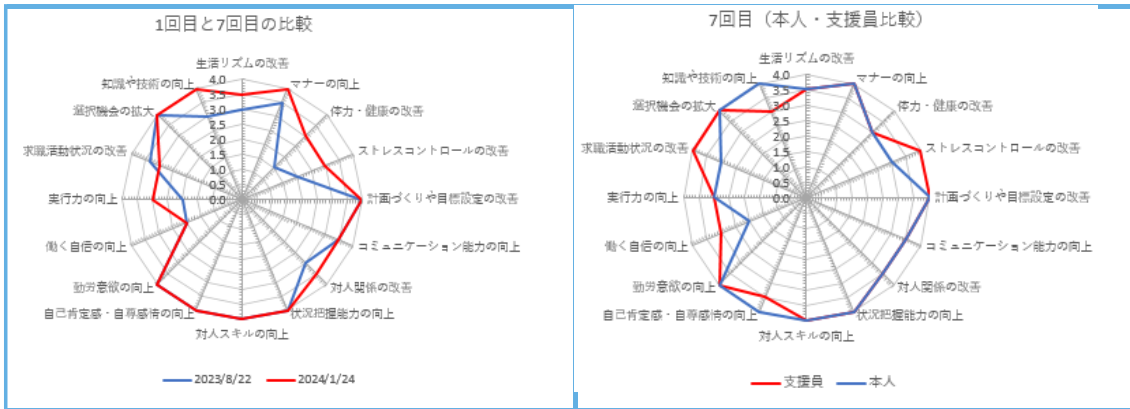
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

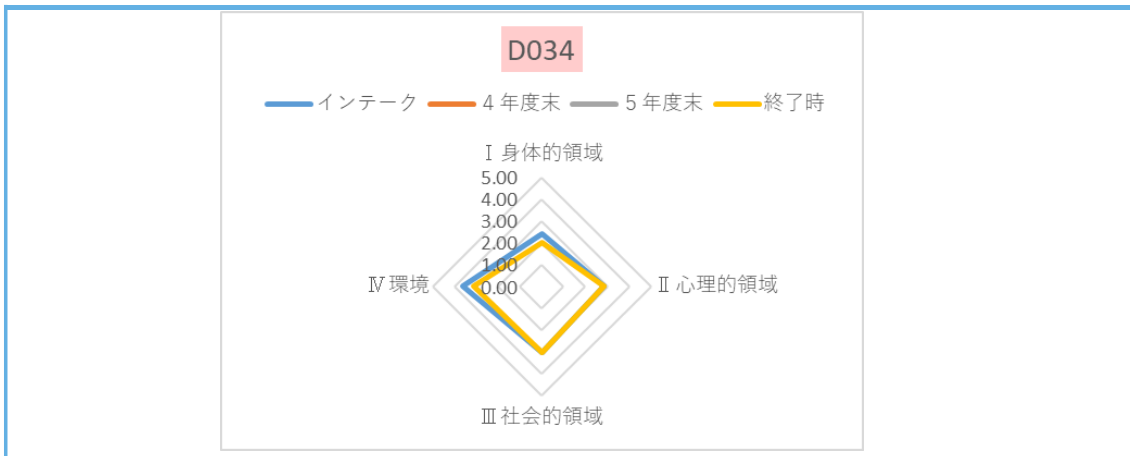


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、身体的領域の低さが目立つが、症状による影響だと思われる。他の領域の Q O L を高めつつ、症状を抱えながらいかに働くかについて検討していく必要がある。

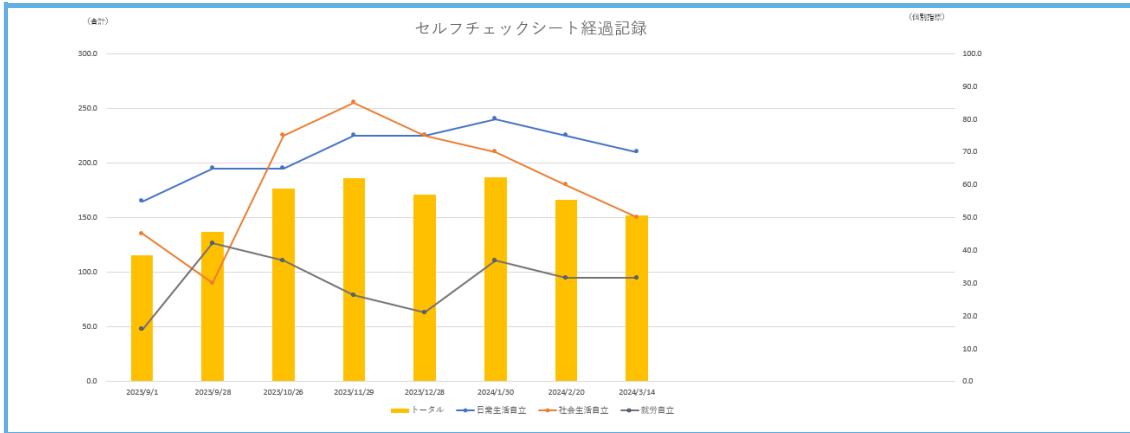
事例29 福岡地区 2023年9月1日～2024年3月2日

ウィング粕屋 通所

年代・性別・区分	50代 男性 難病その他の病気、障がい者（クローン病）
紹介機関	粕屋保健福祉事務所
支援経緯	父親が亡くなり生活保護受給
困りごと・課題	<p>診断名：クローン病（20歳前に発症）  入退院を繰り返し、退院後も腹痛や下痢、発熱等の症状があり、長時間の  仕事ができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理をしながら社会との接点をもつ</li> <li>・どのくらい働けるかを知る</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理を維持しながら、生活リズムを社会に出るリズムに移行する</li> <li>・活動を通して人との関わり、環境や人に適用する力をつける</li> <li>・企業見学や体験を通して、できそうなこと・得意なこと・興味 がある  ことを見つけていく</li> </ul>
効果	<p>【2024年3月4日より福祉サービスへ移行】  ※難病の証明書で障がい福祉サービス受給者証を取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と接触する機会が増えた</li> <li>・仕事をする生活サイクルになった</li> <li>・大体の作業はできることがわかり、自信がもてた</li> <li>・行動範囲が広がり、楽しむことができています</li> </ul>

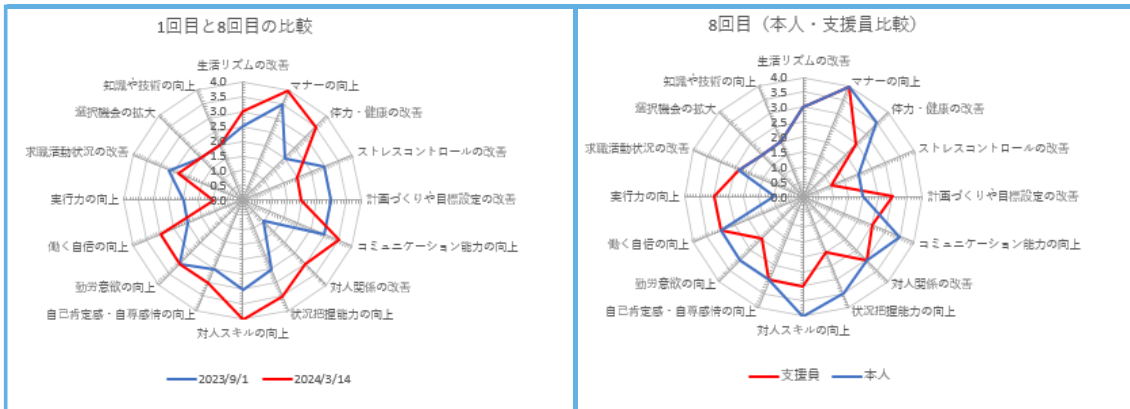
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

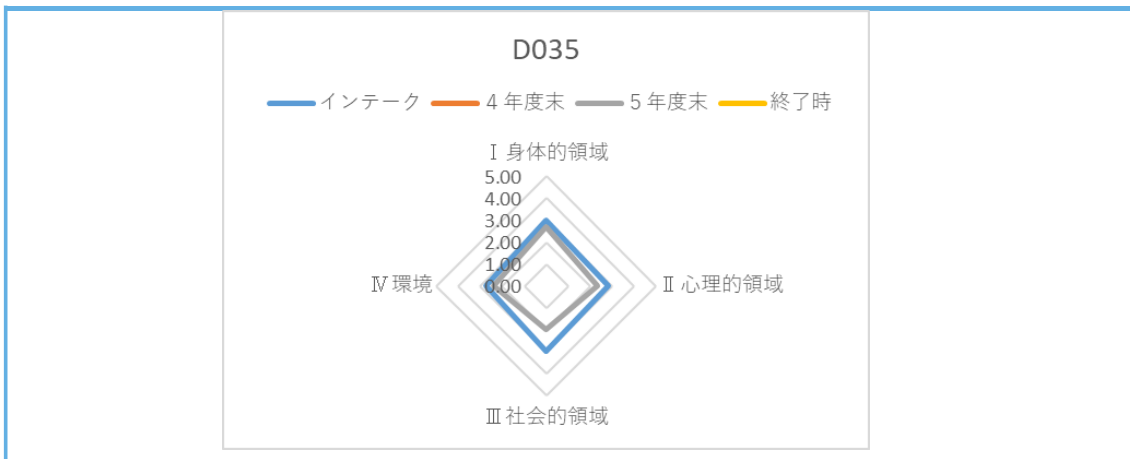


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて社会的領域の低下が認められる。難病は見えづらい障害の一つであり、また、同様の症状に苦しむ人とのつながりも形成しづらい。就労に関する支援の継続に加えて、難病支援センターとの連携を通じて、症状を抱えつつ就労しているロールモデルについて知る機会を設けると良いと考える。

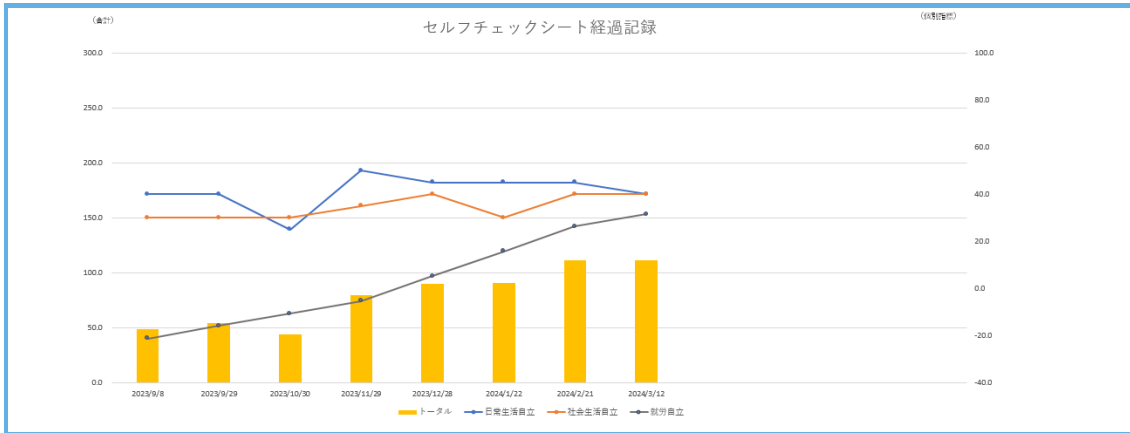
事例30 北九州地区 2023年9月6日～通所中

インクルとばた 通所

年代・性別・区分	40代 女性 その他の困難要因
紹介機関	福岡県公式LINE
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所臨時職員、研究室実験補助等で13年の職歴あり</li> <li>・契約社員で働いていた際、人間関係で悩み1年間心療内科に通院歴あり</li> <li>・福岡県LINEをみて本人から申し込み</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向いている仕事分からない</li> <li>・人と話すのが苦手、精神面の心配がある</li> <li>・人の名前や顔を覚えられない。忘れやすい</li> <li>・家事育児との両立</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な作業や体験を通して自分の適性を知る</li> <li>・訓練を通して、自分に合った働き方、対人スキルを身につける</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業能力が高いことがわかった</li> <li>・子育てとのバランスを取りながら、通所できている</li> <li>・人との接し方が改善され、社会性が向上した</li> <li>・どこまでできるのか不安であったが、自分の苦手なことが分かってきた</li> <li>・自分のことを知るきっかけや、知る材料が増えている</li> </ul>

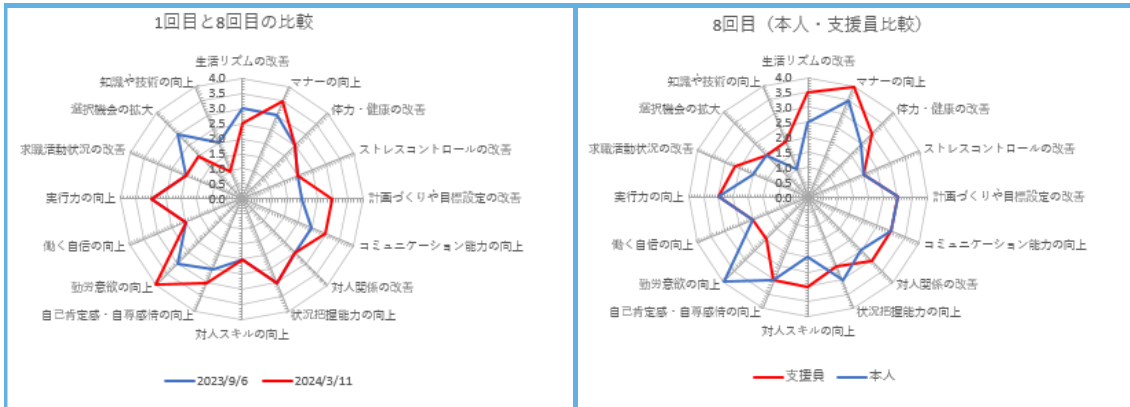
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められ、特に社会的領域や環境において顕著である。

支援状況より、自己理解の深まりが窺える。



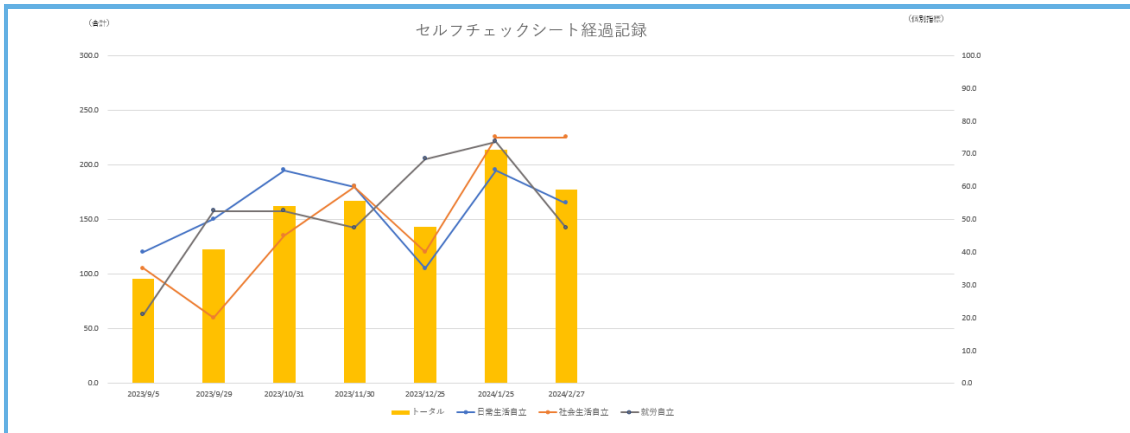
事例31 北九州地区 2023年9月5日～2024年2月29日

ウィング中間 通所

年代・性別・区分	30代 男性 生活困窮
紹介機関	宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場、食品関係の仕事 トータルで約9年の職歴あり</li> <li>・就職先で、理由が分からずに契約終了や給与が減り退職</li> <li>・就活し、面接を受けるが落ちる</li> <li>・生活保護受給</li> <li>・生活困窮者自立支援制度の就労準備支援でパソコン講座受講</li> <li>・パソコン講座で一緒だったWD事業利用者からWD事業を紹介</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働きたいが就職できない理由がわからない</li> <li>・安定した生活を送れるようになりたい</li> <li>・苦手なこと得意なことを把握し、出来る仕事を探す</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所により生活リズム、対人関係に慣れる</li> <li>・得意、不得意を整理</li> <li>・相談できる環境作り</li> </ul>
効果	<p>【2024年3月1日電気機械器具製造の企業へ就労】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所できている</li> <li>・就職へのイメージが明確化してきた</li> <li>・ビジネスマナー、コミュニケーション能力が向上した</li> </ul>

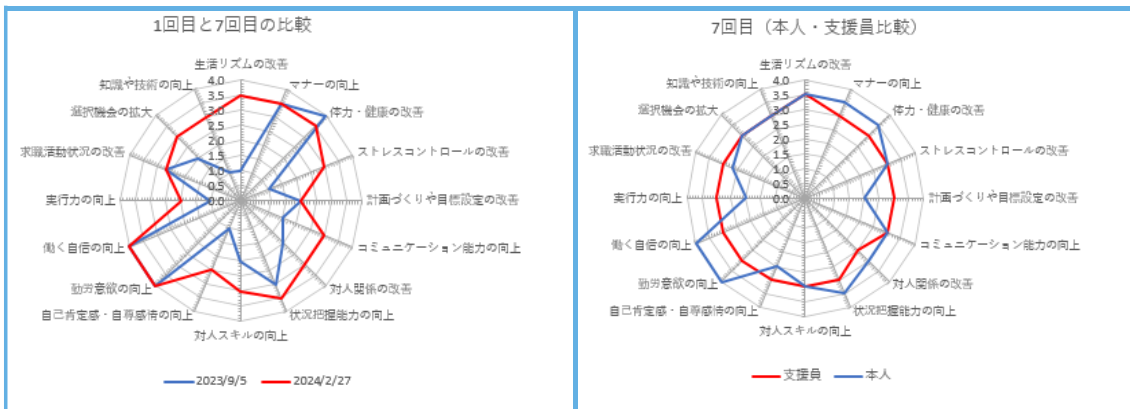
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5「事業アドバイザーのコメント」

QOL評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められ、特に社会的領域や環境において顕著である。

就労継続が難しい理由を明らかにして、就職することが目標の一つになると考える。

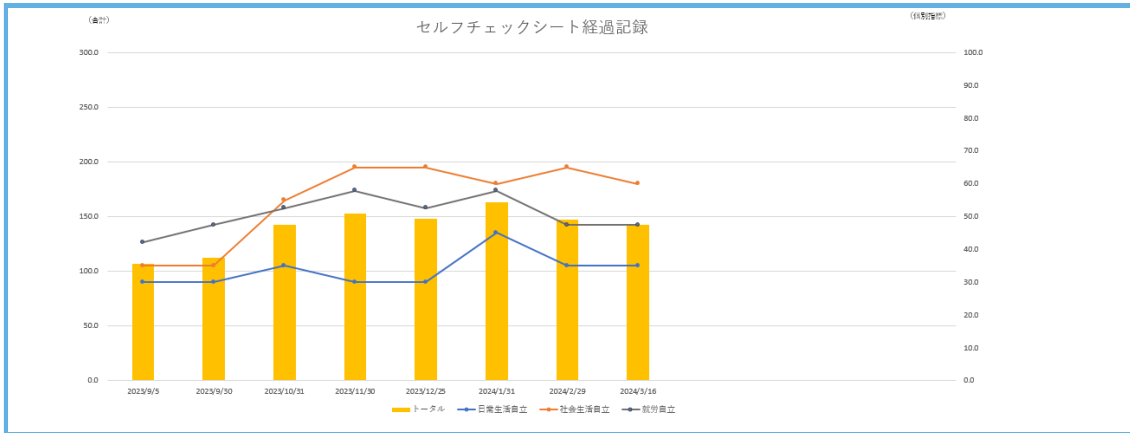
事例32 筑豊地区 2023年9月6日～2024年3月8日

ウィング直方 通所

年代・性別・区分	20代 女性 ひきこもり
紹介機関	宮若市自立相談支援室（困りごと相談室）
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館の調理師1年の他、居酒屋でバイトで5年の職歴あり</li> <li>・5年前にネットで知り合いになった知人宅へ他県から転居</li> <li>・同居人からの相談をきっかけに困りごと相談室に繋がる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5年ひきこもり状態で社会との接点がない</li> <li>・人と関わるのが苦手。断れない</li> <li>・膝が悪く、体力がない</li> <li>・自立した生活をするため、収入が必要</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの安定化</li> <li>・適切な意思表示</li> <li>・作業、勉強などの優先順位の適切な選択</li> <li>・新規の体験に対する前向きな取り組み</li> </ul>
効果	<p>【2024年3月11日より福祉サービスに移行】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所できている</li> <li>・足の状態が改善した</li> <li>・自立に向けての生活環境が変わった</li> </ul>

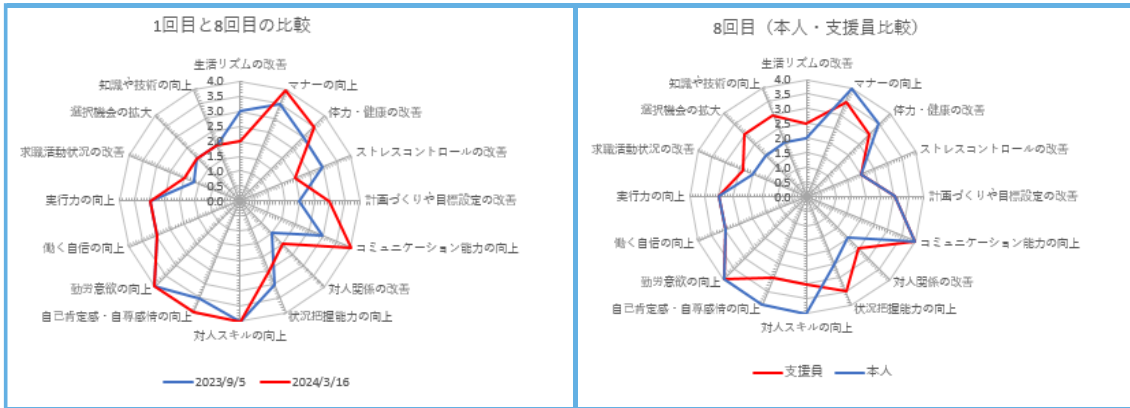
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

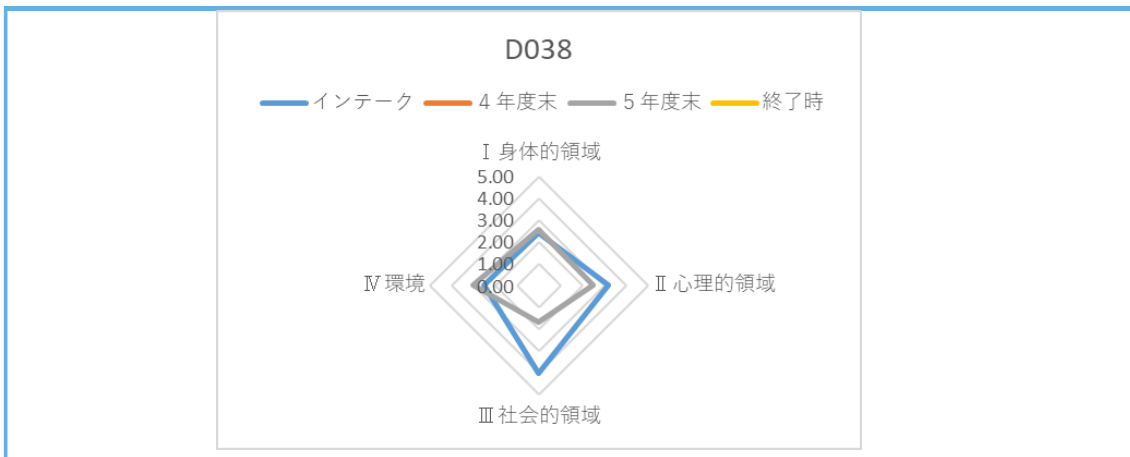


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて身体的領域と環境においては上昇しているが、心理的領域と社会的領域で低下が認められる。支援状況から、どのような困難が生じているのか明らかではなく、マネジメントセンターとして情報の収集が求められる。

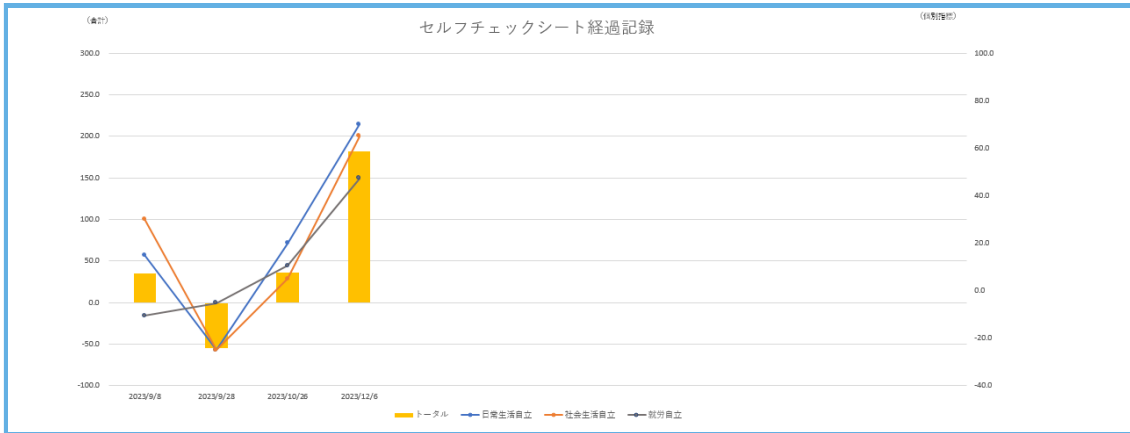
事例33 福岡地区 2023年9月8日～2024年1月15日

ウイング粕屋 通所

年代・性別・区分	40代 男性 ひきこもり
紹介機関	福岡県だより
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県だよりを見た家族の勧めで申し込み（支援機関なし）</li> <li>・専門学校卒業後、知人の紹介で事務職を2年弱。上司とうまくいかず退職</li> <li>・家業の弁当、惣菜店を手伝う（23年）</li> <li>・コロナ禍で廃業 その後無業</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が大丈夫だと思っても、客観的に大丈夫かどうか判断できない</li> <li>・家族以外との接点がない</li> <li>・自分のところで仕事が止まると、迷惑をかけるのではないかと想像してしまう</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に対応した生活リズム作り</li> <li>・コミュニケーションの向上</li> <li>・体験を増やし、自信をつける</li> <li>・社会に出る準備として多くの仕事を体験をする</li> </ul>
効果	<p>【本人の意志により2024年1月15日付けで終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業実習で臨機応変な対応ができることがわかった</li> <li>・人と話す機会が増え、人と関わるのが好きなことが分かった</li> <li>・自分から利用者の方に話し掛けたり、スポーツで相手に合わせた動きができていた</li> </ul> <p>※12月ご家族が逝去し、それを機に通所ができなくなる</p>

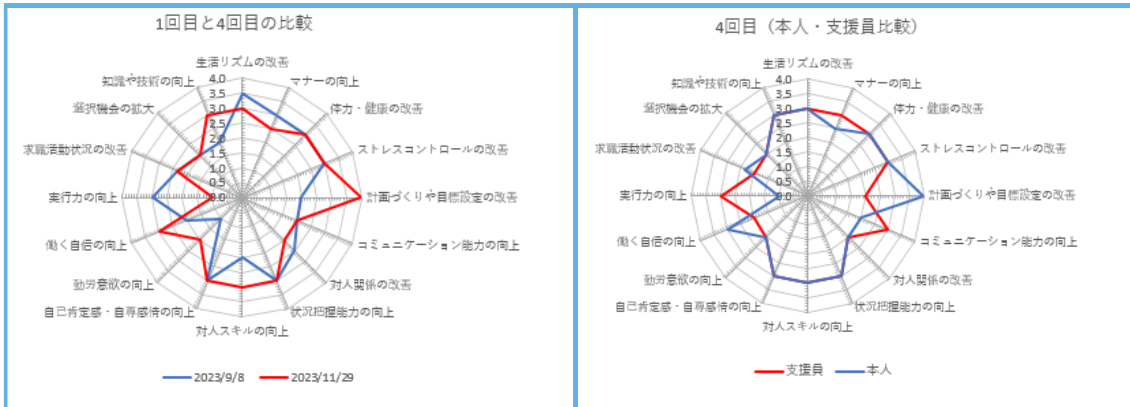
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

支援機関の関わりにより、得意なことが明らかになりつつあった事例である。支援状況の記載にもあるが、発達特性の精査を含め、医療や福祉につなげていくことが必要であるとする。

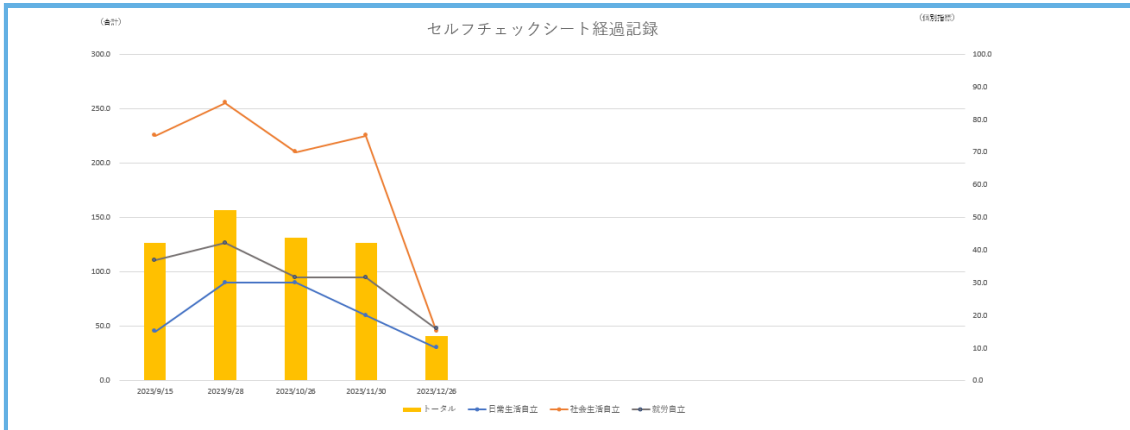
事例34 福岡地区 2023年9月15日～2024年3月27日

ウィング粕屋 通所

年代・性別・区分	50代 男性 その他の困難要因
紹介機関	福岡県だより
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師として病院、施設で15年勤務。上司の退職を機に気力がなくなり、2022年に退職</li> <li>・県だよりを見た家族の勧めで申し込み（支援機関なし）</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種の仕事を希望するが、仕事に就くのに自信がない</li> <li>・難病の子どもの介護、家事育児と両立できる働き方</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所による生活リズムの改善</li> <li>・対人スキル訓練</li> <li>・自分に合った環境・職種を見つける</li> <li>・家事、育児を考慮したスケジュールの組み立て</li> </ul>
効果	<p>【本人の体調及び家庭環境により2024年3月27日付け終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は生活リズムの改善や勤労意欲の向上がみられたが、家庭の問題や体調で通所が不安定になり、効果見られず</li> </ul>

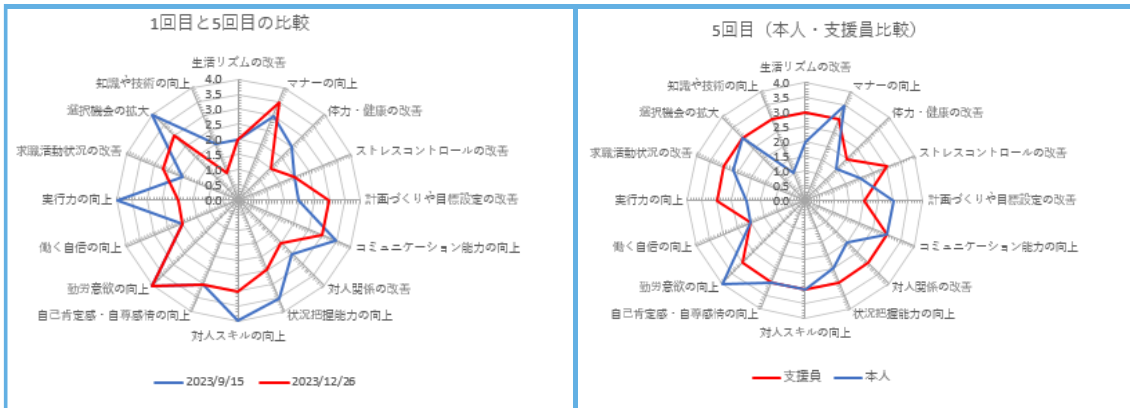
## KPSツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9による自己評価の推移】



### 【GN 2 5による自己評価の推移】

### 【GN 2 5による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

本人の発言にもあるように、支援機関に通うことで社会とのつながりを感じることができていたと思われる。体調を崩すと記載があるが、医療的な支援が必要な水準のものであったのか、支援機関との情報共有が必要である。



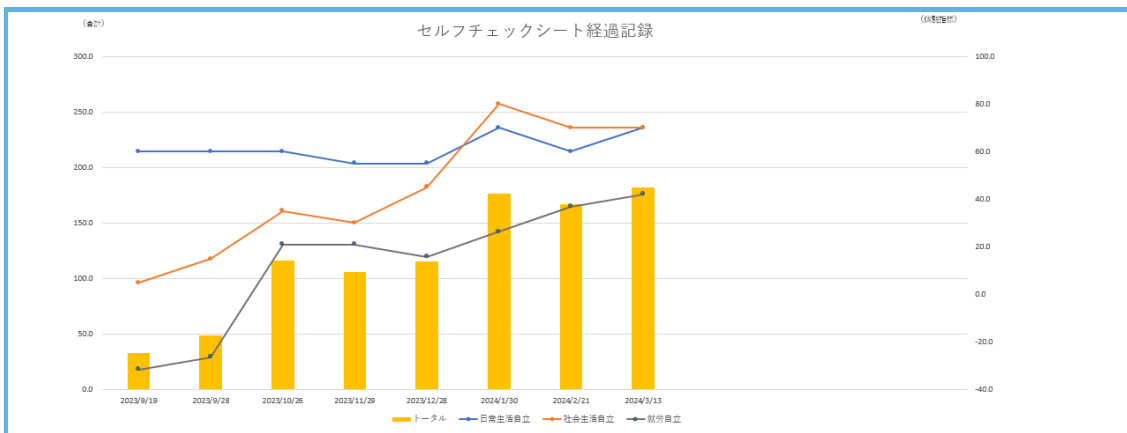
事例35 福岡地区 2023年9月19日～通所中

ウィング粕屋 通所

年代・性別・区分	30代 男性 生活困窮・病気
紹介機関	福岡県自立相談支援事務所（糟屋郡）困りごと相談室
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品関係16年勤務</li> <li>・糖尿病を発症し、3年前に網膜剥離になり、右目がほとんど見えず退職</li> <li>・福岡県粕屋保健福祉事務所及び困りごと相談室（粕屋郡）の支援あり</li> <li>・生活保護受給</li> <li>・生活困窮者自立支援制度の就労準備支援を1年受けている</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の仕事に就けるのか、どこまでできるか分からない</li> <li>・体調管理</li> <li>・自信をつけたい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に対応した生活リズム作り</li> <li>・幅広い年齢の方との関係構築</li> <li>・体調管理と活動可能範囲の把握</li> <li>・企業見学・体験による得意分野や興味のある分野を把握</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と接触する機会が増え、楽しむことができている</li> <li>・他の利用者から励まされることや共感できることがある</li> <li>・企業実習をして、目が悪くてもできる仕事があることがわかった</li> <li>・自信が付き、就労意欲がでてきた</li> </ul>

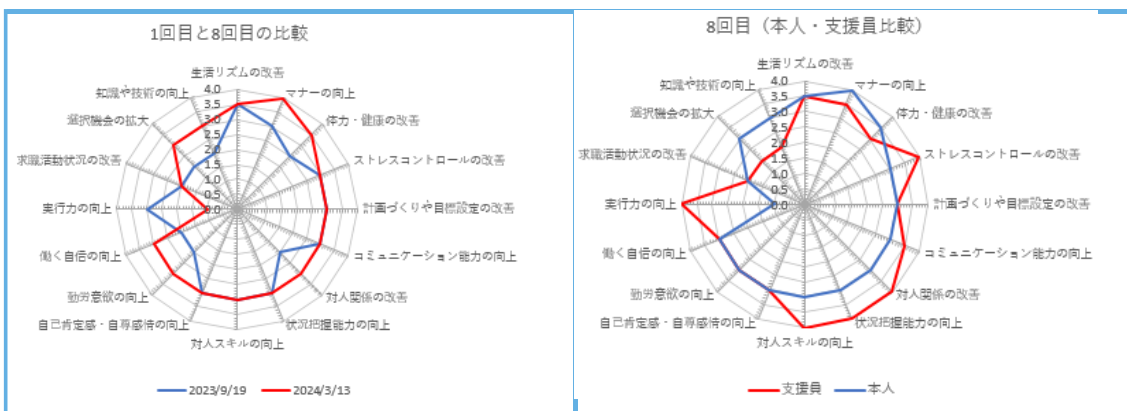
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められ、特に身体的領域や心理的領域、環境において顕著である。

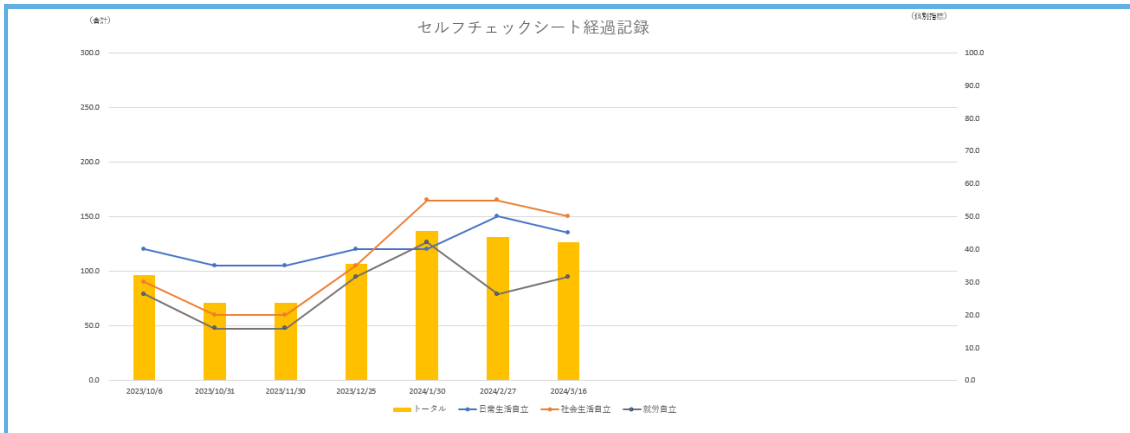
就労時間（作業時間）の延長については、本人のニーズと就労継続の観点から慎重に判断することが求められる。

事例36 筑豊地区 2023年10月6日～通所中  
 ウイング飯塚 通所

年代・性別・区分	40代 男性 ひきこもり
紹介機関	訓練等実施機関
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職として10年以上、製造業で正社員、派遣でトータル20年の職歴あり</li> <li>・筑豊若者サポートステーションの利用歴あり。当時の担当職員からの紹介</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝起きられず、体力がない</li> <li>・社会にでる不安が大きい</li> <li>・働く勘をとりもどしたい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所による生活リズムの改善</li> <li>・企業見学・体験による得意不得意の把握</li> <li>・企業実習・座学による就労に関する知識の向上</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所できている</li> <li>・指示があれば午前中の訓練にも参加できる</li> <li>・週1回、企業見学に参加</li> <li>・企業体験までは至らないが、就労条件が明確になってきた</li> </ul>

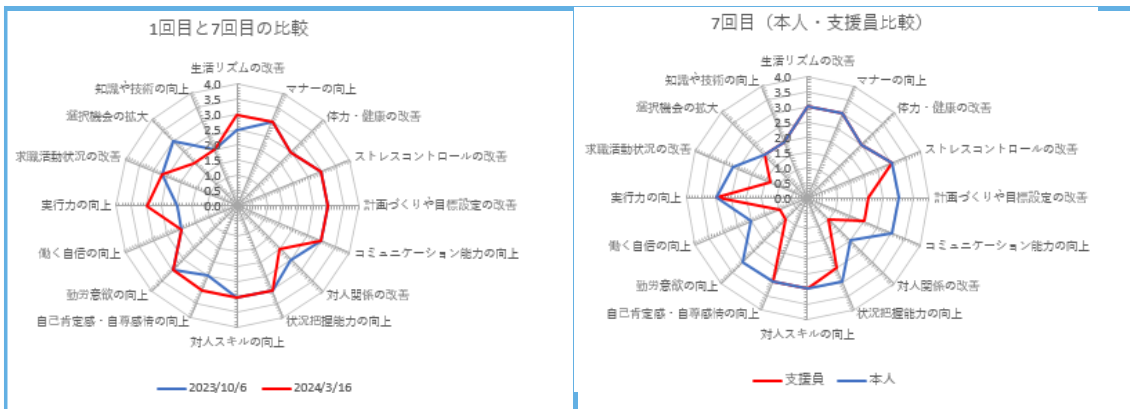
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、顕著な変化は認められない。一方で、支援状況にあるように、本人の理想と可能なことのすり合わせが進みつつあることが窺える。

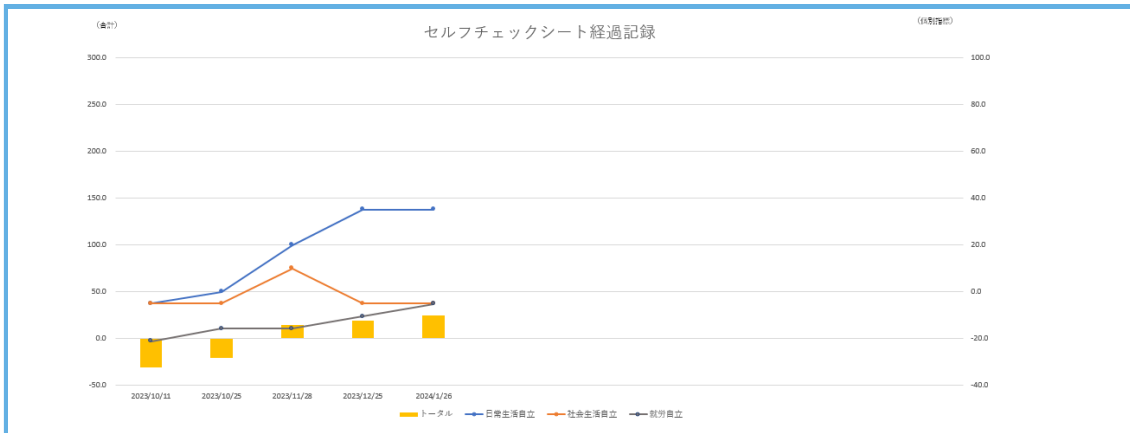
事例37 筑豊地区 2023年10月11日～2024年3月5日

ウイング川津 通所

年代・性別・区分	50代 男性 難病その他の病気、障がい者（脳梗塞）
紹介機関	宮若市困りごと相談室
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラック運転手で20年の他、倉庫内作業等で、トータル40年の職歴あり</li> <li>・2022年2月に脳梗塞発症</li> <li>・自分から宮若市困りごと相談室に連絡し、支援を受ける</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳梗塞による後遺症（右半身麻痺）</li> <li>・また脳梗塞をおこすのではないかと不安がある</li> <li>・身体機能、言語能力の向上</li> <li>・生活習慣を整える</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所による生活リズムの改善</li> <li>・作業訓練による身体機能の向上</li> <li>・他者との会話を通して言語能力の向上を目指す</li> <li>・企業見学・体験による得意分野や興味のある分野を把握</li> </ul>
効果	<p>【本人の意志により3月5日付けで終了】</p> <p>※体調を考え就労は1年くらい後にしたいとの意向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行能力、手指機能が改善し、出来ることが増えた</li> <li>・体力がつき、外出の機会が増えた</li> <li>・人と話すことで、言葉の練習になり、刺激を受けている</li> <li>・働く喜びを再確認できた</li> </ul>

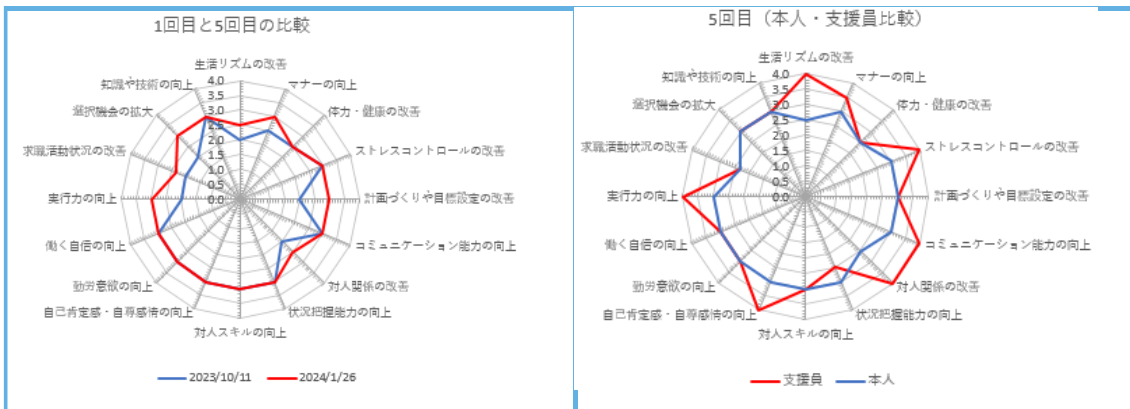
## KPSツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9による自己評価の推移】

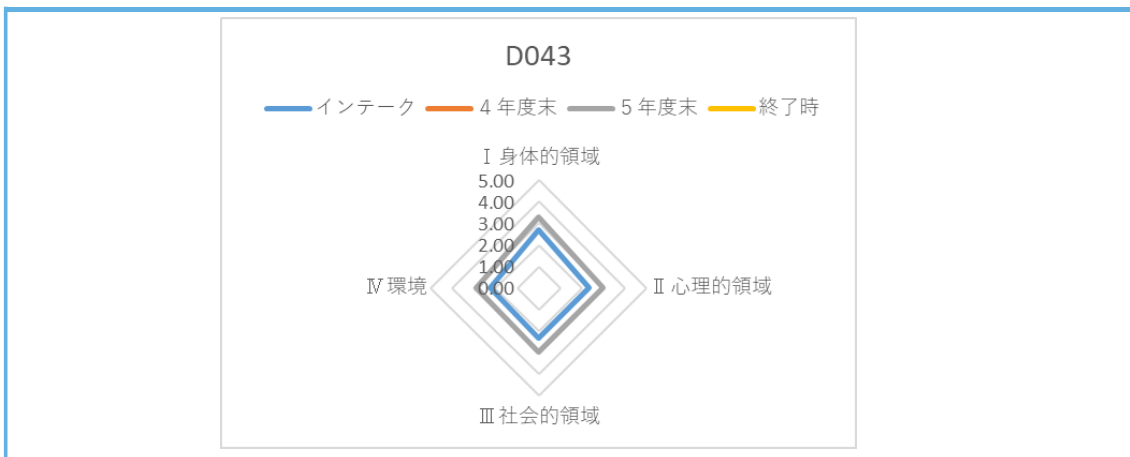


### 【G N 2 5による自己評価の推移】

### 【G N 2 5による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められる。

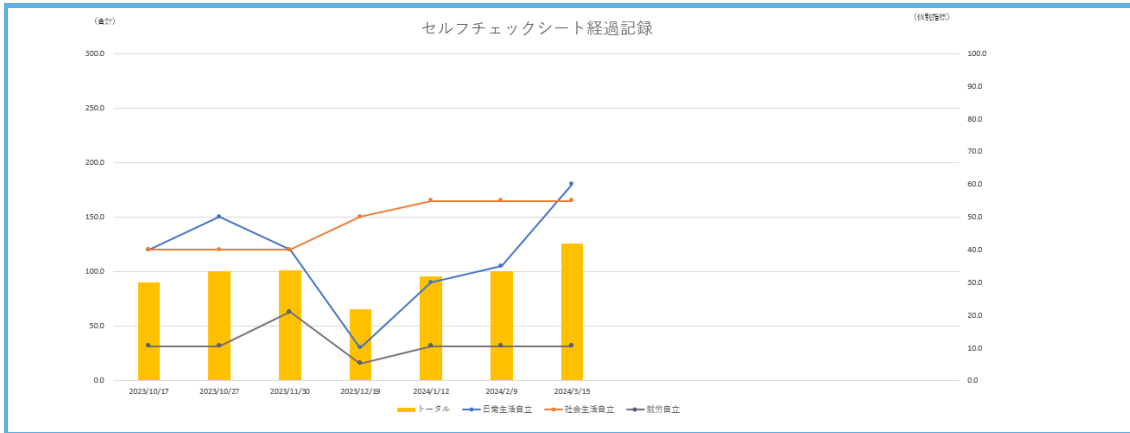
脳梗塞後の麻痺がある。認知機能の状態について医療機関から情報を取得するように支援機関に助言すると良い。必要に応じて、福祉サービスの利用も検討する。

事例38 筑豊地区 2023年10月12日～通所中  
ウイング通所

年代・性別・区分	20代 男性 生活困窮
紹介機関	ハローワーク
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業、製造業等で6年の就労経験あるが、腰痛があり長続きしていない</li> <li>・筑豊若者サポートステーションに登録。セミナー等には参加せず、面談のみ</li> <li>・3年前より生活保護受給（10代から独り暮らし 家族とは音信不通）</li> <li>・ハローワークで月に3，4回就職活動。ハローワークよりWD事業を紹介</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛があり、整形外科に通院をしているが改善が見られない</li> <li>・腰に負担がかからない作業や働き方を見つける</li> <li>・集団が苦手</li> <li>・就労リズムを作る</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所による生活リズムの改善</li> <li>・腰痛があってもできる作業や就職先を探す</li> <li>・企業見学・体験による得意分野や興味のある分野を把握</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設外訓練に参加</li> <li>・腰痛改善のため事業所よりセカンドオピニオンのアドバイス受け受診。異常はなく、診断結果は同じであったことが判明</li> </ul>

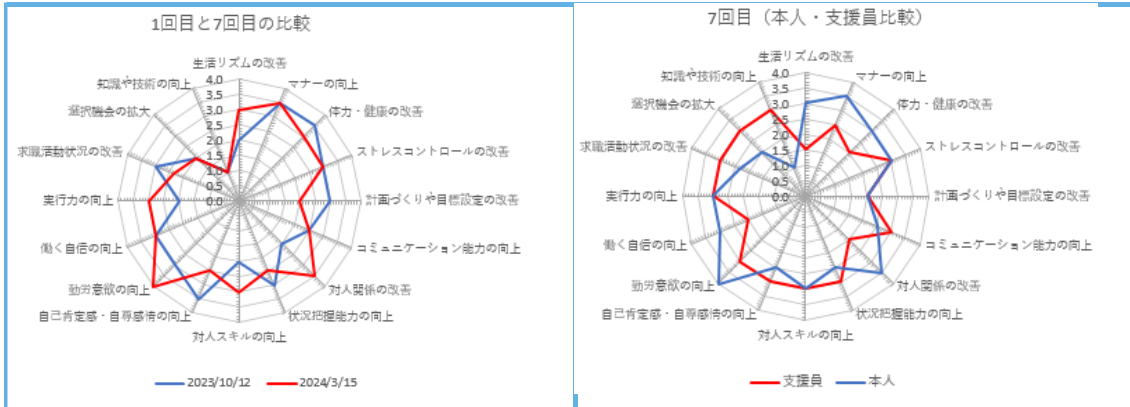
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

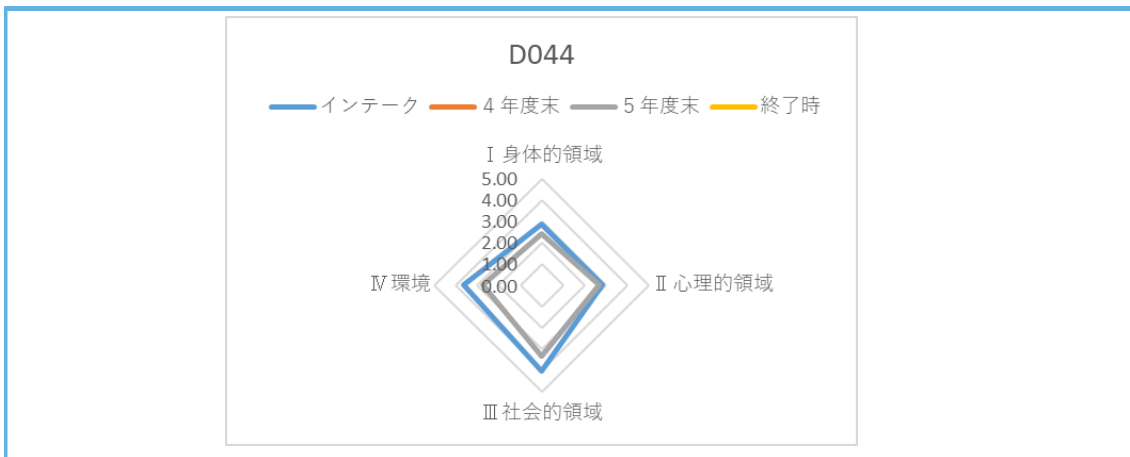


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、事業参加時と比べて全体的にやや低下している。社会的領域や環境での低下から、本人としては現在の環境にうまく適応できていないと感じていることが想定される。

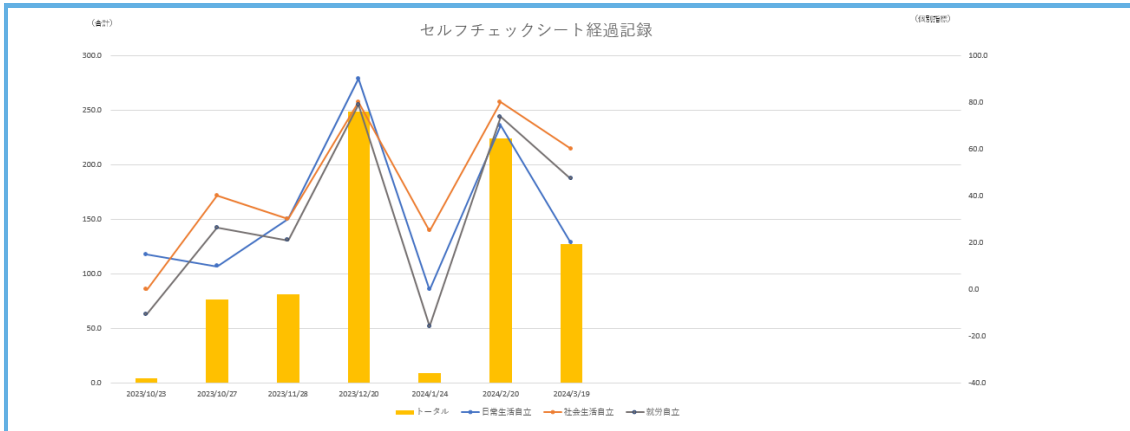


事例39 福岡地区 2023年10月23日～通所中  
ハートフルACE 通所

年代・性別・区分	30代 男性 その他の困難要因
紹介機関	福岡県だより
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県だよりを見た家族の勧めで申し込み（支援機関なし）</li> <li>・事業所見学、体験を実施</li> <li>・派遣で週4日5時間の就労中（ホームセンターの品出し）</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正社員で働きたいが、自信がない</li> <li>・対人恐怖</li> <li>・自分で決断ができない</li> <li>・計算が苦手</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所による生活リズムの改善</li> <li>・安定通所が出来るようサポート</li> <li>・座学による就職に必要なスキル習得</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情が明るくなった</li> <li>・自己受容ができるようになってきた</li> <li>・行動を起こし始めて不安が緩和した</li> </ul>

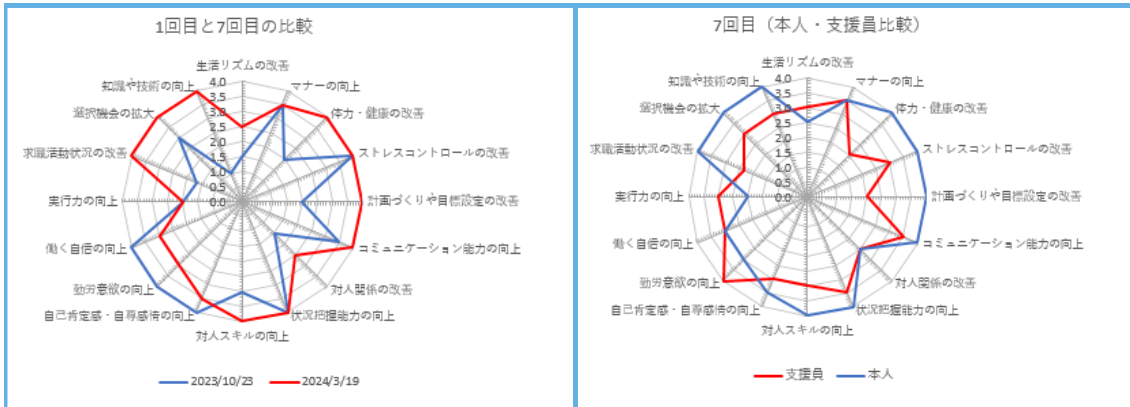
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められる。支援状況より、健康状態の波が大きいことが窺え、これらの特徴と就労環境のバランスをとることが肝要である。

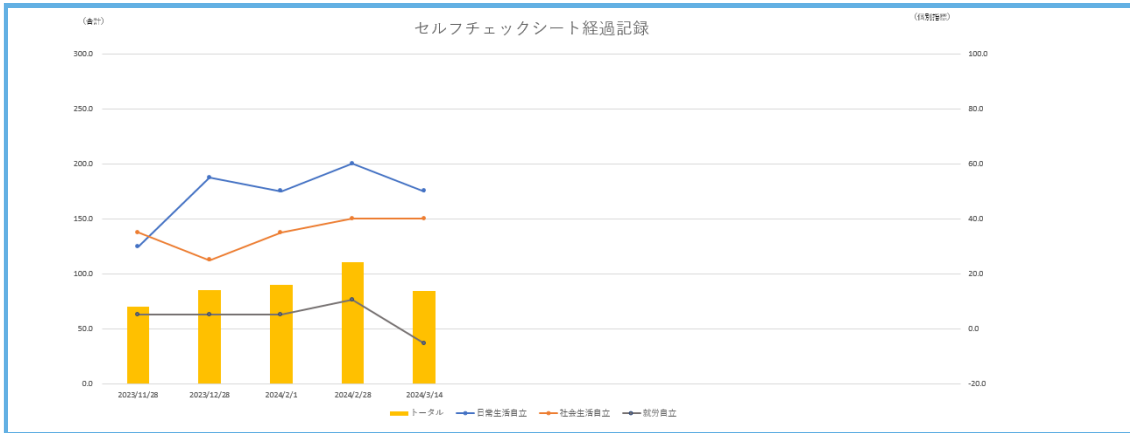
事例40 筑後地区 2023年11月14日～通所中

わーよか 通所

年代・性別・区分	50代 男性 生活困窮
紹介機関	八女地区障害者地域生活支援拠点センター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業を主として正社員、派遣、バイト等で約33年の職歴あり</li> <li>・2023年10月椎間板ヘルニアにより退職</li> <li>・20年前にうつ病発症 医療を中断していたが、離職とともに心療内科受診再開</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えるのが苦手</li> <li>・自信がなく不安感が強い</li> <li>・対人関係が苦手、自分から聞けない</li> <li>・家族の介護で制限が多い</li> <li>・生活習慣を整えたい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族事情や体調に配慮し、継続的な通所を支援</li> <li>・自分にあった体の使い方を知り、負荷を調整</li> <li>・定期面談による振り返り</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムが整ってきた</li> <li>・外に出ることで精神的に落ち着いてきた</li> <li>・利用日数が週2日から3日に増えた</li> <li>・人と関わることで、就労選択の幅が広がっている</li> </ul>

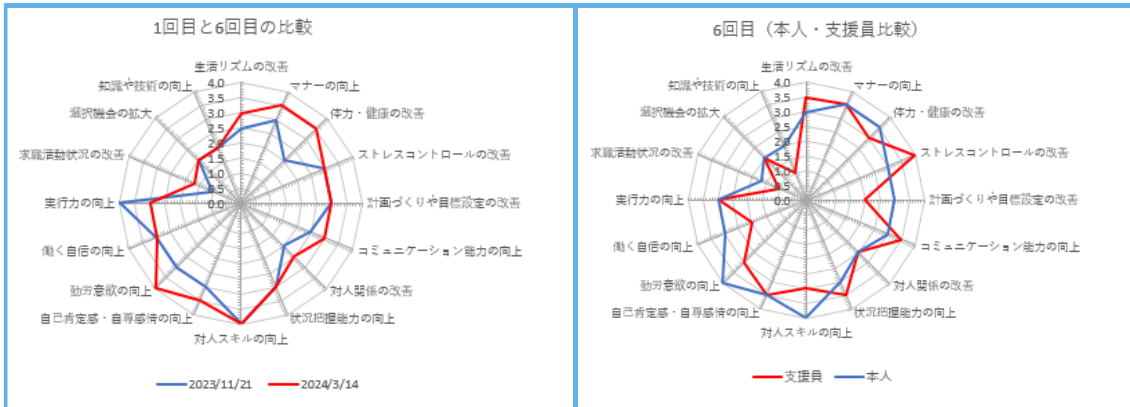
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】

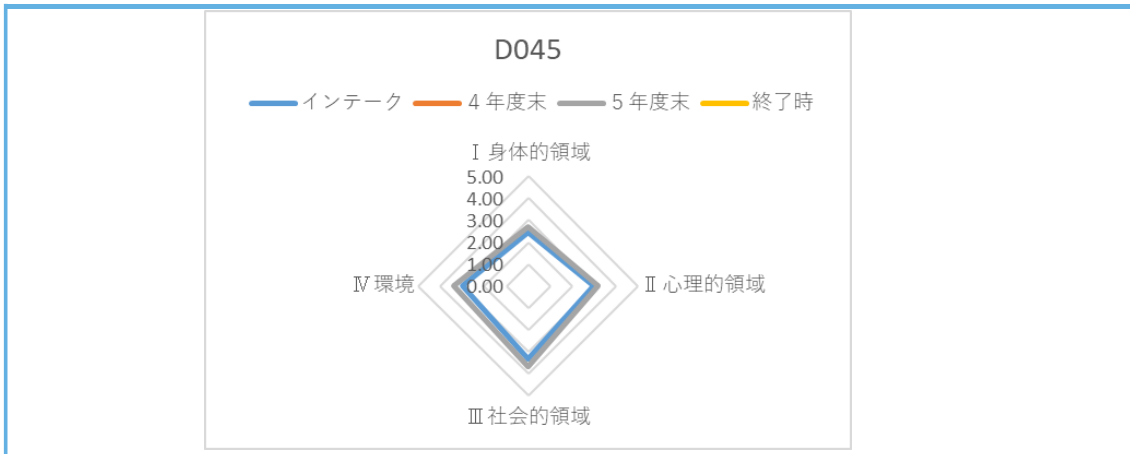


### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

利用期間が短期間のため、本事業による効果の検証は慎重に行う必要がある。QOLは上昇傾向にあり、次年度以降の継続的な支援により、どのような変化が生じるのか経過を見ていく。

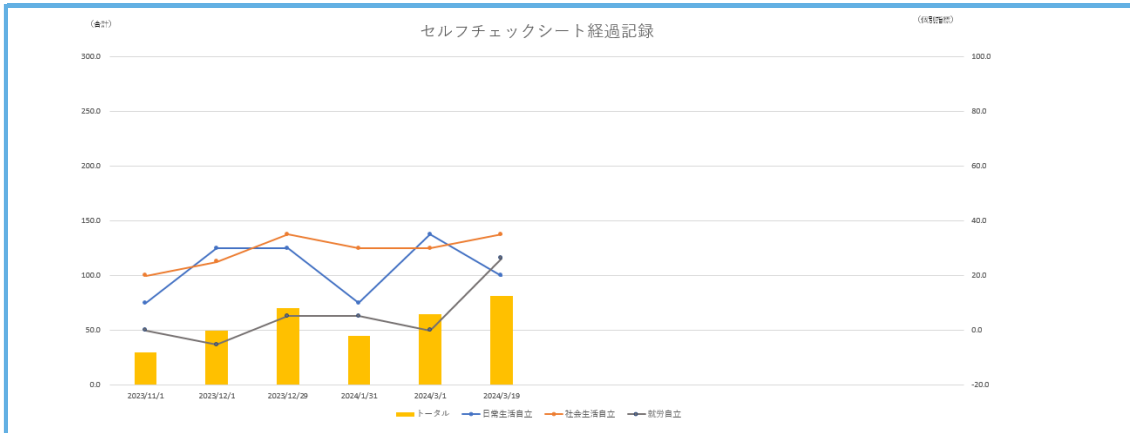
事例41 筑豊地区 2023年11月1日～通所中

たいよう通所

年代・性別・区分	30代 男性 ひきこもり
紹介機関	訓練等実施機関
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職歴なし</li> <li>・ 心療内科（約2年通院）</li> <li>・ 精神科（約4年通院）</li> <li>・ 地域活動支援センターへ通所</li> <li>・ 障害福祉サービス受給者証を取得し、「たいよう」にて自立（生活）訓練、就労継続支援B型利用（約3年）</li> <li>・ 2023年10月主治医より受診の必要なしと受給者証の更新ができず、福祉サービス終了</li> <li>・ 行政も支援なしでの就労は難しいとの見解もあり、本人の希望によりWD事業での就労移行支援を継続</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人がいると緊張し、対人関係が苦手</li> <li>・ 自信をつけたい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活リズムの安定させ、体力をつける</li> <li>・ 色々な経験をし、自分の強みを知る</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した生活リズムで通所が継続できている</li> <li>・ 面談で自分の思いを伝えることができています</li> <li>・ 作業能力が高いことが分かった</li> </ul>

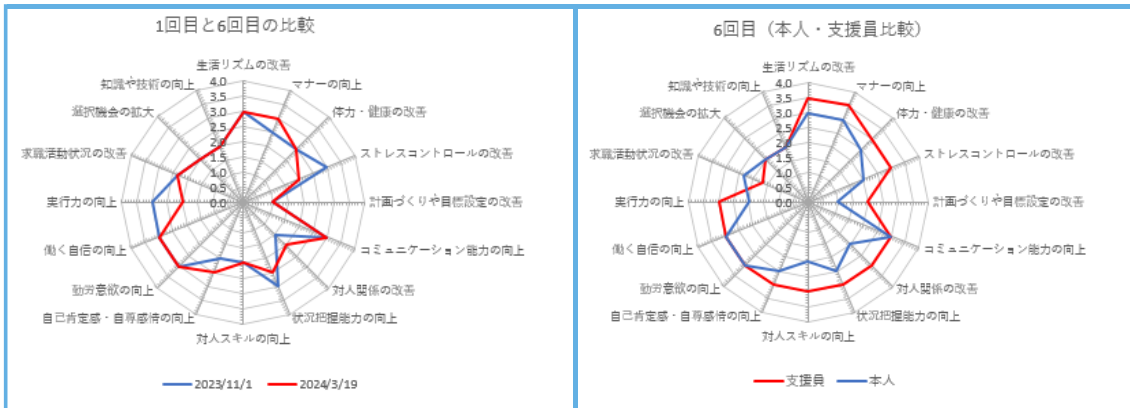
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

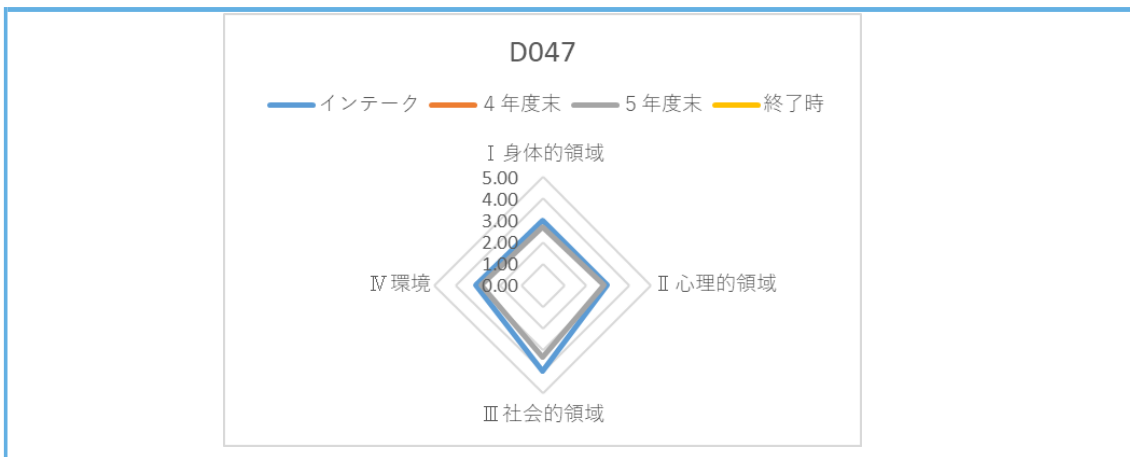


### 【GN 2 5 による自己評価の推移】

### 【GN 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて大きな変化は見られない。1 1 月の支援開始から年度末までに数ヶ月の支援期間があるが、支援状況の詳細が不明である。

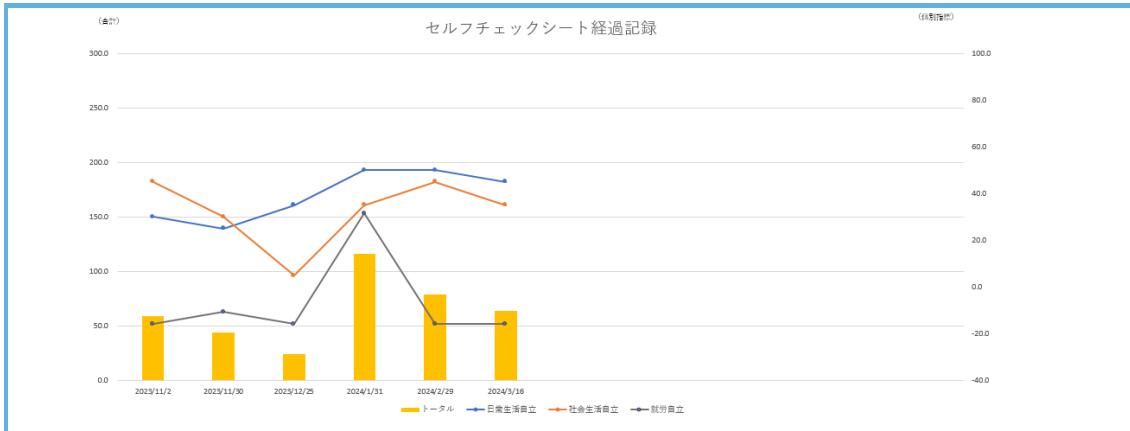
事例42 筑豊地区 2023年11月2日～通所中

ウイング直方通所

年代・性別・区分	50代 男性 難病その他の病気、障がい者（脳梗塞）
紹介機関	宮若市困りごと相談室
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内装業（自営）、精肉店（正社員）で39年の職歴あり</li> <li>・2021年6月に脳梗塞発症し、退職</li> <li>・2022年ウイングに相談するも、手帳等がないため福祉事業利用できず</li> <li>・病院のデイケアに週3日リハビリ通院。主治医は就労可能との診断</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳梗塞発症後、麻痺 文字が書きづらい、杖歩行、言葉が出にくい等の後遺症あり</li> <li>・就労意欲が高いが、どこまでできるかわからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを整え、体調管理の意識を保つ</li> <li>・身体的に安全な動きができる支援</li> <li>・活動へのチャレンジや体力向上の意識を持つための取組み</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所できている</li> <li>・自分で出来ることは自分でやるようにしている</li> <li>・スポーツやレクリエーション等の活動に参加</li> </ul>

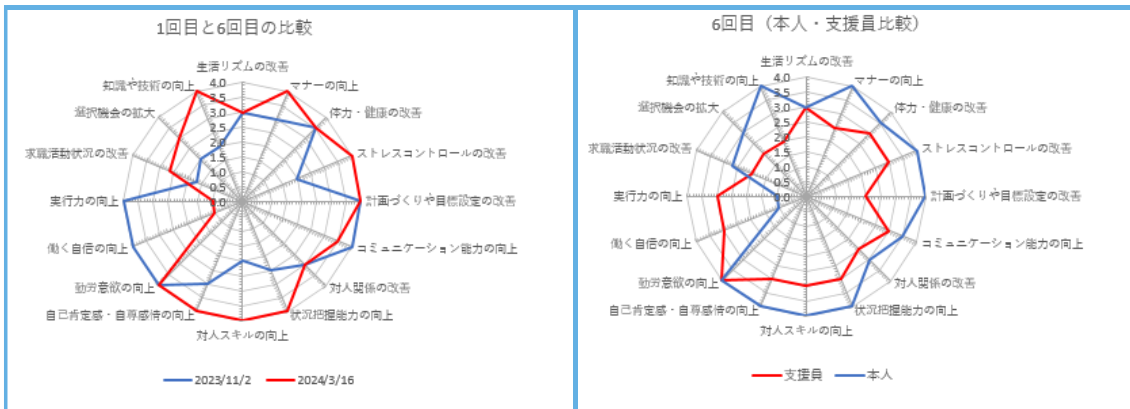
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が窺える。ただし、1 1 月の支援開始から年度末までに数ヶ月の支援期間があるが、支援状況の詳細が不明である。

K P S ツール評価より、支援が良い方向に展開していることが窺える。脳梗塞後の認知機能について、医療機関の評価情報を取得することで、より適切な支援を展開できると考える。

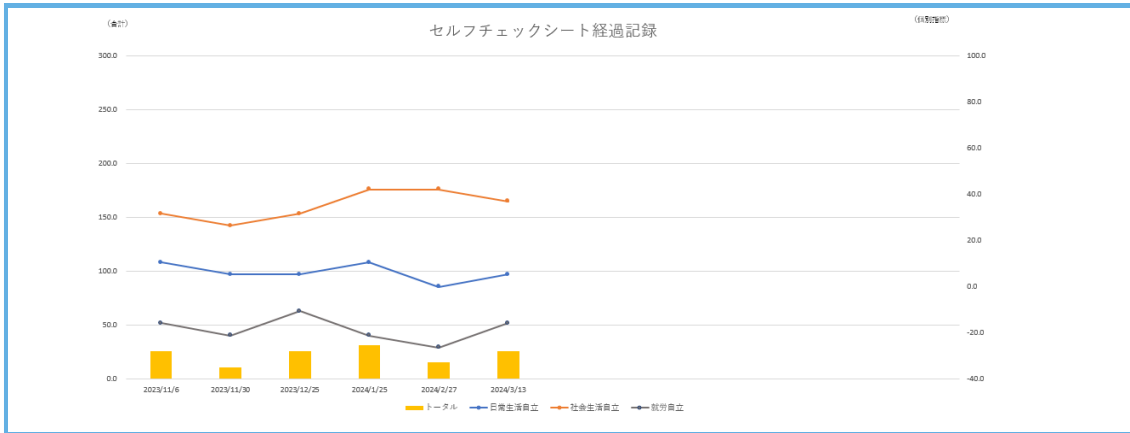


事例43 北九州地区 2023年11月6日～通所中  
ウイング中間通所

年代・性別・区分	50代 男性 生活困窮
紹介機関	宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業（正社員・日雇い）で20年の職歴あり</li> <li>・12～13年前より生活保護受給</li> <li>・生活困窮者自立支援制度の就労準備支援で介護の初任者研修、PC研修を受講</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調面の不安（心筋梗塞・ヘルニアの既往歴あり）</li> <li>・生活習慣の改善</li> <li>・就労意欲の減退</li> <li>・現状に合った職業選別</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの安定、健康面の把握</li> <li>・交流機会を設け、他者との関わりを設ける</li> <li>・得意、不得意を把握し業種選別を行う</li> <li>・定期面談</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所し、施設外訓練にも参加できている</li> <li>・身体を動かすようになった</li> <li>・社会との接点が増え、生活面での改善が見られている</li> </ul>

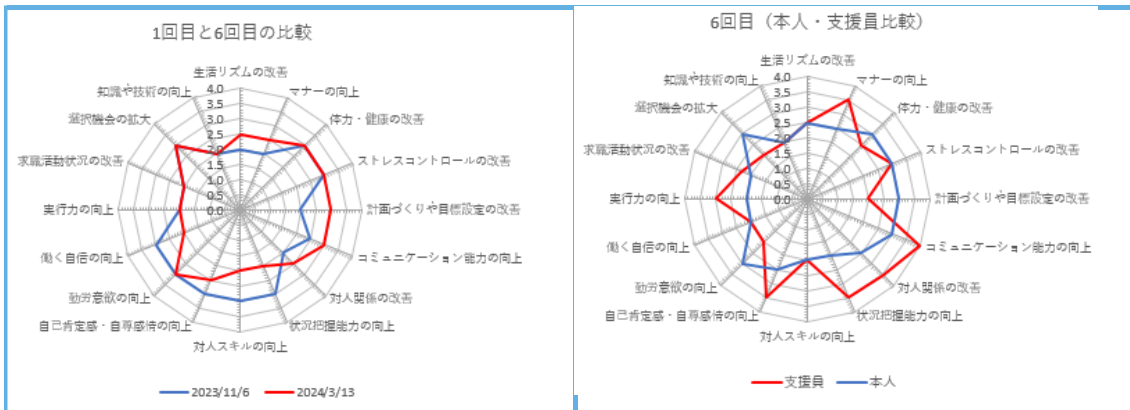
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

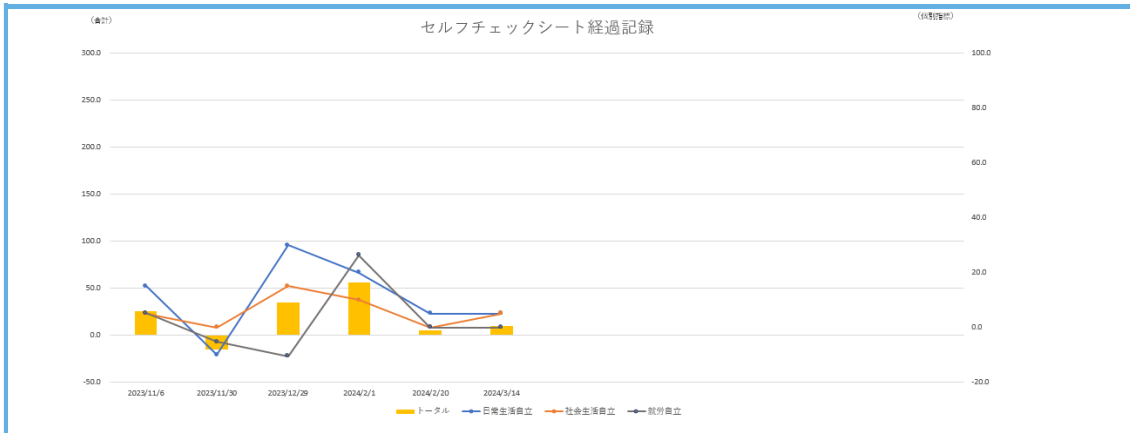
QOL評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が窺える。支援機関に通うことで社会的なつながりを感じることができていると思われる。ただし、11月の支援開始から年度末までに数ヶ月の支援期間があるが、支援状況の詳細が不明である。

事例44 福岡地区 2023年11月6日～通所中  
ウイング粕屋 通所

年代・性別・区分	20代 女性 その他の困難要因
紹介機関	古賀市保健福祉部福祉課
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学では就職活動をせず、卒業半年後家族の勧めでハローワークや古賀市役所内の無料職業紹介所に相談</li> <li>・生活困窮者自立支援制度の就労準備支援を1年半、2023年5月から認定就労訓練を半年受ける</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団が苦手</li> <li>・情報が多いと混乱する</li> <li>・自分で決めることが難しい、人に指示をもらえる方がいい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを働くリズムに変える</li> <li>・人と関わり、コミュニケーション力を向上</li> <li>・できることを増やし、自信をつける</li> <li>・得意・不得意を把握する</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休むことなく通所ができている</li> <li>・作業能力があり、自発的に動き指示なしで気づけることが分かった</li> <li>・話をよくするようになった</li> </ul>

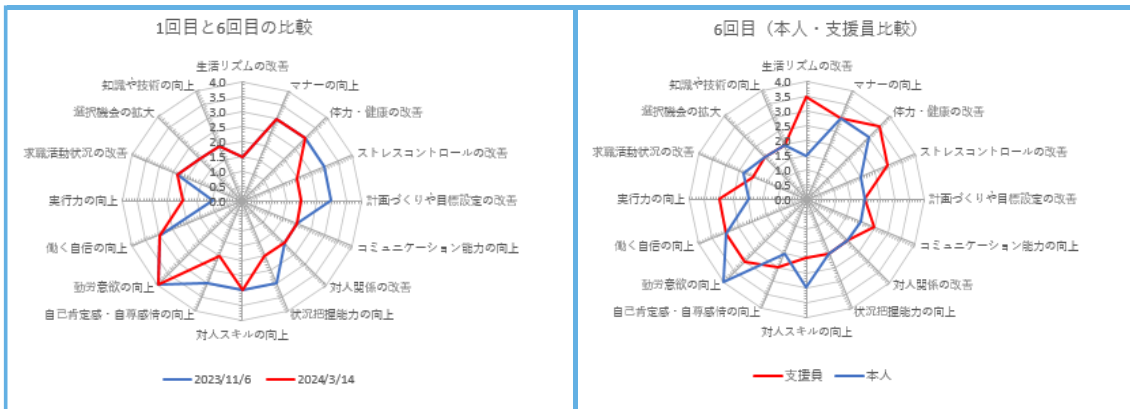
## KPSツールを活用した評価結果

### 【TS59による自己評価の推移】



### 【GN25による自己評価の推移】

### 【GN25による本人・支援員評価の比較】



### 【QOLによる自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R5 〈事業アドバイザーのコメント〉

QOL評価について、事業参加時と比べて特に顕著な変化は認められない。KPS評価より、全体的な傾向として就労に向けた自己評価が高まりつつあることが窺える。

課題にも記載しているように、本人の得意な点を明らかにして就労につなげていくことが求められる。

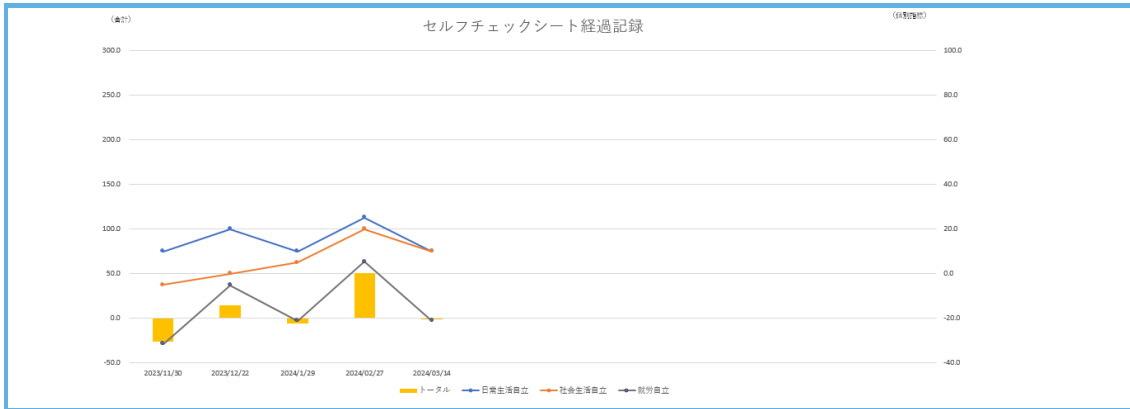
事例45 福岡地区 2023年11月28日～通所中

てとて 通所

年代・性別・区分	10代 男性 難病その他の病気、障がい者（ADHD）、フリーター
紹介機関	就労移行支援事業所
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度発達障がい（ADHD）の診断あり 月1回精神科受診継続 本人が障がい者手帳の必要性を感じていない</li> <li>・2023年10月開催のWDシンポジウムに参加した就労移行支援事業所の職員から紹介（以前から母親と知り合いで相談を受けていた）</li> <li>・飲食店、ファーストフード等のバイトで1年の就労経験あり（現在も音楽スタジオのバイト継続中）</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気分がむらがあり、調子のいいときと何もしたくないときの差が激しい</li> <li>・マルチタスクが苦手、慌ててしまう</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労をイメージした生活リズムを作り、通所する</li> <li>・本人に合った働き方や職種の模索と技術習得</li> </ul>
効果	通所が安定せず、目立った効果見られず

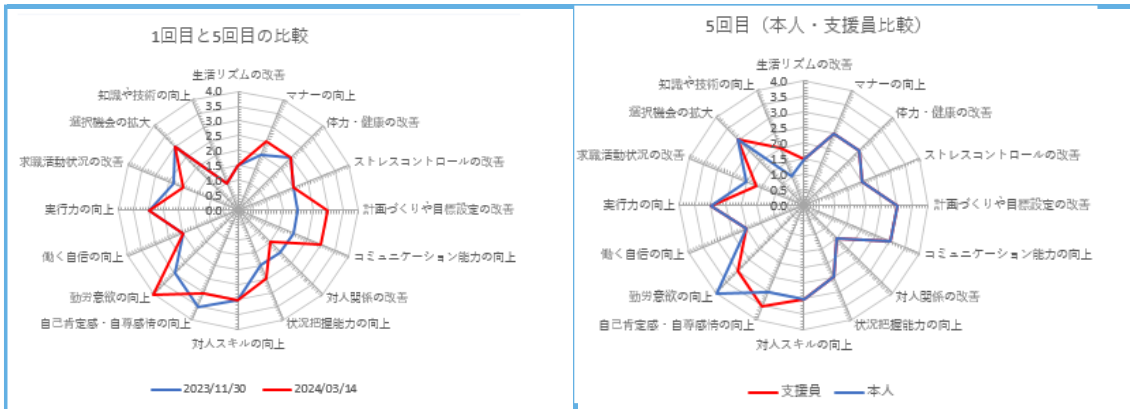
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

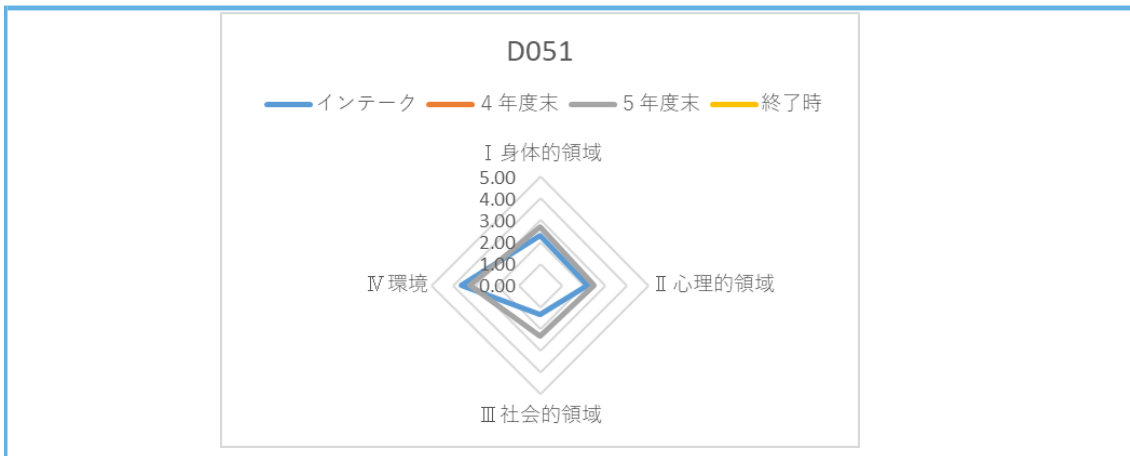


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

すでに就労中であること、診断があることから、本事業の対象者として適切かどうか再度検討する必要がある。

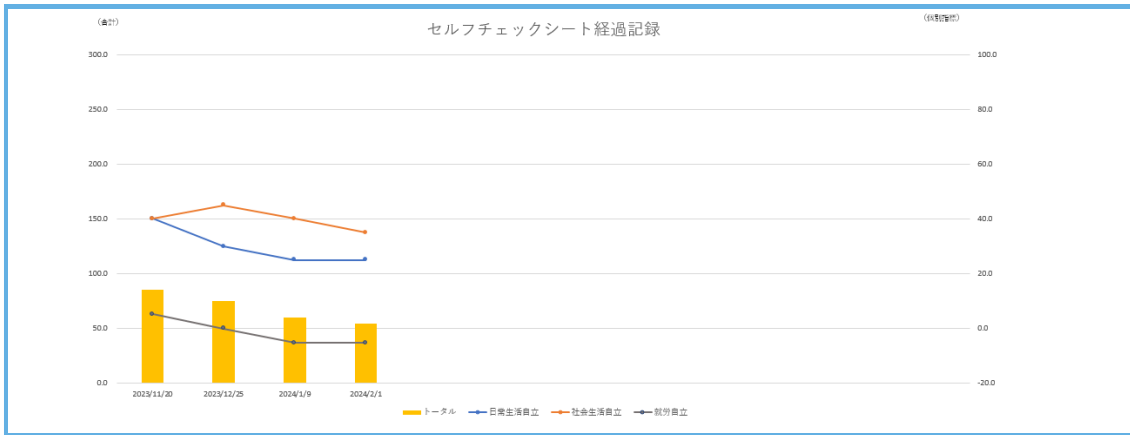
事例46 北九州地区 2023年11月20日～2024年3月27日

スプライフ黒崎センター通所

年代・性別・区分	40代 女性 生活困窮／難病その他の病気、障がい者（乳がん）
紹介機関	宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>接客業、リハビリ助手を経て、リラクゼーションサロン経営22年の職歴あり</li> <li>5年前乳がんを発症。術後の治療継続で体調が不安定になり、自営業を廃業</li> <li>生活保護を受給（乳がん術後時から約5年）</li> <li>宗像・遠賀保健福祉環境事務所遠賀分庁舎の支援員からスプライフ黒崎センターに連絡があり、体験利用を実施</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳がん術後のホルモン治療により、体調、精神面が不安定</li> <li>体調にあった仕事を見つけない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムの改善</li> <li>体調を整え、通所できる体力作り</li> <li>病院受診に同行し、健康管理のアドバイスを行う</li> <li>就労に必要なスキルを身に付ける</li> <li>在宅訓練と通所訓練を併用し、通所日数を増やす</li> </ul>
効果	<p>【体調悪化により3月27日付けで終了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体調不良により通所が安定せず、精神科を受診し、就労不可の診断を受ける</li> <li>短期間のため目立った効果は見られなかったものの、PC操作を取得し仕事をしたいため、今後は福祉サービス利用も検討していきたいという意思を確認できた</li> </ul>

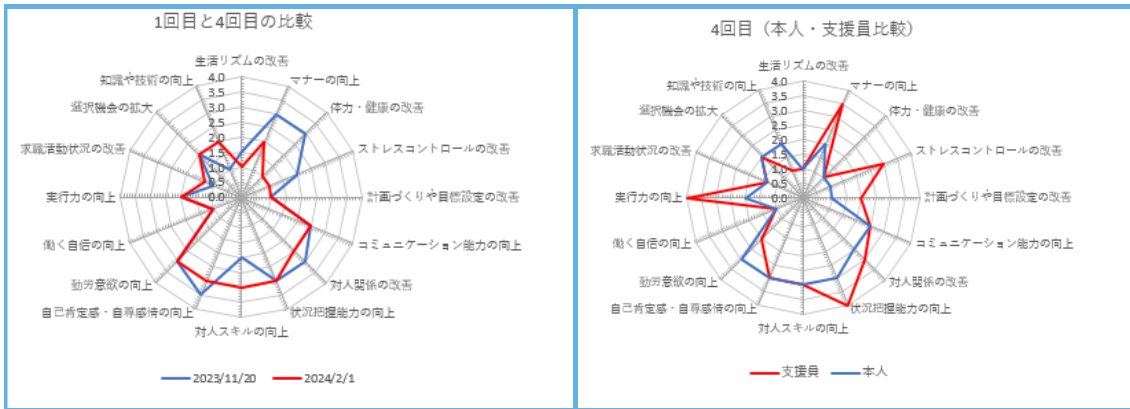
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価、K P S 評価ともに低下傾向にある。就労及びその準備を進めることが可能な状態か、医療機関との情報共有が求められる。

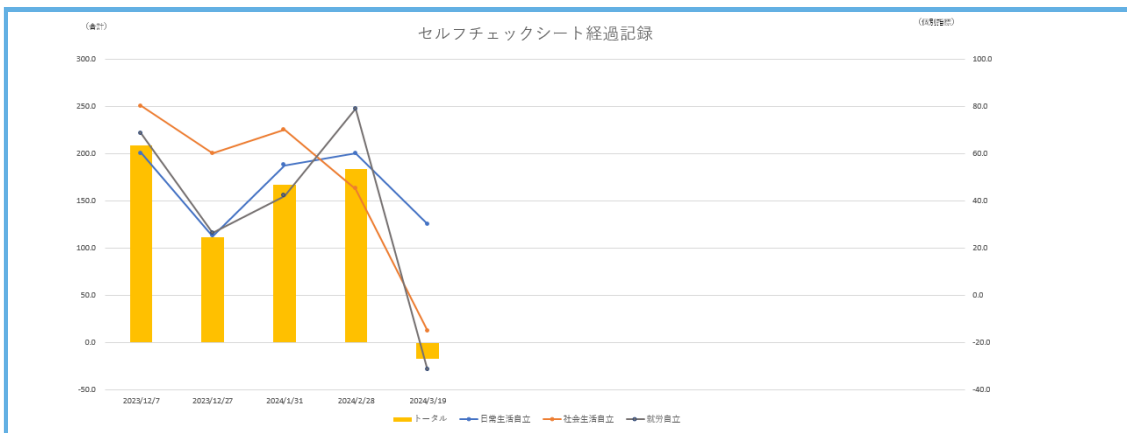


事例47 筑豊地区 2023年12月7日～通所中  
ウイング飯塚 通所

年代・性別・区分	50代 女性 生活困窮／母子家庭
紹介機関	飯塚市福祉部生活支援課
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業、スーパーのパート等で10年の職歴あり</li> <li>・生活保護受給</li> <li>・飯塚市福祉部生活支援課から訓練等実施機関に相談がありWD事業につながる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職後指導が外れると教えてもらったことがわからなくなり、人に聞けないため辞めてしまう</li> <li>・覚えるのに時間がかかる</li> <li>・自信がない</li> <li>・自分にあった仕事を見つけない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムを整え、就職できる体力づくり</li> <li>・得手、不得手を把握し、得意分野を増やす</li> <li>・継続力を身に付け作業能力を高める</li> <li>・就労意欲を高め、自信をつける</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学や実習に行き、自分の得意分野の仕事が分かった</li> <li>・人と触れ合う機会が増えた</li> <li>・子供の影響を受けやすく、対処スキルをあげる課題が見つかった</li> </ul>

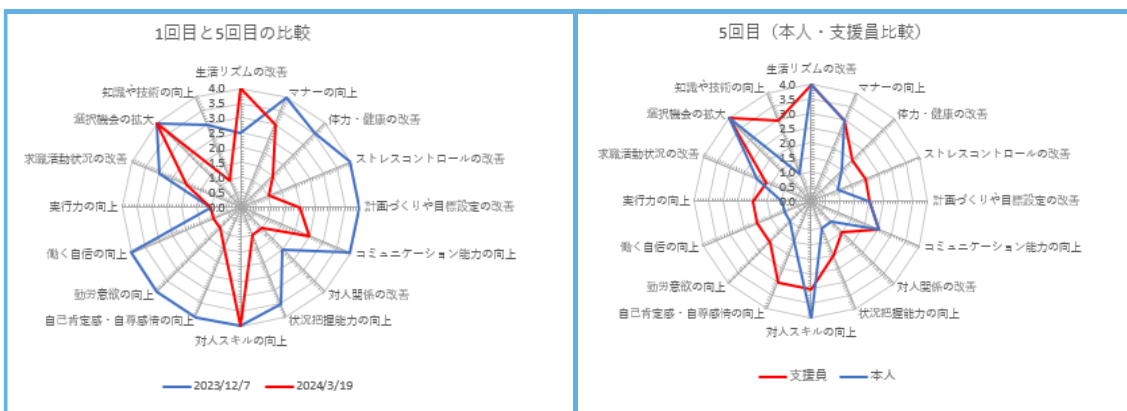
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】

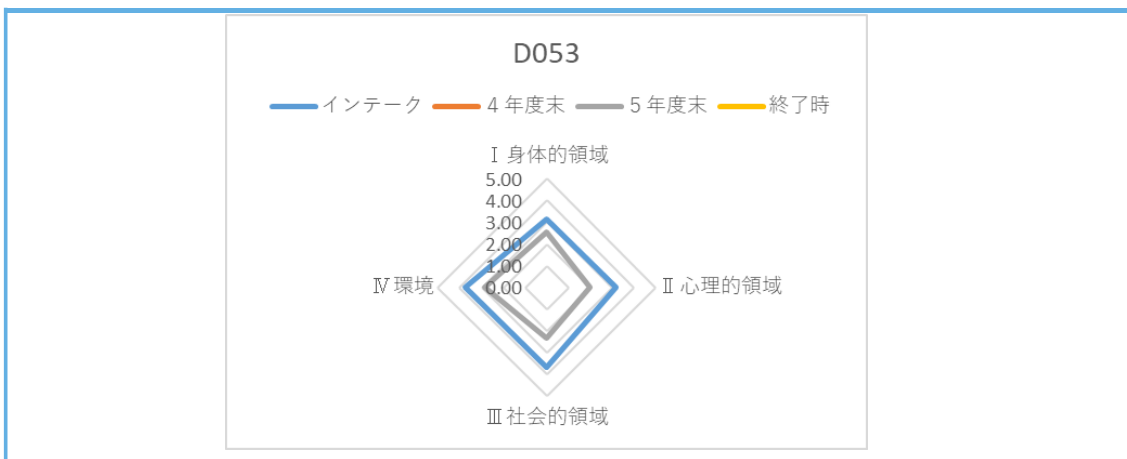


### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、全体的な低下が認められるが、支援状況に記載している情報との関連が明らかではない。

K P S 評価より、1月末時点で持ち直していることから、経過を見ていく必要があると考える。

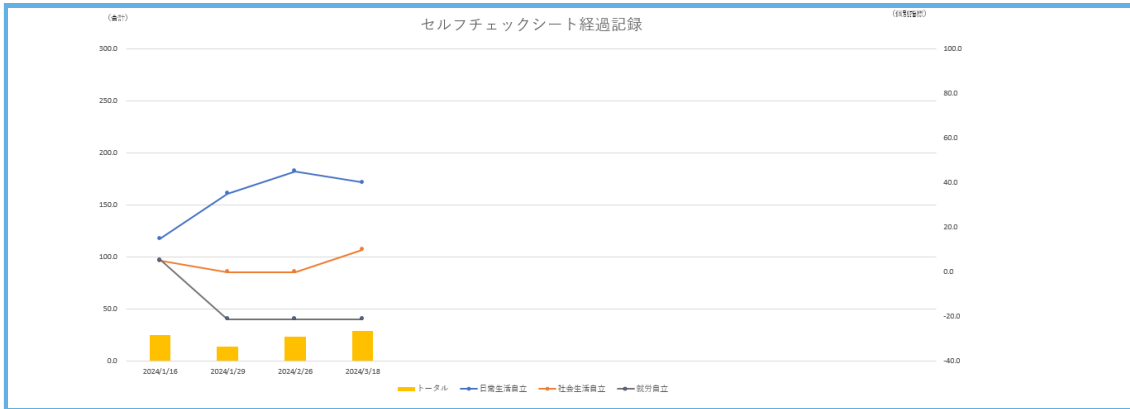
事例48 福岡地区 2024年1月16日～通所中

ハートフルかがやき 通所

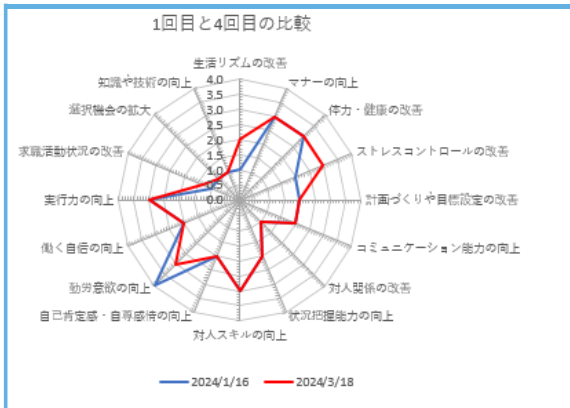
年代・性別・区分	20代 男性 ひきこもり
紹介機関	福岡市若者総合支援センター ユースサポートhub
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学受験に失敗し、高校卒業後から10年無業</li> <li>・2023年夏頃、母親がユースサポートhubに相談し、月1回の面談を受ける</li> <li>・10月ユースサポートhubからの連絡で事業説明</li> <li>・11月、12月に事業所見学、体験を実施</li> <li>・ユースサポートhubでの月1回の定期面談は継続</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションが苦手、人前に出ると緊張する</li> <li>・自分の意思がなく、決めることができない</li> <li>・就労経験や社会との繋がりがなく、就労に対して基準とするものがない</li> <li>・苦手なことを克服したい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した通所のための聞き取り、体調確認</li> <li>・対人スキルを身につける</li> <li>・軽作業やカリキュラムに参加し、集団環境に慣れる</li> <li>・PCスキルの向上</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回面談、事業所見学時は母親同行だったが、12月頃より一人で行動できるようになった</li> <li>・自らの意思でグループワークに参加できるようになった</li> <li>・理解が速く、情報をまとめるのが得意なことが分かった</li> </ul>

## K P S ツールを活用した評価結果

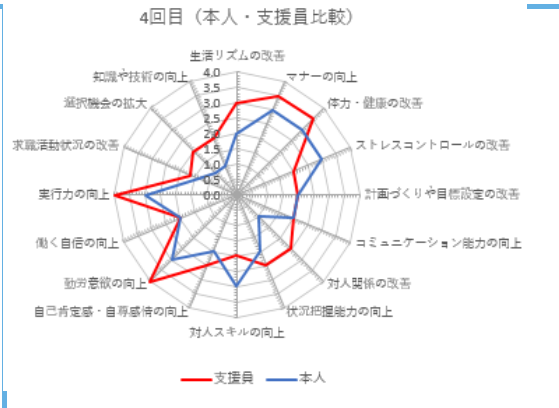
### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、顕著な変化はないが、社会的領域がやや上昇している。本事業参加後、短期間での評価のため経過を見る必要がある。

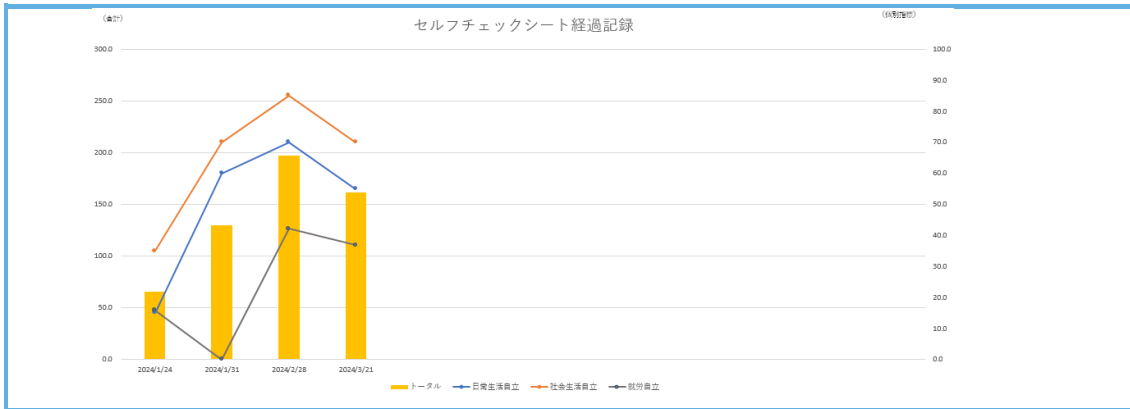
事例49 筑豊地区 2024年1月24日～通所中

ウイング飯塚 通所

年代・性別・区分	10代 男性 その他の困難要因（非行少年）
紹介機関	飯塚少年サポートセンター
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校中退後短期間のバイト経験あり</li> <li>・万引きやタクシーの無賃乗車等で補導歴あり</li> <li>・2023年9月ごろ母親が飯塚少年サポートセンターへ相談</li> <li>・10月補導され、児童相談所に一時入所</li> <li>・11月少年サポートセンターからウイング飯塚に連絡が入りWD事業につながる</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしたいが、学歴（高校中退）や年齢で求人がない。</li> <li>・社会経験がなく、どうやって働いていいかわからない</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週5日の通所による生活リズムの安定化と体力づくり</li> <li>・企業実習や活動による得手、不得手の確認</li> <li>・対人スキル、継続力を育成</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢相応の作業能力やコミュニケーション力があることが分かった</li> <li>・休むことなく通所し、生活リズムが整ってきた</li> <li>・企業実習先から、仕事に対する姿勢を評価されている</li> </ul>

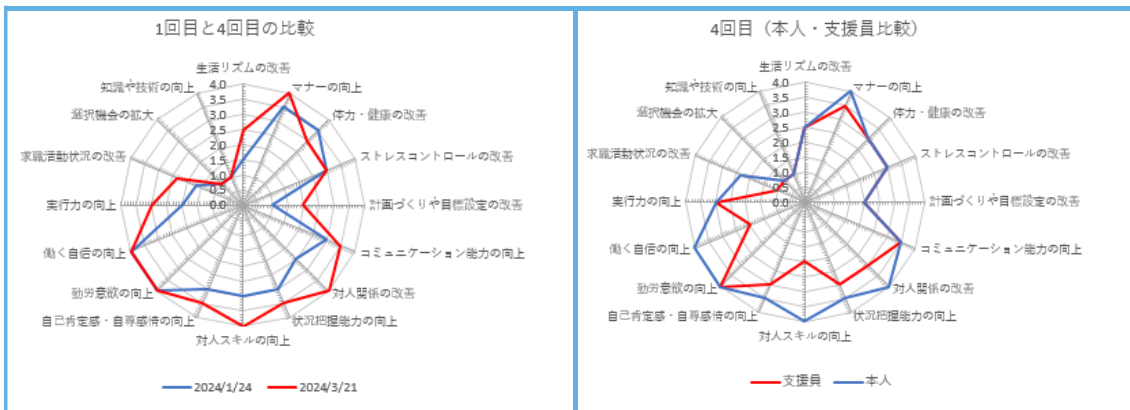
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、顕著な変化はない。本事業参加後、短期間での評価のため経過を見る必要がある。

事例50 筑豊地区 2024年2月19日～通所中  
ウイング直方 通所

年代・性別・区分	30代 男性 その他の困難要因（吃音）
紹介機関	宮若市困りごと相談室
支援経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車部品の仕事13年の他、正社員、派遣等で20年の職歴あり</li> <li>・2020年コロナ禍により失業し、特例貸付の件で困りごと相談室に相談</li> <li>・困りごと相談室で、生活面や就職の相談を受ける</li> <li>・2023年12月心筋梗塞により入院、退職</li> </ul>
困りごと・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吃音、パニック症状に似た症状があり、コミュニケーションが苦手</li> <li>・就職先々でコミュニケーションが不足していると言われ、仕事が続かない</li> <li>・母親の施設入居費がかかり、金銭面での不安が大きい</li> </ul>
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムの確認</li> <li>・実習に挑戦できるスケジュールの組立</li> <li>・職業能力の確認</li> </ul>
効果	支援期間が短いため効果は不明

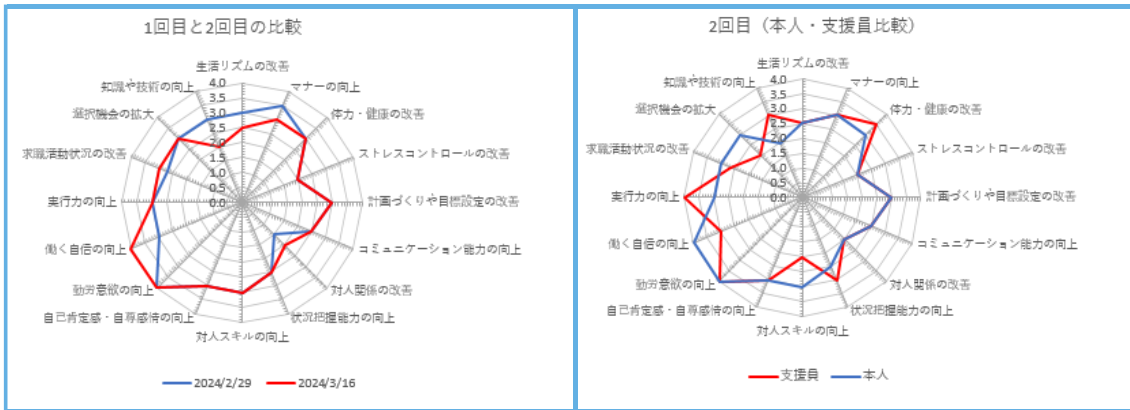
## K P S ツールを活用した評価結果

### 【T S 5 9 による自己評価の推移】



### 【G N 2 5 による自己評価の推移】

### 【G N 2 5 による本人・支援員評価の比較】



### 【Q O L による自己評価の推移】



### 事業アドバイザーのコメント

#### R 5 〈事業アドバイザーのコメント〉

Q O L 評価について、全体的に低く、特に心理的領域や社会的領域、環境の低さが顕著である。今後の支援においては、社会的なつながりの回復と不安感の低減が求められる。